
指定管理者 管理運営評価シート (令和4年度)

令和6年3月修正版

～目 次～

■ 複合文化施設（パルテノン多摩）及び多摩中央公園内駐車場・・・	2
■ 市民活動・交流センター及び多摩ふるさと資料館・・・・・・・・	6
■ コミュニティセンター・・・・・・・・	9
■ 総合体育館及び体育施設・・・・・・・・	36
■ 温水プール及び総合福祉センター・・・・・・・・	39
■ 駐輪場・・・・・・・・	47
■ 八ヶ岳少年自然の家・・・・・・・・	49
■ 永山複合施設駐車場・・・・・・・・	53
○ 指定管理者による取り組み（指定管理者記入分）・・・・・・・・	56
□ 参考資料・・・・・・・・	80

指定管理者 施設運営評価シート（令和4年度）

1. 指定管理者について

施設名	多摩市立複合文化施設及び多摩市立多摩中央公園内駐車場			
指定管理者名	バルテノン多摩共同事業体			
施設所管課	くらしと文化部 文化・生涯学習推進課			
主な業務内容	文化芸術の振興のための事業並びに市民の自主的な文化活動への支援、貸館運営、複合文化施設及び駐車場の施設管理			
指定期間	始期	終期		
	令和3年12月14日	令和9年3月31日		
利用料金制	有り			
選定方法	特命			
市の決算額（千円）	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	歳入（使用料）	0	0	0
	歳出（指定管理料）	0	90,000	397,814

2. 指定管理者に施設運営状況

(1) 収支状況

（単位：千円）

		内訳	令和2年度	令和3年度	令和4年度
予 算	収 入	指定管理料		90,000	371,600
		利用料金		0	75,063
		駐車場利用料金			8,700
		事業収益			138,375
		受取負担金（補助金）			39,175
		その他		60,050	14,682
		収入計（a）	0	150,050	647,595
	支 出	人件費		66,921	229,520
		維持管理に係る経費		78,079	149,204
		事業実施に係る経費		5,050	175,527
		光熱水費			45,000
		その他		0	48,344
		支出計（b）	0	150,050	647,595
収支（a-b）			0	0	0
決 算	収 入	指定管理料		90,000	397,814
		利用料金		0	92,282
		駐車場利用料金			6,270
		事業収益			68,140
		受取負担金（補助金）			4,206
		寄付金			1,548
		その他		60,050	8,661
	収入計（c）	0	150,050	578,921	
	支 出	人件費		63,856	215,131
		維持管理に係る経費		81,453	125,384
		事業実施に係る経費		4,741	137,889
		光熱水費			68,961
		その他		0	30,624
支出計（d）		0	150,050	577,989	
収支（c-d）			0	0	932

※指定管理料は、前年度の収支状況等を踏まえ、毎年度、市と指定管理者の協議により決定しています。

(2) 利用状況

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
施設利用者数	0	4,549	287,479
貸館利用日数（利用率）	0	0	2,487(43.7%)
事業実施数	0	1	146
事業参加者数	0	3,777	94,935
駐車場利用台数	0	157	48,102

(3) 運営状況（維持管理・事業実施の状況）や収支・利用状況の増減要因分析 等

バルテノン多摩は、大規模改修工事が完了し、バルテノン多摩共同事業体を指定管理者とし令和4年3月27日にプレオープンを迎えた。4月から会議室・練習室等の諸室の貸出を再開し、7月1日にはリニューアルグランドオープンを迎え、大・小ホールを含む全諸室の貸出が再開し、演劇やコンサート・ダンスなど多彩なジャンルの再開記念事業を実施した。

1 貸館について

令和4年度の利用者については、施設利用者数（貸館）は248,101人、事業入場者数（公演・展示関係）は94,935人となった。なお、4階こどもひろばOLIVEの利用者59,000人を合わせると合計で402,036人であった。貸館の利用件数としては3,382件、利用料金収入については、92,281,250円の収入であった。各施設の利用状況について、大・小ホールの利用率は約7割、練習室系・練習室系は約4割、新たな3諸室（キッチンラボ、クリエイティブラボ、クラフトラボ）は約1～2割という利用率であった。

重点取組みとして、①先進的な新しい貸館制度の運用（時間貸し、当日貸し、延長利用、個人登録、未成年者利用、一般開放、モニター制度）②利用者の創造活動を支援する貸館サービス運用③新設諸室のセットアップ（内装施工、備品消耗品準備、サイン・安心してご利用いただけるための講習会・マニュアル、新型コロナウイルス感染防止施策、対策備品の貸出）④貸館誘致営業（営業計画、営業リスト、DM・メール配信、地域施設広報、プロモーター直接営業活動等）以上のような取組みを行い貸館利用に繋げているが、再開館の直後ということもあり、稼働率が低い諸室があった。今後、更なる稼働率向上のための工夫が必要である。

2 駐車場運営について

令和4年度の利用台数については、東西駐車場合計で48,102台であった。多摩市立多摩中央公園内駐車場については、運営の一部を事業者へ委託し、多摩センター近隣の駐車場と相互に割引制度の利用ができる共同利用駐車場として、休館前と同様の形で引き続き運営を行っている。

それぞれの稼働の状況を見ると、西側駐車場について平日昼間に長時間駐車する車が多い傾向があった。これはバルテノン多摩周辺で行われている工事関係車両の駐車が多かったことが要因と考えられる。また、東側駐車場については平日に比べて土曜・日曜・祝日のホール等の催事で来館の際に、東側駐車場を利用する来館者が多い結果となった。

3 省エネ・環境配慮への取組について

令和4年度の省エネ・環境配慮への取組については、大規模改修により新たに設置された設備及び更新された設備を最大限に活用し、多摩市みどりと環境基本計画及び多摩市地球温暖化対策実行計画等に沿って、省エネルギー及びリサイクルの推進等、環境に配慮した管理運営に努めた。みどりのリサイクルの促進として、年2回の植栽管理にて発生した剪定草葉をエコプラザへ持ち込みリサイクル処分した。温室効果ガスの削減・省エネルギーの促進としては、開館初年度のため照明器具や熱源・空調機器の運用を試行錯誤しながら、利用者への影響を配慮し、省エネ運転に努めた。また、省資源化の促進として、紙類などの資源ごみと、可燃ごみ等の廃棄物を分別するために集積場所で見やすく表示を行うとともに環境配慮製品等の利用に努めた。

4 事業の実施状況について

令和4年度の事業の実施状況について、バルテノン多摩は、令和4年7月1日にグランドオープンを迎え、特に注力した事項として、再開館記念事業の目玉であった7月1日から3日の間に実施した柿落とし公演は以下の通り。

・大ホールでの公演「読売日本交響楽団特別演奏会（観覧者数1,086人）」、「キッズ&ファミリーコンサート484人」、「再開館を寿ぐ『三番叟』『二人袴』（観覧者数820人）」

・小ホールでの公演「橋爪功リーディングシアター（観覧者数204人）」、「音楽朗読劇『愛しいクリアー冷蔵庫のうえの人生』」（観覧者数261人）」

柿落とし公演以降も、令和5年2月までリニューアルオープン企画として音楽・演劇・舞踊・伝統芸能事業を継続して実施し、主催・提携・共催・市民活動支援事業は146事業、ミュージアムなど展示事業も含めた事業入場者数は94,784人であった。来館された多くの観覧者には、一定の評価を得ているが、公演ごとに見れば集客に苦戦した公演もあった。

5 サービス向上について

・マルチペイメントの導入に関して、施設予約・チケット販売等においてクレジット決済、インターネット予約・決済、コンビニでのチケット引取り等を実現し、休館前と比べて利用者の利便性向上に寄与した。

・無料メール会員制度の導入に関して、令和3年度末に開始したバルテノン多摩先行予約会員制度（無料）の導入により、バルテノン多摩NEWS等を通じて広く周知を図った。また、登録した会員にはメールマガジンを適宜送付し、主催公演等のご案内や発売日のお知らせなど積極的に行った。

6 経費削減・資金確保について

光熱水費の見直しのため、館内各所のLED化、諸室の個別空調化等により、どの程度のエネルギー消費になるか光熱水費を把握し、低減に努めた。また、各種補助金申請により、事業経費に対する資金確保のため、当初予定していた地域創造（総務省）の助成制度を活用し、コンサートやワークショップ、パレオ・リーディング講座などが地域創造助成事業（一部、連携事業含む）として認められ、交付を受け事業に活用することができた。さらに、通年で応募できる助成制度等（文化庁によるAFF補助事業）を活用し、「バルテノン多摩ダンスコレクション2022」を実施するなど、様々な事業を行うための資金確保に努めた。

7 市民協働の推進について

・市民学芸員による展示、及び調査

地域の魅力や課題を発見できるさまざまなテーマの企画展を、財団学芸員と市民学芸員が協働して企画し、4階廻廊展示や、丸善多摩センター店との連携展示等を行った。また、多摩市内の橋や街角アートに関する調査等も実施し、特に「橋」については、書籍の刊行を整えるまでに進めることができた。

・舞台芸術を身近に体験できる講座等の実施

市民レベルでの人材や団体等により演劇や音楽等、地域に根付いた事業を展開した（バル多摩エコールによる各種講座事業、「夏の雲は忘れない」による市内の子どもたちを採用した朗読劇等の実施）。また、レジデントアーティスト等を活用し、学校や社会福祉施設へ赴く社会包摂事業等を実施した（「ゆうかり教室」におけるワークショップ、「島田療育センター」におけるワークショップ等）

8 新たな資金調達への取り組み

外部資金を獲得しながら、参加型で今後の事業を行っていく試みとして、令和4年度文化庁事業「博物館機能強化推進事業（経営基盤強化に向けた組織改革の促進に関する実証事業）」の協力館としてクラウドファンディング「航空斜め写真を撮影して街の姿を未来に残そう！」を実施した。

当初目標の250万円を超える385万8千円（支援者のべ人数・256人）の資金調達を達成するとともに、博物館事業の理解にもつながることができた。本事業の成果は3月に令和4年度文化庁事業成果報告会「博物館における新たな資金調達手法、ファンドレイジング実証現場からの学び」で報告をおこなった。

3.利用者アンケート等の実施状況・結果

(時期・方法・回数)
実施時期はプレオープン後、①利用者アンケート②事業参加者アンケート③ミュージアム来訪者アンケート⑤その他、時限的アンケート(新規利用登録者、施設予約者へのモニターアンケート)など来館者の利用目的に応じたアンケートを実施した。
(結果の概要)
利用者アンケートでは各諸室に2次元コードによるアンケートを設定し、各貸出諸室に案内を設置するなど効率的に収集が出来るように行った。結果としては、スタッフ対応の満足度について、「とても満足」「満足」と回答された方が100%と好印象であった。設備・備品の充実度・使いやすさについて、「とても満足」「満足」と回答された方が70%以上と当施設についていい印象を抱かれていることは分かった。利用して良かった点として、「利用方法がとても簡単で柔軟になった」「提供される資料や図面が丁寧な内容になった」「オンライン利用登録やウェブ決済、メールでの問い合わせなどデジタル化されとても便利だった」などの声があった。 事業者アンケートでは、公演の満足度について、「大変満足」「満足」と回答された方が95%以上と大変良い印象を得られた。リニューアルしたバルテノン多摩の印象について、「大変良かった」「良かった」と回答された方が90%とこちらも大変良い印象を得られた。 アンケートによっては回収できた数が少ないものもあったため、より多くの利用者の声を集め、今後の管理運営に活かしていく。

4.施設所管課の評価

実地検査日: 令和5年7月7日

視点	評価項目	評価
協定書や管理基準等に基づく基本業務	適正に施設を維持管理できていたか	適
	適正に利用承認や事業実施できていたか	適
	災害時や事故発生時の危機管理対策を講じていたか	適
	適正に個人情報を管理できていたか	適
	適正な労務管理のために就業規則や出勤簿の整備等していたか	適
	適正に経理事務や現金管理等は行われていたか	適
	その他関係法令や協定書等に基づく手続き等は適正に行われていたか	適
利用者サービスの向上	マルチペイメントの導入により、施設予約・チケット販売等においてクレジット決済、インターネット予約・決済及びコンビニでのチケット引取りサービスの取り扱いが出来たか	適
	無料メール会員制度の導入により、バルテノン多摩NEWS等を通じて広く周知を行い、リニューアルオープン以降の主催公演等の案内や積極的に行ったか	適
市民協働の推進	地域の魅力や課題を発見できる様々なテーマの企画展を、財団学芸員と市民学芸員が協働して企画・実施が出来ていたか	適
	文化芸術事業に関して、市民参加・体験の場を創出し、学校や社会福祉施設に向けた社会包摂事業等を実施できていたか	適
	市民レベルでの人材や団体等による演劇や音楽等を協働で開催し、地域に根付いた事業を展開出来ていたか	適
経費の削減や歳入増加	館内のLED化や個別空調化等による光熱水費の見直しや補助金等の資金確保が出来ていたか	適
評価の説明	令和4年度の指定管理者に対する評価については、指定管理者から提出された資料を基に行った書類審査と、令和5年7月7日にモニタリングチェックシート等を用いて実地調査を行った。 書類審査及び実地調査を行った結果、各確認項目については、概ね対応が出来ていることを確認し、適正な管理運営、利用者サービスの維持・向上、経費削減や歳入増加等の対応が出来ていることが確認できた。	
評価項目以外の改善取組		
改善指摘事項		

※評価項目は、毎年度、市と指定管理者と協議により作成している事業計画書等に基づき、設定しています。

※評価の種類： 良…業務水準を大きく上回った 適…概ね業務水準どおり遂行できた 要改善…改善指示事項がみられた

5.総括（評価の総括及び今後の課題や方向性について）

1 評価の総括について

令和4年度の指定管理業務は、グランドオープンを迎え大・小ホールを含め全ての諸室にて貸館利用が再開された。7月1日から3日までの間、柿落とし公演として、演劇やコンサート・ダンスなど多彩なジャンルの再開館記念事業を実施し、その後も令和5年2月までリニューアルオープン企画を数多く上演するなど、共同事業体として新たな施設に求められる機能を効果的に実施できる体制が整い、大きな問題もなく順調に運営がされていることは評価できる。

2 今後の課題や方向性について

今後のより良い施設運営のため、以下の課題について取り組んでもらいたいと考えている。

(1)広報活動について

グランドオープンに伴い、主催事業を中心に広報誌の発行及びSNS等にて広報活動を行っていた。しかし、広報誌には貸館情報の掲載が少ないことや、不定期の発行となっており、市民にとって必要な情報が十分に行き届いていなかった。広報誌には貸館事業含めた各種事業を月毎に纏め、定期的に発信する等、主催事業・貸館事業・共催事業・提携事業と言った枠にとらわれない様々な文化事業を市民に届けられるように積極的な広報活動に取り組まれない。

(2)主催事業の集客について

主催事業では、大ホールの25%程度しか席の埋まらない催しが多数見受けられた。については、ジャンル等のバランスを意識し、これまでより集客力のある事業を行い、広報活動等を駆使することで多くの市民が利用し、文化事業に触れてもらうとともに、経費を抑え集客率を向上させ、事業における収支比率の改善が望まれる。

(3)多摩センター活性化について

近隣企業や関係機関等との連携事業や協力事業において、多摩中央公園を中心とした販賣の創出及び多摩センター地域全体の活性化につながるよう大階段スペースを利用した屋外事業を行うなど、指定管理者として積極的に取り組まれない。

(4)施設の日常利用・一般開放利用について

2階ロビーは催事が無い時は物理的な仕切りを取外し広く開放するとともに、市で購入した備品を有効活用することで4階カフェ等を含め、多様な人々が集い、交流し、にぎわうみんなの広場として機能する運営を行うこと。また、管理運営計画にて一般開放利用を位置付けている諸室については早急に体制を構築し一般開放を適宜実施できるように取り組まれない。

指定管理者 施設運営評価シート（令和4年度）

1.指定管理者について

施設名	多摩市立市民活動・交流センター及び多摩市立多摩ふるさと資料館			
指定管理者名	多摩コミュニティパートナーズ			
施設所管課	くらしと文化部 文化・生涯学習推進課、教育部 教育振興課			
主な業務内容	多摩市立市民活動・交流センター及び多摩市立多摩ふるさと資料館の管理運営			
指定期間	始期	終期		
	令和3年7月1日	令和7年3月31日		
利用料金制	有り			
選定方法	公募			
市の決算額（千円）	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	歳入（使用料）			
	歳出（指定管理料）		19,582	44,618

2.指定管理者に施設運営状況

(1) 収支状況

(単位：千円)

		内訳	令和2年度	令和3年度	令和4年度
予算	収入	指定管理料		19,582	42,973
		利用料金		—	5,210
		事業収入		—	2,625
		その他			8,852
		収入計 (a)	0	19,582	59,660
	支出	人件費		3,610	29,070
		維持管理に係る経費		15,692	25,865
		事業実施に係る経費		—	2,025
		その他		280	2,700
		支出計 (b)	0	19,582	59,660
収支 (a-b)			0	0	0
決算	収入	指定管理料		19,582	44,618
		利用料金		—	4,814
		事業収入		—	543
		その他		4	3,686
		収入計 (c)	0	19,586	53,661
	支出	人件費		2,708	24,763
		維持管理に係る経費		16,655	25,900
		事業実施に係る経費		—	381
		その他		182	2,599
		支出計 (d)	0	19,545	53,643
収支 (c-d)			0	41	18

※指定管理料は、前年度の収支状況等を踏まえ、毎年度、市と指定管理者の協議により決定しています。

(2) 利用状況

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
指定事業の実施数		—	16
自主事業の実施数		—	41
市民活動・交流センターの利用者数		—	118,864
市民活動・交流センターの稼働率		—	47.2%

(3) 運営状況(維持管理・事業実施の状況)や収支・利用状況の増減要因分析 等

<p>○維持管理について</p> <p>令和4年4月1日に市民活動・交流センター及び多摩ふるさと資料館が開館し、開館1年目として施設内の安全管理を徹底を図った。施設の開館後時間が経っていないこともあり、大きな修繕等は発生しなかった。</p> <p>・利用団体との施設運営を協議をする場として、利用者懇談会、運営協議会を実施し、施設の設置目的や利用ルールの説明や利用予定団体の意見・要望の聴取、施設の運用ルールの検討・決定等を行った。</p> <p>利用者懇談会開催(1回)、運営協議会(分科会・本会議)開催(2回)</p> <p>・地域住民への施設の周知、利用率の向上のためホームページの定期的な更新、実施事業やカフェの紹介チラシの近隣住宅へのポスティングを積極的に行った。</p> <p>○事業実施の状況</p> <p>・開館記念イベントやキタカイフェスタなどの大規模なイベント事業を3回実施し、13回の生涯学習講座を開催した。</p> <p>令和4年4月 開館記念イベント 2,589人来場 令和4年11月 キタカイフェスタ 2,104人来場 令和5年3月 防災フェスタ 575人来場</p> <p>・生涯学習講座は、体験教室や講座で、指定管理者の指定管理事業である。主に利用団体や近隣の住民、多摩市に関連のある市民の方に講師として依頼し、月に1回以上実施した。開館当初は集客に苦戦したが、たま広報の掲載や口コミ等により参加者が増え、年度後半では定員に達する講座が増えた。参加者アンケートでも満足・ほぼ満足が90%以上の回答をいただき好評である。</p> <p>生涯学習講座の内訳は、吹矢体験会、こどもお話し会、フラワーアレンジメント体験講座、人形劇場、初めての楽器体験、ゲルチョークアート教室、ポッチャ体験、クリスマスきらきらボード工作、クリスマスコンサート、お正月生け花教室、めかいづくり講座、手作りせっけん教室、リトミック体験の計13講座実施し、計224人の参加があった。</p> <p>・指定管理者の自主事業として、体操教室を中心に41講座が実施され、計4,692人が参加しており、当施設の地域住民へ認知度の向上に寄与している。</p> <p>○収支状況</p> <p>・収入において、貸館利用料収入は来館者実績と連動し、目標に未達だった。駐車場利用は、グラウンド利用者を中心に想定より多い駐車場利用があり予算より大幅に上回った。事業収入にはイベントや生涯学習事業の収入を含んでおり、施設や講座内容を知っていただくため無料体験講座などを多く企画したこともあり、予算より減収となっている。</p> <p>・支出において、人件費は、アルバイト人員を利用状況に応じて調整することで費用を抑えた。維持管理にかかる経費は、極力外部委託を行わず、施設の細かな修繕など指定管理者が自社で対応を行った。たとえば、印刷費について外部に委託せず事務所複合機で印刷することで約13万円削減している。一方、利用の利便性や安全性を第一に考えた結果、細かい必要備品が発生し、事務用品は予算超過となった。</p> <p>水道光熱水費について近年の著しい燃料高騰に伴い公募時より大幅に上昇していることにより約1,645千円の費用増となり、協議の上、指定管理料を増額した。</p> <p>○利用状況</p> <p>指定期間終了時の達成目標が来館者数121,000人としており、令和4年度実績は118,864人と98%の達成率だった。また、目標登録団体数200団体であったが、令和4年度実績は325団体と大幅に目標を上回っていた。全貸室の目標稼働率は54%であり、令和4年度実績47.2%と未達だった。個別の利用率では体育館は平均78.6%とかなり高いが、創作活動室2や会議室3は約17%と低い。また、利用者の多くが高齢者であり夜間は敬遠されることから、17時以降の夜間帯は利用率が下がる傾向にあり現役世代や学生へアプローチする等の対策が必要となる。</p>

3.利用者アンケート等の実施状況・結果

<p>(時期・方法・回数)</p> <p>2回実施した。 1回目 令和4年11月18日～12月11日 2回目令和5年3月10日～3月31日</p> <p>利用団体にアンケート用紙を配布し受付で回収。可能な限り手渡しでアンケート用紙を配布し、回収率を上げた。開放スペースにアンケート用紙を配置し、回収BOXで回収。</p>
<p>(結果の概要) 利用状況や満足度を把握し、利用者の特性や利用状況を把握し今後の運営に活かすため、利用種別ごとにアンケートを依頼し収集した。職員の印象について、「あいさつ」「身だしなみ」「言葉遣い」で利用者の意見を聞き、「満足」「やや満足」と回答された方が95%以上という大変良い印象の回答を得られた。また、施設の利用料金については「満足」「やや満足」と回答された方が70%以上と、概ね納得されていることが分かった。施設設備については「満足」「やや満足」と回答された方が約80%とほとんどの方が当施設について良い印象を抱かれていることが分かった。新規施設ということもあり、設備や備品を増やしてほしいといった要望が多かった。</p>

4.施設所管課の評価

実地検査日: 令和5年6月29日

視点	評価項目	評価
協定書や管理基準等に基づく基本業務	適正に施設を維持管理できていたか	適
	適正に利用承認や事業実施できていたか	適
	災害時や事故発生時の危機管理対策を講じていたか	適
	適正に個人情報管理できていたか	適
	適正な労務管理のために就業規則や出勤簿の整備等していたか	適
	適正に経理事務や現金管理等は行われていたか	適
	その他関係法令や協定書等に基づく手続き等は適正に行われていたか	適
利用者サービスの向上	利用者懇談会を実施し、施設運営の情報提供及び利用者の意見聴取を行ったか。	適
	生涯学習講座を計画書通りに実施したか。	適
市民協働の推進	地域交流の促進のための事業を実施したか。	適
	市民が主体的に施設の運営に参画する運営協議会を開催し、利用ルールなどについて協議し、より良い運営につながるよう努めたか。	適
経費の削減や歳入増加	稼働率の低い貸室の利用を促進し、利用者の増加に努めたか。	適
評価の説明	<ul style="list-style-type: none"> ・協定書や管理基準等に基づく基本業務について、施設の維持管理、危機管理対策は適切にされていた。 ・利用者サービスの向上について、利用者懇談会、運営協議会の実施、2回の利用者アンケートの実施を通し、意見聴取が適切にされていた。 ・市民協働の推進について、3回の大規模イベントが実施され、地域交流のきっかけづくりがなされた。 ・経費の削減や歳入増加については、稼働率の低い貸室を使い、自主事業を行うなど、適切に取り組んでいた。 	
評価項目以外の改善取組	なし	
改善指摘事項	なし	

※評価項目は、毎年度、市と指定管理者と協議により作成している事業計画書等に基づき、設定しています。

※評価の種類： 良…業務水準を大きく上回った 適…概ね業務水準どおり遂行できた 要改善…改善指示事項がみられた

5.総括（評価の総括及び今後の課題や方向性について）

市民活動・交流センターは市民活動の場を提供するとともに、市民活動を支援し市民の交流を促進することにより、豊かな地域社会の実現を図ることを設置目的としている。

令和4年度は開館1年目として、施設内の安全管理を徹底するとともに、貸館を中心として、柔軟な施設運営を行った。指定管理事業の実施にあたっては、開館記念事業やキタカイフェスタ等のイベントや毎月の生涯学習講座における企画から、募集、受付、実施を安定的に行うための柔軟な施設運営に取り組んでいた。また、利用団体が自主的・主体的に運営協議の場に参画する為、運営協議会を実施した。利用団体や地域の方々との交流、意見交換会を通じて多様な市民の活動をつなぎ、生き生きとした地域社会づくりに寄与することを目指した。運営協議会等は3回開催し、貸館の運用ルールを話し合い利用の手引きに反映させている。利用率の向上に向けては、地域住民への施設の周知に力を入れた。

多摩ふるさと資料館では、1階の展示室における来館者数カウントが難しい中で、指定管理者と連携を密にすることで状況把握を行うことができた。施設の開館記念事業やキタカイフェスタ等の開催により、多摩ふるさと資料館の来館者数も伸びている。

市や関連団体・地域との連携、協力では、多摩市で実施している「健幸Spot」の設置、障がい者就労支援施設との連携として「たまげんき」と連携し交流スペースでお菓子や小物の販売を行っている。そのほか、子育て交流室で唐木田児童館による「子育て出張ひろば」を月1回の実施や、ごみ対策課で実施する「多摩市食べきり協力店」に登録、生ごみ処理機ダンボールコンポストモニターとして、カフェの生ごみの減量化に取り組んだ。また地域で活動する「NPO袖」と連携し多摩市で採れた野菜の販売や、認知症になっても暮らしやすいまちづくりの一環とした「オレンジガーデニングプロジェクト」に参加し施設内の花壇にオレンジ色の花を植える活動に参加した。

今後は、引き続き施設内の安全管理を徹底するとともに、年1回以上のイベントの実施や、市民や地域のニーズに合った事業を行うなど、指定管理者による主体的で柔軟な施設運営を期待する。また、利用団体の自主的・主体的な運営とする取組には、引き続き運営協議の場に参画する機会を設ける。運営協議会を通して、利用団体や地域の方々との交流を通じて多様な市民の活動をつなぎ、生き生きとした地域社会づくりに寄与することを目指す。また、市民活動・交流センターと多摩ふるさと資料館が事業等で連携協力を図ることで、より魅力ある施設となるよう取組を進めていく。

利用者の増加に向けては、施設・実施事業の周知や、利用者の少ない貸室や夜間の時間帯の利用を促すよう取り組んでいく。さらに、本施設は必要最小限の改修を基本方針としてきたため、今後、老朽化や不具合のある部分の補修、改善工事を市と指定管理者で協議しながら計画的に行っていく。物価高騰やエネルギーの価格上昇等も想定されるが、経済動向を注視しながら必要な対応を図るとともに、経費削減や効率化等の工夫を行い施設運営を行う。

指定管理者 施設運営評価シート（令和4年度）

1. 指定管理者について

施設名	関戸・一ノ宮コミュニティセンター（関・一つむぎ館）			
指定管理者名	関戸・一ノ宮コミュニティセンター運営協議会			
施設所管課	くらしと文化部 コミュニティ・生活課			
主な業務内容	関戸・一ノ宮コミュニティセンターの管理運営			
指定期間	始期	令和2年4月1日	終期	令和5年3月31日
	利用料金制	無し		
選定方法	特命			
市の決算額（千円）	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	歳入（使用料）	969	1,719	2,312
	歳出（指定管理料）	17,180	17,264	17,870

2. 指定管理者の施設運営状況

(1) 収支状況

（単位：千円）

		内訳	令和2年度	令和3年度	令和4年度
予算	収入	指定管理料	17,675	17,264	17,870
		利用料金	-	-	-
		事業収入	872	647	515
		その他	728	557	827
		収入計 (a)	19,275	18,468	19,212
	支出	人件費	14,366	14,258	14,674
		維持管理に係る経費	1,885	1,806	2,100
		事業実施に係る経費	2,431	1,882	2,025
		その他	593	522	413
		支出計 (b)	19,275	18,468	19,212
収支 (a-b)			0	0	0
決算	収入	指定管理料	17,180	17,264	17,870
		利用料金	-	-	-
		事業収入	323	280	353
		その他	744	525	830
		収入計 (c)	18,247	18,069	19,053
	支出	人件費	13,686	13,740	14,313
		維持管理に係る経費	3,291	2,598	3,160
		事業実施に係る経費	773	935	1,217
		その他	-	-	-
		支出計 (d)	17,750	17,273	18,690
収支 (c-d)			497	796	363

※指定管理料は、前年度の収支状況等を踏まえ、毎年度、市と指定管理者の協議により決定しています。

(2) 利用状況

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
施設利用者数	14,084人	24,515人	33,552人
貸部屋数	7室	7室	7室
事業実施数	7事業	9事業	20事業
事業参加者数	128人	587人	1,386人

(3) 運営状況（維持管理・事業実施の状況）や収支・利用状況の増減要因分析 等

<p>運営状況のうち、全館共通の項目については、P35「コミュニティセンター全館（9館）の総括」に記載のとおり。</p> <p>施設利用については、感染対策を講じたうえで継続して貸し出しを行ったため、新型コロナウイルス感染症が流行し始めた令和2年度と比較すると+19,468人（+138.2%）となり、令和元年度の35,068人には及ばないものの、新型コロナウイルス感染症流行前の水準に戻つつある。</p> <p>本館独自の事業については、3年ぶりに「こどもまつり」を開催し、地域の親子約350名が参加し、好評を得られた。</p> <p>また、中止を余儀なくされた「つむぎ館まつり」は、代替事業として「つむぎ館秋の文化祭」と題した創作作品展示会・芸能発表会を2日間開催した。普段から関・一つむぎ館で練習を重ねている団体の発表の場として約250名もの参加があり、好評であった。</p> <p>さらに地域間・世代間交流事業の新しい試みとして、関戸公民館からの呼びかけで、関戸公民館、バルテノン多摩、大栗川・かるがも館と連携した「史跡巡りウォーキング」を実施し、非常に好評であった。</p> <p>収入及び支出に関しては、新型コロナウイルス感染症による影響から徐々に回復傾向にあるため増加している。中でも、事業の復活やまつり関連の事業を実施したことにより、事業実施に係る経費は増加している。</p>
--

3.利用者アンケート等の実施状況・結果

(時期・方法・回数) 令和5年2月24日～3月31日 回答数：79枚
(結果の概要) 特に大きな変更や伝達事項がない時は、利用者懇談会への出席も利用者の負担に大きいかと考え、アンケート方式で実施。貸室の予約、利用についての意見が多かった。 窓口対応・感染防止対策・つむぎ館だよりの紙面構成・備品の更新補充について、85%以上の好評が得られた。しかしながら、運営委員への参加については協力が少ない結果となっている。 また、利用者からの「窓口での予約の際に空き状況を先におきたい」という要望に対しては、いつでも紙ベースで先の予約状況を確認できるように改善するなど、利用者目線に立った取り組みを実施している。

4.施設所管課の評価

実地検査日: 令和5年5月29日

視点	評価項目	評価
協定書や管理基準等に基づく基本業務	適正に施設を維持管理できていたか	適
	適正に利用承認や事業実施できていたか	適
	災害時や事故発生時の危機管理対策を講じていたか	適
	適正に個人情報管理できていたか	適
	適正な労務管理のために就業規則や出勤簿の整備等していたか	適
	適正に経理事務や現金管理等は行われていたか	適
	その他関係法令や協定書等に基づく手続き等は適正に行われていたか	適
利用者サービスの向上	自主事業により得た収益を活用し、老朽化した備品の買い替えや備品の拡充等、利用者サービスの向上に取り組んだか	適
	貸出を行っていない集会室の午後枠を有効活用するため、フリースペースとして利用者が自由に使える「みんなの日」を実施したか	適
市民協働の推進	関戸公民館との「子供の工作教室」の共催や地域ボランティアサークルとの「みんなの食堂」の共催等、世代間交流事業を実施したか（3種）	適
	「せいせき桜まつり」や「つむぎ館まつり」等、地域団体等と連携し、地域交流事業を実施したか（6種）	適
	「せいせき音フェス」への場所の提供や自治会活動への協力など、地域団体等の活動と連携・協力することができたか	適
経費の削減や歳入増加	必要に応じて徴収した事業への参加者負担金や自動販売機の収入等の自主事業により得た収益を、管理運営経費に還元したか	適
評価の説明	<p>コロナ禍による様々な制限がある中で、できることを見つけ出し工夫して事業を実施することで、地域コミュニティの醸成に寄与した。</p> <p>市民協働の推進項目では、様々な制限がある中でこどもまつりの復活や、つむぎ館まつりの代替事業を実施し、新たな試みとして公民館、パルテノン多摩、大栗川・かるがも館との協働事業も行い地域団体との連携・交流が図られたので「適」とした。</p>	
評価項目以外の改善取組	利用者からの声に対してはその都度対応しており、特段大きな苦情等は届いていない。日頃からスタッフが利用者に寄り添って対応していることがうかがえる。	
改善指摘事項	なし	

※評価項目は、毎年度、市と指定管理者と協議により作成している事業計画書等に基づき、設定しています。

※評価の種類： 良…業務水準を大きく上回った 適…概ね業務水準どおり遂行できた 要改善…改善指示事項がみられた

5.総括（評価の総括及び今後の課題や方向性について）

<p>関戸・一ノ宮コミュニティセンター運営協議会は、誰もが利用できる、地域に開かれた運営に努めている。</p> <p>令和4年度も少なからず新型コロナウイルス感染症の影響を受けた。しかしながら、換気や消毒等感染対策を徹底したうえで新型コロナウイルス感染症流行前の水準に近い事業を実施した。事業再開を心待ちにしている人は多く、特に3年ぶりに開催した「こどもまつり」には多くの参加者があり、実施した事業はすぐに予約が埋まるなど非常に好評であった。</p> <p>今後も再開が期待される「つむぎ館まつり」や「春まつり」の実施も含め、さらなる利用者の増加、地域と協力しながら、関戸・一ノ宮地域を盛り上げていくことを期待したい。</p>

指定管理者 施設運営評価シート（令和4年度）

1. 指定管理者について

施設名	桜ヶ丘コミュニティセンター（ゆう桜ヶ丘）			
指定管理者名	桜ヶ丘コミュニティセンター運営協議会			
施設所管課	くらしと文化部 コミュニティ・生活課			
主な業務内容	桜ヶ丘コミュニティセンターの管理運営			
指定期間	始期	終期		
	令和2年4月1日	令和5年3月31日		
利用料金制	無し			
選定方法	特命			
市の決算額（千円）	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	歳入（使用料）	416	637	611
	歳出（指定管理料）	16,148	16,405	17,274

2. 指定管理者の施設運営状況

(1) 収支状況

(単位：千円)

		内訳	令和2年度	令和3年度	令和4年度
予算	収入	指定管理料	17,495	17,385	18,061
		利用料金	-	-	-
		事業収入	1,614	1,014	1,008
		その他	1,083	1,010	922
		収入計 (a)	20,192	19,409	19,991
	支出	人件費	14,324	14,319	14,712
		維持管理に係る経費	1,803	2,050	2,225
		事業実施に係る経費	3,814	2,932	2,860
		その他	251	108	194
		支出計 (b)	20,192	19,409	19,991
		収支 (a-b)	0	0	0
決算	収入	指定管理料	16,148	16,405	17,274
		利用料金	-	-	-
		事業収入	211	430	809
		その他	1,036	946	864
		収入計 (c)	17,395	17,781	18,947
	支出	人件費	13,088	13,362	14,164
		維持管理に係る経費	2,578	2,363	2,120
		事業実施に係る経費	805	1,223	1,646
		その他	14	10	18
		支出計 (d)	16,485	16,958	17,948
		収支 (c-d)	910	823	999

※指定管理料は、前年度の収支状況等を踏まえ、毎年度、市と指定管理者の協議により決定しています。

(2) 利用状況

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
施設利用者数	10,823人	16,774人	16,823人
貸部屋数	6室	6室	6室
事業実施数	11事業	18事業	26事業
事業参加者数	805人	864人	2,134人

(3) 運営状況（維持管理・事業実施の状況）や収支・利用状況の増減要因分析 等

運営状況のうち、全館共通の項目については、P35「コミュニティセンター全館（9館）の総括」に記載のとおり。

施設利用については、感染対策を講じた上で継続して貸し出しを行ったため、新型コロナウイルス感染症が流行し始めた令和2年度と比較すると+6,000人（+55.4%）となった。しかし、時短開館や人数制限を行ったため、新型コロナウイルス感染症流行前の状況には戻っていない。

本館の事業について、大きなイベントとして「夏まつり」は新型コロナウイルス感染症の影響により中止を余儀なくされた。その中でも「新年会」「クリスマスパーティー」は、徹底した感染対策を施したうえで3年ぶりに開催し好評を得た。

実施できた事業においても、規模の縮小や内容変更、人数制限を行ない、例年とは違った形で実施したものが多かったが、新たに相模原JAXA、カワスイ川崎水族館への見学会等、新規事業も積極的に取り入れ、魅力ある市民に親しまれる事業展開を図っている。また、多摩市をホストタウンとしているアイスランドの文化に触れる事業として「アイスランドDAY」と称した国際交流事業を実施し、駐日アイスランド大使を招いての講演会等を行ったほか、地域団体との協働事業として、平和展（平和・人権課）、目からウロコ体の使い方（永山公民館）、ラジオ体操（国士館大学）、世代間交流事業として桜ヶ丘児童館と共催のうどん打ち、凧作り凧揚げ大会、移動動物園等を実施し、地域への楽しみの提供とコミュニティセンターとしての役割を果たした。

館のホームページの作成及び管理を多摩大学と連携して行った。

収入・支出ともに新型コロナウイルス感染症の影響を受け減少傾向が続いていたが、中止していた事業の復活や新規事業の実施を図り、昨年度に比べ増加傾向がみられた。

3.利用者アンケート等の実施状況・結果

(時期・方法・回数)
 利用者懇談会1回 令和4年12月3日 参加団体17団体
 アンケート1回 (令和4年11月11日～令和4年11月22日) 参加団体数46団体 回答数31件

(結果の概要)
 利用者から概ね高評価をいただいているようであった。
 館への要望として、施設整備に関する事項（駐車場の不足、照明の暗さ、トイレの水流の改善等）については、大規模改修に向けての要望事項に取り入れた。

4.施設所管課の評価

実地検査日: 令和5年5月30日

視点	評価項目	評価
協定書や管理基準等に基づく基本業務	適正に施設を維持管理できていたか	適
	適正に利用承認や事業実施できていたか	適
	災害時や事故発生時の危機管理対策を講じていたか	適
	適正に個人情報管理できていたか	適
	適正な労務管理のために就業規則や出勤簿の整備等していたか	適
	適正に経理事務や現金管理等は行われていたか	適
	その他関係法令や協定書等に基づく手続き等は適正に行われていたか	適
利用者サービスの向上	自主事業により得た収益を活用し、老朽化した備品の買い替えや備品の拡充等、利用者サービスの向上に取り組んだか	適
	風呂跡地のフリースペースであるサロンを有効活用するため、赤ちゃんから高齢者まで楽しめる憩いの場としての事業「カフェゆう」を実施したか	適
市民協働の推進	併設されている桜ヶ丘児童館との季節行事の共催等、世代間交流事業を実施したか（5種）	適
	「夏まつり」等、地域団体等や自治会と連携し、地域交流事業を実施したか（3種）	適
	多摩市文化振興財団との共催であるバルテノン多摩音楽家派遣事業等、地域団体の活動と連携・協力することができたか	適
経費の削減や歳入増加	必要に応じて徴収した事業への参加者負担金や自動販売機の収入等の自主事業により得た収益を、管理運営経費に還元したか	適
評価の説明	市民協働の推進の項目では、新型コロナウイルス感染症の影響により活動の制限は受けたものの、新型コロナウイルス感染症流行前に実施されていた事業の復活し、できるかぎりの事業を工夫を凝らして実施したため「適」とする。	
評価項目以外の改善取組	新型コロナウイルス感染症の影響で規模の縮小や人数制限など事業実施が困難な状況にあったが、工夫を凝らして可能なかぎり事業を実施した。	
改善指摘事項	なし	

※評価項目は、毎年度、市と指定管理者と協議により作成している事業計画書等に基づき、設定しています。

※評価の種類： 良…業務水準を大きく上回った 適…概ね業務水準どおり遂行できた 要改善…改善指示事項がみられた

5.総括（評価の総括及び今後の課題や方向性について）

桜ヶ丘コミュニティセンター運営協議会は、従来から館の雰囲気を重視しながら、住民にとって楽しいと思えるコミュニティセンターになることを目標にしている。令和4年度も新型コロナウイルス感染症の影響を受けたが、感染対策を徹底したうえで規模の縮小、人数の制限などの工夫をし、新規事業も織り交ぜながら可能な限りで事業を実施することにより、以前の賑わいも見えてきたところである。

他の運営協議会と同様に、運営協議会委員のなり手不足や高齢化が課題となっているが、運営協議会としてのPRの仕方や地域の団体との接点を増やし、事業開催時には、運営協議会の組織というものを多く知っていただく工夫をしながら、人員確保に努めている。

今後、施設の大規模改修も控えており、市と協力しながら、市民に親しみを持たれるコミュニティセンターを目標に館の運営を心がけていただきたい。

指定管理者 施設運営評価シート（令和4年度）

1. 指定管理者について

施設名	乞田・貝取コミュニティセンター（乞田・貝取ふれあい館）			
指定管理者名	乞田・貝取コミュニティセンター運営協議会			
施設所管課	くらしと文化部 コミュニティ・生活課			
主な業務内容	乞田・貝取コミュニティセンターの管理運営			
指定期間	始期	終期		
	令和2年4月1日	令和5年3月31日		
利用料金制	無し			
選定方法	特命			
市の決算額（千円）	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	歳入（使用料）	267	530	558
	歳出（指定管理料）	16,284	16,334	17,952

2. 指定管理者の施設運営状況

(1) 収支状況

(単位：千円)

		内訳	令和2年度	令和3年度	令和4年度
予算	収入	指定管理料	17,384	17,234	17,952
		利用料金	-	-	-
		事業収入	1,094	557	557
		その他	659	1,259	1,236
		収入計 (a)	19,137	19,050	19,745
	支出	人件費	14,195	14,164	14,652
		維持管理に係る経費	1,615	2,087	2,199
		事業実施に係る経費	2,766	2,074	2,194
		その他	561	725	700
		支出計 (b)	19,137	19,050	19,745
収支 (a-b)			0	0	0
決算	収入	指定管理料	16,284	16,334	17,952
		利用料金	-	-	-
		事業収入	714	71	86
		その他	644	1,277	1,231
		収入計 (c)	17,642	17,682	19,269
	支出	人件費	13,107	13,602	14,293
		維持管理に係る経費	2,610	2,809	3,097
		事業実施に係る経費	978	346	970
		その他	0	0	97
		支出計 (d)	16,695	16,757	18,457
収支 (c-d)			947	925	812

※指定管理料は、前年度の収支状況等を踏まえ、毎年度、市と指定管理者の協議により決定しています。

(2) 利用状況

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
施設利用者数	9,218人	10,260人	12,801人
貸部屋数	3室	3室	3室
事業実施数	5事業	4事業	13事業
事業参加者数	122人	234人	1,826人

(3) 運営状況（維持管理・事業実施の状況）や収支・利用状況の増減要因分析 等

運営状況のうち、全館共通の項目については、P35「コミュニティセンター全館（9館）の総括」に記載のとおり。

施設利用については、感染対策を講じたうえで継続して貸し出しを行ったため、新型コロナウイルス感染症が流行し始めた令和2年度と比較すると+3,583人（+38.9%）となった。しかし、令和元年度と比較すると-8,749人となっており、新型コロナウイルス感染症前には戻っていない。

令和3年度に開館30周年を迎えたが、新型コロナウイルス感染症の影響でほとんどの事業を中止せざるを得なかった。そのため、令和4年度は既存の事業に30周年の冠をつけてを実施した。開館30周年を記念した新規事業として、館の入り口に紅白のハナミズキを植樹した。

その他の事業については、規模の縮小や内容を変更し例年とは違った形で実施したものが多かったが、可能な限りで計画していた事業を実施することができた。例えば、例年小学生を対象とした「ふれあいキャンプ」を実施していたが、昨今の状況を鑑み、一日で楽しめるイベントとして内容を変更した「ふれあいのづくり教室」を実施した。また、新規事業として「読んでおもしろい写真の展示」を実施。乞田・貝取ふれあい館の行事を写真とコメントで紹介し、事業が計画どおりできないコロナ禍ではあるが、少しでも乞田・貝取ふれあい館の雰囲気を知ってもらおうと企画した事業である。

また、毎月発行している広報紙「ふれあいま〜る」では、子どもたちから投稿されたイラストを掲載しており、子どもたちの楽しみの一つになっている。毎回3〜4つのイラストが掲載されており、広報紙を彩っている。載せられなかった作品については、ロビーで展示をし、来館者にも楽しんでもらえるような工夫をしている。

収入および支出は、新型コロナウイルス感染症の影響から回復傾向にある。特に支出の部では、防犯カメラを購入し館の安全を図るなど、昨年度に引き続き、館の整備に力を入れた。

3.利用者アンケート等の実施状況・結果

(時期・方法・回数)
利用者アンケート1回（令和5年2月1日～令和5年2月18日） 43団体中21団体回答

(結果の概要)

アンケート集計結果は、職員の接客態度について「良い」「やや良い」が昨年度72%であったのに対し、今年度は81%に増加しており、職員の対応に満足していただいていることが分かる。清掃度については、館内・館外両方において「良い」が増加しており、日頃から館が清潔に保たれていると認識されているとともに、利用者側も丁寧に使っていたことが窺える。

4.施設所管課の評価

実地検査日: 令和5年5月29日

視点	評価項目	評価
協定書や管理基準等に基づく基本業務	適正に施設を維持管理できていたか	適
	適正に利用承認や事業実施できていたか	適
	災害時や事故発生時の危機管理対策を講じていたか	適
	適正に個人情報管理できていたか	適
	適正な労務管理のために就業規則や出勤簿の整備等していたか	適
	適正に経理事務や現金管理等は行われていたか	適
	その他関係法令や協定書等に基づく手続き等は適正に行われていたか	適
利用者サービスの向上	自主事業により得た収益を活用し、老朽化した備品の買い替えや備品の拡充等、利用者サービスの向上に取り組んだか	適
	隣接するふれあい広場の遊具点検の実施やゴミ拾い等、安全確認や適正管理を行っているか	適
市民協働の推進	地域の三世代交流を図ることを目的とした「夏休みラジオ体操」等、世代間交流事業を実施したか（2種）	適
	「秋そばまつり」や「どんど焼き」、地域の自治会の「盆踊り大会」の後援等、地域団体等と連携を取り、地域交流事業を実施したか（6種）	適
	商店会の「桜まつり」の後援等、地域団体等の活動と連携・協力することができたか	適
経費の削減や歳入増加	必要に応じて徴収した事業への参加者負担金や自動販売機の収入等の自主事業により得た収益を、管理運営経費に還元したか	適
評価の説明	市民協働の推進の項目について、地域から多くの要望があった「どんど焼き」は一部内容を変更して開催し、「秋そばまつり」は規模を縮小して行うことで、形を変えながらも工夫しながら継続して事業を実施したことから、「適」とした。	
評価項目以外の改善取組	-	
改善指摘事項	なし	

※評価項目は、毎年度、市と指定管理者と協議により作成している事業計画書等に基づき、設定しています。

※評価の種類： 良…業務水準を大きく上回った 適…概ね業務水準どおり遂行できた 要改善…改善指示事項がみられた

5.総括（評価の総括及び今後の課題や方向性について）

乞田・貝取コミュニティセンター運営協議会は、「集い、学び、憩う三世代」という運営スローガンを継続して実践している。

令和4年度も、新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者への感染防止対策徹底や事業の中止、内容変更を行うことになった。そのような状況でも、新規事業を実施したり、従来の事業を工夫して開催するなど、乞田・貝取ふれあい館の賑わいが戻るように活動した。

コミュニティセンター全体のここ数年の課題である運営委員のなり手不足に関しては、近隣自治会とつながりがあることによって、自治会から委員を選出してもらうシステムが構築されており、人数の減少を抑えることができています。また、運営委員のほかに地域の消防団や中学生の協力があり、事業を開催するときには手伝ってもらっている。一方、地域団体が事業を行う際は運営協議会側も協力・後援をしており、相互に協力をしながら日々運営している。

また、運営委員の結束が必要と考え、コミュニケーション促進の場とした事業を実施し、結束を高めることに努めた。今後の事業展開を視野に入れながら活動しており、これからも乞田・貝取ふれあい館の良さである地域のつながり、人と人とのつながりを大切にしながら管理運営を行ってほしい。

指定管理者 施設運営評価シート（令和4年度）

1. 指定管理者について

施設名	鶴牧・落合・南野コミュニティセンター（TOM HOUSE）			
指定管理者名	鶴牧・落合・南野コミュニティセンター運営協議会			
施設所管課	くらしと文化部 コミュニティ・生活課			
主な業務内容	鶴牧・落合・南野コミュニティセンターの管理運営			
指定期間	始期	終期		
	令和2年4月1日	令和5年3月31日		
利用料金制	無し			
選定方法	特命			
市の決算額（千円）	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	歳入（使用料）	794	180	842
	歳出（指定管理料）	16,821	14,980	15,648

2. 指定管理者の施設運営状況

(1) 収支状況

（単位：千円）

		内訳	令和2年度	令和3年度	令和4年度
予算	収入	指定管理料	17,625	15,772	16,347
		利用料金	-	-	-
		事業収入	675	119	405
		その他	603	973	792
		収入計 (a)	18,903	16,864	17,544
	支出	人件費	14,102	11,089	13,064
		維持管理に係る経費	1,840	3,625	2,109
		事業実施に係る経費	2,808	1,173	1,790
		その他	153	977	581
		支出計 (b)	18,903	16,864	17,544
収支 (a-b)		0	0	0	
決算	収入	指定管理料	16,821	14,980	15,648
		利用料金	-	-	-
		事業収入	171	79	361
		その他	561	971	747
		収入計 (c)	17,553	16,030	16,756
	支出	人件費	13,282	10,512	12,192
		維持管理に係る経費	1,878	3,822	2,953
		事業実施に係る経費	1,430	965	1,533
		その他	0	0	0
		支出計 (d)	16,590	15,299	16,678
収支 (c-d)		963	731	78	

※指定管理料は、前年度の収支状況等を踏まえ、毎年度、市と指定管理者の協議により決定しています。

(2) 利用状況

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
施設利用者数	21,519人	8,500人	21,158人
貸部屋数	6室	6室	7室
事業実施数	9事業	5事業	17事業
事業参加者数	300人	172人	926人

(3) 運営状況（維持管理・事業実施の状況）や収支・利用状況の増減要因分析 等

<p>運営状況のうち、全館共通の項目については、P35「コミュニティセンター全館（9館）の総括」に記載のとおり。</p> <p>施設利用については、今年度は施設の大規模改修に伴う休館や新型コロナウイルス感染症の影響を受け、新型コロナウイルス感染症が流行し始めた令和2年度と比較すると-361人（-1.7%）となった。また、令和元年度と比較しても-36,974人となっており、新型コロナウイルス感染症前の状況には戻っていない。</p> <p>本館独自の事業について、令和4年9月3日に「30周年記念・リニューアルオープンデー」を開催した。式典には85名が参加し、記念で作成した「多摩センター・落合・鶴牧パブリックアート」ガイドブックを配付した。また、令和2年、3年と中止していたトムハウスまつりを予定していたが、大規模改修後間もないこともあり、児童館もおまつりを開催しなかったため、中止となった。主催事業の「福祉カラオケ」は大規模改修中は民間のカラオケルームを借りて1ヶ月に1回開催していたが、9月のリニューアルオープン後はトムハウスの音楽室1にて1ヶ月に2回開催し、地域の人たちが気軽に立ち寄れる憩いの場として親睦を深める場の提供の役割を果たした。</p> <p>収入及び支出に関しては、大規模改修も終了し、新型コロナウイルス感染症による影響から徐々に回復傾向にあるため増加している。中でも、事業に関する経費や大規模改修に伴う備品購入に関する経費が増加している。</p>

3.利用者アンケート等の実施状況・結果

<p>(時期・方法・回数) 利用者懇談会1回 令和5年3月12日 参加団体48団体</p>
<p>(結果の概要) 大規模改修後に開催した初めての利用者懇談会であったため、利用者から「駐車場を当日に借りることはできないか。」等の多くの改善要望の声が寄せられた。 利用者から得た駐車場の当日利用に関する意見については、運営協議会で駐車場運用のルールを見直し、改善に向けて具体的に取り組んだ結果、一定の条件で駐車場の当日利用をすることができるようになった。</p>

4.施設所管課の評価

実地検査日: 令和5年5月31日

視点	評価項目	評価
協定書や管理基準等に基づく基本業務	適正に施設を維持管理できていたか	適
	適正に利用承認や事業実施できていたか	適
	災害時や事故発生時の危機管理対策を講じていたか	適
	適正に個人情報管理できていたか	適
	適正な労務管理のために就業規則や出勤簿の整備等していたか	適
	適正に経理事務や現金管理等は行われていたか	適
	その他関係法令や協定書等に基づく手続き等は適正に行われていたか	適
利用者サービスの向上	自主事業により得た収益を活用し、老朽化した備品の買い替えや備品の拡充等、利用者サービスの向上に取り組んだか	適
	改修工事に向けて近隣住民などの意見の取りまとめや備品の整理等を行ったか	適
市民協働の推進	世代間交流事業として「夏休み児童版画講座」を実施したか	-
	「トムハウスまつり」等、地域団体等と連携し、地域交流事業を実施したか（2種）	-
	地域福祉推進委員の拠点施設として会議場所を提供するなど、地域団体等の活動と連携・協力することができたか	適
経費の削減や歳入増加	必要に応じて徴収した事業への参加者負担金や自動販売機の収入等の自主事業により得た収益を、管理運営経費に還元したか	適
評価の説明	協定書や管理基準等に基づく基本業務の項目について、年度の前半は大規模改修中であったが、適正に基本業務を遂行することができたことから、「適」とする。 新型コロナウイルス感染症対策のために十分な取り組みができなかった項目は、評価対象外とした（「-」の記述）。	
評価項目以外の改善取組	-	
改善指摘事項	なし	

※評価項目は、毎年度、市と指定管理者と協議により作成している事業計画書等に基づき、設定しています。

※評価の種類： 良…業務水準を大きく上回った 適…概ね業務水準どおり遂行できた 要改善…改善指示事項がみられた

5.総括（評価の総括及び今後の課題や方向性について）

鶴牧・落合・南野コミュニティセンター運営協議会にとって、今年度は大規模改修後のリニューアルオープンという節目の1年であった。今回の改修にあたってのコンセプトを「三世代がいきいき集い、ほっと一息過ごす場所 トムハウス」とし、子どもから高齢者まで、個人でも利用できる居場所づくり、明るく開放的な空間づくりをおとして、多くの人が利用したくなるような施設に生まれかわった。

今年度も新型コロナウイルス感染症の影響を受けたが、感染対策を徹底したうえで可能な限りで事業を実施することができた。

他の運営協議会と同様に、運営協議会委員の高齢化が課題となっているが、事業をスリム化させつつ、身の丈に合った運営を継続していく予定である。

次の30年を見据えて、今後も市と協力し、「トムハウスまつり」等の事業の再開で地域と連携しながら、トムハウスが気軽に立ち寄れる憩いの場となるように館を運営していくことを期待したい。

指定管理者 施設運営評価シート（令和4年度）

1. 指定管理者について

施設名	貝取コミュニティセンター（貝取こぶし館）			
指定管理者名	貝取コミュニティセンター運営協議会			
施設所管課	くらしと文化部 コミュニティ・生活課			
主な業務内容	貝取コミュニティセンターの管理運営			
指定期間	始期	終期		
	令和2年4月1日	令和5年3月31日		
利用料金制	無し			
選定方法	特命			
市の決算額（千円）	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	歳入（使用料）	900	1,554	1,767
	歳出（指定管理料）	17,159	16,969	17,595

2. 指定管理者の施設運営状況

(1) 収支状況

(単位：千円)

		内訳	令和2年度	令和3年度	令和4年度
予 算	収 入	指定管理料	17,755	17,412	18,038
		利用料金	-	-	-
		事業収入	2,494	2,368	2,521
		その他	408	233	267
		収入計 (a)	20,657	20,013	20,826
	支 出	人件費	14,281	14,264	14,669
		維持管理に係る経費	2,149	2,156	2,016
		事業実施に係る経費	3,920	3,439	3,843
		その他	307	154	298
	支出計 (b)	20,657	20,013	20,826	
収支 (a-b)			0	0	0
決 算	収 入	指定管理料	17,159	16,969	17,595
		利用料金	-	-	-
		事業収入	1,654	1,973	2,357
		その他	412	254	301
		収入計 (c)	19,225	19,196	20,253
	支 出	人件費	13,494	13,405	14,215
		維持管理に係る経費	2,116	2,417	1,763
		事業実施に係る経費	2,637	2,423	3,292
		その他	0	0	0
		支出計 (d)	18,247	18,245	19,270
収支 (c-d)			978	951	983

※指定管理料は、前年度の収支状況等を踏まえ、毎年度、市と指定管理者の協議により決定しています。

(2) 利用状況

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
施設利用者数	19,196人	30,977人	69,599人
貸部屋数	8室	8室	8室
事業実施数	20事業	18事業	23事業
事業参加者数	779人	1,206人	2,105人

(3) 運営状況（維持管理・事業実施の状況）や収支・利用状況の増減要因分析 等

<p>運営状況のうち、全館共通の項目については、P35「コミュニティセンター全館（9館）の総括」に記載のとおり。</p> <p>施設利用については、感染対策を講じたうえで継続して貸し出しを行ったため、新型コロナウイルス感染症が流行し始めた令和2年度と比較すると+50,403人（+262.6%）となった。また、令和元年度と比較すると+13,838人となっており、新型コロナウイルス感染症前よりも増えている。要因としては、近隣のトムハウスが改修工事のため閉館していたことにより、貝取こぶし館を利用する人が増えたことが考えられる。</p> <p>本館独自の事業については、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、内容変更や開催時期の変更などの工夫をしながら、ほとんどの事業を計画どおりに実施した。また、事業参加者も増え、コロナ禍前の状態に戻りつつある。</p> <p>「夏のロビーコンサート」は「納涼の日」として内容を変更して開催した。工作室では貝取こぶし館の事業では初めての包丁研ぎを実施し、大変好評であった。また、館内ロビーではミニコンサート、ピロティにはキッチンカーの出店など、それぞれの場所で幅広い年齢層が楽しめるイベントを実施し、たくさんの方で賑わった。</p> <p>3年ぶりの開催となった「こぶし館まつり」は、出店や演目の減少が心配されたが、地域の協力もあり多くのキッチンカーや出演団体が参加し、大盛況であった。また、新たな試みとして若者会議の方に企画の段階から協力してもらった。当日は10人ほどの参加があり、子ども向けのブースを出展していただき大変好評だった。運営協議会だけでは厳しくなってきたまつりの後片付けにも手伝っていただき、大きな助けとなった。若者会議とは「ネットワーク貝取・豊ヶ丘きずな」という地域福祉推進委員会の活動で知り合い、今回協力いただくこととなった。今後も連携をとりながら事業を実施していく方向性である。</p> <p>収入・支出についてはともに回復傾向にある。事業を再開したことにより事業収入が増えた。また、新型コロナウイルス感染症予防対策のために環境整備をしていた分が前年度までで整ったため、令和4年度での支出は減少した。</p>
--

3.利用者アンケート等の実施状況・結果

<p>(時期・方法・回数) アンケート1回（令和5年2月14日～令和5年3月25日） 配布約115枚中49枚回収</p> <p>(結果の概要) 昨年度に比べ、貝取・豊ヶ丘地域外からの来館者（回答者）が増えており、市内広範囲に周知できていることが分かる。情報収集手段として、館の広報紙であるこぶし館だよりが一番多く、次にたま広報が多かったことから、毎月たま広報にイベント情報を掲載していることで一定の効果が出ていることが分かる。 館の印象については「親しめる」「また来たい」が約9割で、おおむね満足していただいているようだった。</p>

4.施設所管課の評価

実地検査日: 令和5年5月31日

視点	評価項目	評価
協定書や管理基準等に基づく基本業務	適正に施設を維持管理できていたか	適
	適正に利用承認や事業実施できていたか	適
	災害時や事故発生時の危機管理対策を講じていたか	適
	適正に個人情報を管理できていたか	適
	適正な労務管理のために就業規則や出勤簿の整備等していたか	適
	適正に経理事務や現金管理等は行われていたか	適
	その他関係法令や協定書等に基づく手続き等は適正に行われていたか	適
	利用者サービスの向上	自主事業により得た収益を活用し、老朽化した備品の買い替えや備品の拡充等、利用者サービスの向上に取り組んだか
ギャラリースペースで四季折々の展示を行い、来館者が楽しめる工夫を行っているか		良
市民協働の推進	近隣の学校で行う「グラウンドゴルフ」や「大人と子どもの工作の日」等、世代間交流事業を実施したか（3種）	適
	「カラオケ交流会」や「チャリティコンサート」等、地域団体等と連携し、地域交流事業を実施したか（4種）	適
	多摩市文化振興財団との共催であるバルテノン多摩音楽家派遣事業「春のロビーコンサート」等、地域団体等の活動と連携・協力することができたか	適
経費の削減や歳入増加	必要に応じて徴収した事業への参加者負担金や自動販売機の収入等の自主事業により得た収益を、管理運営経費に還元したか	適
評価の説明	利用者サービスの向上の項目について、ギャラリースペースでは、前年度に引き続き四季を感じられる展示を行ったほか、新たに近隣の小学生が作った作品の展示も行ない、来館者を楽しませたことから「良」とした。 市民協働の推進の項目では、新型コロナウイルス感染症対策を十分講じたうえで事業を通常どおり実施した。また、「カラオケ交流会」は開催希望の声が多く挙がっており、前年度延期した回も含めて2回開催したことから、「適」とする。	
評価項目以外の改善取組	-	
改善指摘事項	なし	

※評価項目は、毎年度、市と指定管理者と協議により作成している事業計画書等に基づき、設定しています。

※評価の種類： 良…業務水準を大きく上回った 適…概ね業務水準どおり遂行できた 要改善…改善指示事項がみられた

5.総括（評価の総括及び今後の課題や方向性について）

引き続き新型コロナウイルスの影響を受けた事業もあったが、ほとんどの事業で計画通り実施した。施設利用者数や事業参加者数も増え、貝取こぶし館の賑わいが戻ってきている。

また、新規事業はないものの、随時事業内容の見直しや工夫を図っており、参加者が飽きないような企画をしている。運営協議会が自ら楽しんで事業を開催しようという意思のもと活動しており、いつも活気に溢れている。

運営委員のなり手不足や高齢化が課題となっているなかで、貝取こぶし館は地域と一緒に実施できる事業へ徐々にシフトしていく方向性をとっており、キッチンカーの活用や協力員に協力していただくようになった。地域の様々な力を借りて日々管理運営を行なっている。運営委員の呼び込みについては、部会によって呼び込みが得意な部会があるため、ノウハウを共有しながら解決に向けて活動していただきたい。

指定管理者 施設運営評価シート（令和4年度）

1. 指定管理者について

施設名	聖ヶ丘コミュニティセンター（ひじり館）			
指定管理者名	聖ヶ丘コミュニティセンター運営協議会			
施設所管課	くらしと文化部 コミュニティ・生活課			
主な業務内容	聖ヶ丘コミュニティセンターの管理運営			
指定期間	始期	終期		
	令和2年4月1日	令和5年3月31日		
利用料金制	無し			
選定方法	特命			
市の決算額（千円）	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	歳入（使用料）	562	1,136	1,188
	歳出（指定管理料）	17,371	17,488	18,022

2. 指定管理者の施設運営状況

(1) 収支状況

（単位：千円）

		内訳	令和2年度	令和3年度	令和4年度
予 算	収 入	指定管理料	17,767	17,488	18,022
		利用料金	-	-	-
		事業収入	1,895	1,270	1,080
		その他	761	707	939
		収入計 (a)	20,423	19,465	20,041
	支 出	人件費	14,242	14,273	14,593
		維持管理に係る経費	2,198	2,175	2,099
		事業実施に係る経費	3,733	2,806	3,226
		その他	250	211	123
		支出計 (b)	20,423	19,465	20,041
収支 (a-b)			0	0	0
決 算	収 入	指定管理料	17,371	17,488	18,022
		利用料金	-	-	-
		事業収入	426	708	809
		その他	716	716	926
		収入計 (c)	18,513	18,912	19,757
	支 出	人件費	13,637	13,798	14,504
		維持管理に係る経費	1,980	2,095	2,059
		事業実施に係る経費	2,244	2,135	2,350
		その他	0	0	0
		支出計 (d)	17,861	18,028	18,913
収支 (c-d)			652	884	844

※指定管理料は、前年度の収支状況等を踏まえ、毎年度、市と指定管理者の協議により決定しています。

(2) 利用状況

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
施設利用者数	17,976人	30,013人	40,756人
貸部屋数	7室	7室	7室
事業実施数	11事業	16事業	25事業
事業参加者数	612人	1,187人	3,324人

(3) 運営状況(維持管理・事業実施の状況)や収支・利用状況の増減要因分析 等

<p>運営状況のうち、全館共通の項目については、P35「コミュニティセンター全館(9館)の総括」に記載のとおり。</p> <p>施設利用については、感染対策を講じたうえで継続して貸し出しを行ったため、新型コロナウイルス感染症が流行し始めた令和2年度と比較すると+22,780人(+126.7%)となった。また、令和元年度と比較すると+8,392人となっており、新型コロナウイルス感染症前の状況に戻ってきている。</p> <p>本館独自の事業については、新型コロナウイルス感染症の影響により計画どおりに実施できない事業もあったが、規模を縮小したり内容の見直しを行い、工夫を凝らして可能な限り実施した。前年度中止となった「ひじり館まつり」は一部内容を変更して、「フェスタひじり」を開催した。</p> <p>そのような中で、初めての事業として「ポッチャをやってみよう」を開催した。話題となっているポッチャを聖ヶ丘地域で気軽に楽しんでもらおうということで開催した事業で、多摩スポーツ推進委員の協力もいただき、参加者には大変好評だった。</p> <p>また、毎年地域団体との意見交換の場として「地域連絡会」を開催している。ひじり館と周辺の地域団体が協力して積極的に事業を行っており、日頃から連携がとれている。令和4年度も、多摩大学と青少協と共催の「おにぎりを握って食べる会」や桜の丘学園の職場体験の受け入れを行った。</p> <p>収入・支出については、昨年度に比べると人件費以外ではほとんど変わらなかったが、事業再開に伴い事業実施に係る経費が微増した。</p>
--

3.利用者アンケート等の実施状況・結果

(時期・方法・回数)
利用者懇談会2回 (第一回:令和4年7月3日21団体、第二回:令和4年12月3日16団体)
(結果の概要)
<p>新型コロナウイルス感染症以前と同様に1年間で2回実施した。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響で活動人数が減ってしまった団体もあれば、変わらず活動を続けている団体もあったが、どちらもコロナ禍でのルール等がしっかり定着していた。</p> <p>各団体からは設備の更新などの要望があり、ひじり館としては今後の対規模改修時に対応するとの回答をした。対応可能な要望に対しては速やかに取り組み、利用者に寄り添った対応をしている。例えば、備品の設置について和室に靴履き替え用の椅子を用意してほしいという要望に対して、速やかに丸椅子を設置し利用者の利便性を高めた。</p>

4.施設所管課の評価

実地検査日: 令和5年5月30日

視点	評価項目	評価
協定書や管理基準等に基づく基本業務	適正に施設を維持管理できていたか	適
	適正に利用承認や事業実施できていたか	適
	災害時や事故発生時の危機管理対策を講じていたか	適
	適正に個人情報管理できていたか	適
	適正な労務管理のために就業規則や出勤簿の整備等していたか	適
	適正に経理事務や現金管理等は行われていたか	適
	その他関係法令や協定書等に基づく手続き等は適正に行われていたか	適
利用者サービスの向上	自主事業により得た収益を活用し、老朽化した備品の買い替えや備品の拡充等、利用者サービスの向上に取り組んだか	適
	歩行者専用道路や商店会に隣接するひじり館敷地内の花壇の管理を行い、来館者だけでなく近隣住民にとって心地よい空間を作ることができたか	適
市民協働の推進	併設されている図書館や学童クラブとの「子ども夏まつり」の共催等、世代間交流事業を実施したか(4種)	適
	多摩大学や青少協等の協力を得て実施する「みんなの食卓プロジェクト」等、地域団体と連携し、地域交流事業を実施したか(4種)	適
	桜の丘学園の校外学習受け入れや地域連絡会の開催など、地域団体等の活動と連携・協力することができたか	良
経費の削減や歳入増加	必要に応じて徴収した事業への参加者負担金や自動販売機の収入等の自主事業により得た収益を、管理運営経費に還元したか	適
評価の説明	市民協働の推進の項目について、桜の丘学園の校外学習受け入れや地域連絡会開催のほかにも、地域の見守り活動参加や周辺大学と連携するなど様々な地域団体と協力関係を築いていることから、「良」とした。また、「ひじり館まつり」は新型コロナウイルス感染症の影響で通常どおりの開催はできなかったものの、規模を縮小して工夫しながら「フェスタひじり」として開催したため「適」とした。	
評価項目以外の改善取組	-	
改善指摘事項	なし	

※評価項目は、毎年度、市と指定管理者と協議により作成している事業計画書等に基づき、設定しています。

※評価の種類: 良…業務水準を大きく上回った 適…概ね業務水準どおり遂行できた 要改善…改善指示事項がみられた

5.総括（評価の総括及び今後の課題や方向性について）

令和4年度も新型コロナウイルスの影響を受け、全ての事業は実施できなかったが、事業内容などを変更したり規模を縮小したりして地域の方々に楽しんでもらう工夫をした。その中でも特に、利用者懇談会や地域連絡会といった様々な声を聴く機会を大事にしており、令和4年度はどちらも対面で実施した。日頃から連携をとっている自治会や近隣の学校、青少協などが一堂に会して意見交換を行うことで地域コミュニティの醸成を図っている。今後も連携を取りながら、共催事業などを実施してもらい、聖ヶ丘地域を盛り上げていただきたい。

コミュニティセンター全体でここ数年の課題となっている運営委員の高齢化やなり手不足について、館の広報紙で部会紹介をして運営委員がどのような活動をしているかを発信して新たな加入を試みている。また、若年層の住民が増えているということで、運営協議会に入りやすい環境づくりを今後整えていく。

コミュニティセンター・図書館・学童クラブの複合館というひじり館の特徴を活かして、幅広い年代が憩う場の提供を努めていただきたい。

指定管理者 施設運営評価シート（令和4年度）

1. 指定管理者について

施設名	愛宕コミュニティセンター（愛宕かえで館）			
指定管理者名	愛宕コミュニティセンター運営協議会			
施設所管課	くらしと文化部 コミュニティ・生活課			
主な業務内容	愛宕コミュニティセンターの管理運営			
指定期間	始期	終期		
	令和2年4月1日	令和5年3月31日		
利用料金制	無し			
選定方法	特命			
市の決算額（千円）	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	歳入（使用料）	370	642	703
	歳出（指定管理料）	17,137	17,151	18,004

2. 指定管理者の施設運営状況

(1) 収支状況

(単位：千円)

		内訳	令和2年度	令和3年度	令和4年度
予算	収入	指定管理料	17,404	17,151	18,004
		利用料金	-	-	-
		事業収入	2,689	1,189	1,087
		その他	1,089	530	822
		収入計 (a)	21,182	18,870	19,913
	支出	人件費	14,104	14,146	14,682
		維持管理に係る経費	1,503	1,872	2,124
		事業実施に係る経費	5,574	2,170	2,484
		その他	1	682	623
		支出計 (b)	21,182	18,870	19,913
収支 (a-b)			0	0	0
決算	収入	指定管理料	17,137	17,151	18,004
		利用料金	-	-	-
		事業収入	811	980	886
		その他	35	525	818
		収入計 (c)	17,983	18,656	19,708
	支出	人件費	13,272	13,843	14,620
		維持管理に係る経費	1,618	1,975	2,131
		事業実施に係る経費	2,565	2,067	2,304
		その他	49	0	0
		支出計 (d)	17,504	17,885	19,055
収支 (c-d)			479	771	653

※指定管理料は、前年度の収支状況等を踏まえ、毎年度、市と指定管理者の協議により決定しています。

(2) 利用状況

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
施設利用者数	6,774人	9,804人	12,574人
貸部屋数	8室	8室	8室
事業実施数	14事業	15事業	20事業
事業参加者数	681人	1,584人	3,309人

(3) 運営状況（維持管理・事業実施の状況）や収支・利用状況の増減要因分析 等

運営状況のうち、全館共通の項目については、P35「コミュニティセンター全館（9館）の総括」に記載のとおり。

施設利用については、新型コロナウイルス感染症が流行し始めた令和2年度と比較すると+5,800人（+85.6%）となった。しかし、令和元年度と比較すると-3,444人となっており、新型コロナウイルス感染症前の状況には戻っていない。

本館独自の事業について、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、令和4年10月9日、10日の2日間で3年ぶりに屋台が出店する「かえで館まつり」を開催し、ホールでの演技や演奏、会議室での作品展示などで多くの団体が参加し、中央大学ボランティアセンターもまつりの協力を携わったこともあり、大勢の来館者で賑わった。その他にも、中央大学ボランティアセンターとの共催で、8月20日に「中大生と遊ぼう！謎解きラリーinかえで館」を実施し、愛宕かえで館を舞台に100名を超える参加があり、子どもたちが親子で謎解きに挑戦し、今までにないイベントとして多くの参加者の好評を得た。可能な限り事業を実施するために入念に準備し、コンサート、ミニシアター及びスマホ連絡講座等の多くの事業を実施することができた。

収入及び支出に関しては、新型コロナウイルス感染症による影響から徐々に回復傾向にあるため増加している。中でも、事業計画をどのようにして実行できるかを工夫し、おおむね計画どおりに事業を実施することができたため、事業に関する経費が増加している。

3.利用者アンケート等の実施状況・結果

(時期・方法・回数)
アンケート1回（令和5年1月30日～令和5年2月10日） 参加団体数118団体 回答数36件

(結果の概要)
コロナ禍の中で、利用者懇談会は実施せずアンケート方式で利用者から意見・要望を聞いた。
スタッフの対応等についても評価が高く、概ね利用者からの評価は高かった。
利用者から「1団体・週に1枠、1週間前に空いていれば追加予約できる。」という現状のルールを、「週に2枠」等に改善できないかとの要望があったが、他館の予約ルールを参考に今後検討することとしている。

4.施設所管課の評価

実地検査日: 令和5年7月3日

視点	評価項目	評価
協定書や管理基準等に基づく基本業務	適正に施設を維持管理できていたか	適
	適正に利用承認や事業実施できていたか	適
	災害時や事故発生時の危機管理対策を講じていたか	適
	適正に個人情報管理できていたか	適
	適正な労務管理のために就業規則や出勤簿の整備等していたか	適
	適正に経理事務や現金管理等は行われていたか	適
	その他関係法令や協定書等に基づく手続き等は適正に行われていたか	適
利用者サービスの向上	自主事業により得た収益を活用し、老朽化した備品の買い替えや備品の拡充等、利用者サービスの向上に取り組んだか	適
	新たにホームページを制作し、施設紹介やイベントの告知等を行い、新規利用者の誘致を図ったか	適
市民協働の推進	近隣学校のコーラス部や吹奏楽部が出演する「子供たちのクリスマスコンサート」の実施等、世代間交流事業を実施したか（2種）	-
	地域交流事業として、地域団体と連携し、「かえで館まつり」や「カラオケ発表会」を実施したか	適
	「いきいきシニアサロン」等、公民館の活動との連携・協力することができたか	-
経費の削減や歳入増加	必要に応じて徴収した事業への参加者負担金や自動販売機の収入等の自主事業により得た収益を、管理運営経費に還元したか	適
評価の説明	市民協働の推進の項目について、新型コロナウイルス感染症の影響がある中で、感染症対策を講じながら「かえで館まつり」を開催し、地域の賑わいの創出に貢献することができたことから、「適」とした。 新型コロナウイルス感染症対策のために十分な取り組みができなかった項目は、評価対象外とした（「-」の記述）	
評価項目以外の改善取組	-	
改善指摘事項	なし	

※評価項目は、毎年度、市と指定管理者と協議により作成している事業計画書等に基づき、設定しています。

※評価の種類： 良…業務水準を大きく上回った 適…概ね業務水準どおり遂行できた 要改善…改善指示事項がみられた

5.総括（評価の総括及び今後の課題や方向性について）

愛宕コミュニティセンター運営協議会は、地域コミュニティ活性化のために様々な事業を地域、各団体等との関係を大切にしながら実行することを目標にしている。今年度も新型コロナウイルス感染症の影響下にあったが、感染対策を徹底した上で工夫をしながら可能な限り事業を実施することができた。

運営協議会委員のなり手不足や高齢化が課題となっているが、運営協議会を活性化するために、大学生と連携して新たな取り組みを行うことできた。また、運営委員の高齢化も進む中で、運営委員や協力員が増えるような魅力ある事業を実施することを目標にしている。

今後も「みんなで創る、みんなのかえで館」の原点を大切に、開館25周年に向けて地域活性化のために魅力あふれる事業を実施していくことを期待したい。

指定管理者 施設運営評価シート（令和4年度）

1. 指定管理者について

施設名	唐木田コミュニティセンター（からきだ菖蒲館）			
指定管理者名	唐木田コミュニティセンター運営協議会			
施設所管課	くらしと文化部 コミュニティ・生活課			
主な業務内容	唐木田コミュニティセンターの管理運営			
指定期間	始期	令和2年4月1日	令和5年3月31日	
	終期			
利用料金制	無し			
選定方法	特命			
市の決算額（千円）	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	歳入（使用料）	711	1,356	1,568
	歳出（指定管理料）	17,318	17,469	17,931

2. 指定管理者の施設運営状況

(1) 収支状況

（単位：千円）

		内訳	令和2年度	令和3年度	令和4年度
予算	収入	指定管理料	17,678	17,469	17,931
		利用料金	-	-	-
		事業収入	1,160	980	1,300
		その他	882	724	962
		収入計（a）	19,720	19,173	20,193
	支出	人件費	14,321	14,743	14,817
		維持管理に係る経費	1,758	1,832	2,023
		事業実施に係る経費	3,534	2,598	3,218
		その他	107	0	135
		支出計（b）	19,720	19,173	20,193
収支（a-b）			0	0	0
決算	収入	指定管理料	17,318	17,469	17,931
		利用料金	-	-	-
		事業収入	604	1,027	1,632
		その他	867	727	976
		収入計（c）	18,789	19,223	20,539
	支出	人件費	14,067	14,245	14,446
		維持管理に係る経費	1,887	2,261	2,367
		事業実施に係る経費	2,161	1,805	2,893
		その他	0	0	0
		支出計（d）	18,115	18,311	19,706
収支（c-d）			674	912	833

※指定管理料は、前年度の収支状況等を踏まえ、毎年度、市と指定管理者の協議により決定しています。

(2) 利用状況

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
施設利用者数	19,318人	32,712人	39,047人
貸部屋数	8室	8室	8室
事業実施数	13事業	15事業	27事業
事業参加者数	962人	1,375人	4,475人

(3) 運営状況（維持管理・事業実施の状況）や収支・利用状況の増減要因分析 等

<p>運営状況のうち、全館共通の項目については、P35「コミュニティセンター全館（9館）の総括」に記載のとおり。</p> <p>施設利用については、新型コロナウイルス感染症が流行し始めた令和2年度と比較すると+19,729人（+102.1%）となった。さらに、令和元年度との比較では+1,207人（+3.1%）となり、高い水準で新型コロナウイルス感染症前の状況に戻ってきている。</p> <p>本館独自の事業については、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける形にはなったが、3年ぶりに「からきだ菖蒲館まつり」を、出演者の演目を絞り、展示方法を工夫しながら2日間にわたり開催することができた。また、令和2年度、3年度は1度みの開催だった「日曜朝市」も6月から再開し、毎月第3日曜日は菖蒲館前広場において、実行委員会の運営のもと、地元生産者の方々からの野菜・果物等を出荷いただき好評を得ており、地域の交流が図られている。</p> <p>児童館及び図書館との共催事業も積極的に行なわれており、特に鶴牧西公園水田稲作維持管理については、地元自治会及び老人クラブを中心に、大松台小、児童館及び保護者等の参加による田植え、稲刈り体験を実施し、地域の世代間交流にも寄与することができた。</p> <p>日常の運営においては、新型コロナウイルス感染症の影響で事業の規模縮小等があったが、新型コロナウイルス感染症流行前の令和元年度と比較しても高い水準で事業を実施できたことから、昨年度に比べて事業に関する経費は増加している。</p>

3.利用者アンケート等の実施状況・結果

<p>(時期・方法・回数)</p> <p>アンケート 1回 (令和4年12月6日～令和5年2月4日)</p> <p>投書箱 (常設)</p>
<p>(結果の概要)</p> <p>アンケートの設問は、「利用頻度」「満足度」「スタッフの対応」「新型コロナ感染症対策」「和みカフェの利用」についての5項目だった。どの項目についても評価は高く、特にスタッフの対応では、「親切で使いやすい」「にこやか」「快い対応」等回答数の約90%で好印象であることがわかり、利用者にとって利用しやすい施設となっていることが窺えた。</p> <p>令和4年度の投書箱に寄せられた声はほとんどなかったが、野球のWBCの中継をロビーのテレビで見たい、という要望にもすぐに応じ、中継時間は対応するなど利用者に寄り添った配慮をすることができた。</p>

4.施設所管課の評価

実地検査日: 令和5年5月31日

視点	評価項目	評価
協定書や管理基準等に基づく基本業務	適正に施設を維持管理できていたか	適
	適正に利用承認や事業実施できていたか	適
	災害時や事故発生時の危機管理対策を講じていたか	適
	適正に個人情報管理できていたか	適
	適正な労務管理のために就業規則や出勤簿の整備等していたか	適
	適正に経理事務や現金管理等は行われていたか	適
	その他関係法令や協定書等に基づく手続き等は適正に行われていたか	適
利用者サービスの向上	自主事業により得た収益を活用し、老朽化した備品の買い替えや備品の拡充等、利用者サービスの向上に取り組んだか	適
	利用率の低いギャラリーを有効活用するため、未使用時は自由に勉強スペースとして自由に利用できるような机や椅子を設置し、広く利用者に開放したか	適
市民協働の推進	併設されている唐木田児童館と夏休み子どもイベントの共催等、世代間交流事業を実施したか（2種）	適
	農産品生産者の協力のもと「日曜朝市」の実施等、地域団体と連携を取り、地域交流事業を実施したか（4種）	適
	多摩ニュータウン環境組合主催事業である「唐木田クリーンアップ作戦」への参加や、近隣公園の管理事業協力など、地域団体等の活動と連携・協力することができたか	適
経費の削減や歳入増加	必要に応じて徴収した事業への参加者負担金や自動販売機の収入等の自主事業により得た収益を、管理運営経費に還元したか	適
	セブン・イレブン記念財団助成事業の助成金を獲得し、「花いっぱい運動でつくる絆」活動を行うことで地域に貢献しているか	適
評価の説明	市民協働の推進の項目について、新型コロナウイルス感染症の影響により一部を中止となった事業もあるが、消毒や換気、人数制限等の感染予防策を講じたうえで、からきだ菖蒲館まつり、日曜朝市等開催したことから「適」とした。	
評価項目以外の改善取組	-	
改善指摘事項	なし	

※評価項目は、毎年度、市と指定管理者と協議により作成している事業計画書等に基づき、設定しています。

※評価の種類： 良…業務水準を大きく上回った 適…概ね業務水準どおり遂行できた 要改善…改善指示事項がみられた

5.総括（評価の総括及び今後の課題や方向性について）

唐木田コミュニティセンター運営協議会は、「からきだ菖蒲館まつり」を始め、地域施設や学校などと連携を取った事業の展開を継続して行っていたが、新型コロナウイルス感染症の影響によりここ2年間は多くのイベントが中止せざるを得なかった。そうした中でも、感染状況等を見据えながら、様々な手法でできる限りの事業などに取り組んでおり、3年ぶりに開催した「からきだ菖蒲館まつり」は、規模を縮小したにも関わらず多くの地域の方々に来館があり、参加団体や来館された多くの方々との交流も図られた。

さらに、貸室の状況では、令和4年度2月期には過去最高の利用率となった。こうした状況は、常に利用者の立場に立ち、日常的に施設環境整備を徹底し利用者が安心して利用できるような取組みが評価されていると思われる。今後も感染予防策などに配慮しながら積極的に事業展開に取り組んでいきたい。

コミュニティセンター全館共通の課題として、運営委員の高齢化や委員、役員のなり手不足があるが、唐木田コミュニティセンター運営協議会は、運営の協力者を増やす取組みとして協力員制度を採用している。事業やイベントの際に募集を図り増員に向けた努力を行った結果、令和4年度は10名の加入も見られた。現状の事業活動を継続していきながら更に充実・発展していくために、運営委員の加入促進、そのためのアプローチ方法の検討を模索しており、今後も積極的な人員確保・リーダー層の育成に努めていきたい。

指定管理者 施設運営評価シート（令和4年度）

1.指定管理者について

施設名	和田・東寺方コミュニティセンター（大栗川・かるがも館）			
指定管理者名	和田・東寺方コミュニティセンター運営協議会			
施設所管課	くらしと文化部 コミュニティ・生活課			
主な業務内容	和田・東寺方コミュニティセンターの管理運営			
指定期間	始期	終期		
	令和2年4月1日	令和5年3月31日		
利用料金制	無し			
選定方法	特命			
市の決算額（千円）	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	歳入（使用料）	521	878	1,206
	歳出（指定管理料）	16,545	16,896	17,581

2.指定管理者の施設運営状況

(1) 収支状況

(単位：千円)

		内訳	令和2年度	令和3年度	令和4年度
予算	収入	指定管理料	17,389	17,339	18,024
		利用料金	-	-	-
		事業収入	664	440	400
		その他	680	321	603
		収入計 (a)	18,733	18,100	19,027
	支出	人件費	14,233	14,408	14,767
		維持管理に係る経費	1,656	1,731	1,972
		事業実施に係る経費	2,628	1,758	2,004
		その他	216	203	284
		支出計 (b)	18,733	18,100	19,027
収支 (a-b)			0	0	0
決算	収入	指定管理料	16,545	16,896	17,581
		利用料金	-	-	-
		事業収入	332	354	585
		その他	694	327	615
		収入計 (c)	17,571	17,577	18,781
	支出	人件費	13,633	13,406	14,292
		維持管理に係る経費	2,106	2,179	1,838
		事業実施に係る経費	1,531	1,410	1,938
		その他	0	0	0
		支出計 (d)	17,270	16,995	18,068
収支 (c-d)			301	582	713

※指定管理料は、前年度の収支状況等を踏まえ、毎年度、市と指定管理者の協議により決定しています。

(2) 利用状況

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
施設利用者数	9,091人	13,928人	23,000人
貸部屋数	7室	7室	7室
事業実施数	13事業	20事業	37事業
事業参加者数	820人	930人	3,369人

(3) 運営状況（維持管理・事業実施の状況）や収支・利用状況の増減要因分析 等

<p>運営状況のうち、全館共通の項目については、P35「コミュニティセンター全館（9館）の総括」に記載のとおり。</p> <p>施設利用については、感染症対策を徹底し予定していたほとんどの事業を実施したため、新型コロナウイルス感染症が流行し始めた令和2年度と比較すると+13,909人（+153.0%）となった。また、令和元年度と比較すると+5,120人となっており、新型コロナウイルス感染症前よりも増えている。要因としては、ホールの利用の増加や音楽室の個人利用の増加等で開館以来徐々に利用者が増えてきたことが考えられる。なお、コミュニティルームの利用者数は新型コロナウイルス感染症が蔓延する前の状況を抜いて、過去最高となっている。</p> <p>本館独自の事業について、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、令和4年11月11日、12日の2日間で3年ぶりに「かるがも館まつり」を開催し、843名が参加し、出展団体がまつりの演目の練習のために利用したため、貸室の利用にもつながった。9月11日に開催した平和の集いでは、平和・人権課で実施している子ども被爆地派遣事業に参加した市内高校生からの報告会を行ったほか、8月30日から9月11日に開催した平和展では、原爆資料館から借りた絵を展示した。また、近隣の帝京大学と連携して「博物館見学」を実施したり、多摩市社会福祉協議会及び西部包括センターと連携して「脳トレ・福祉なんでも相談」や「元気チェック」を実施したりした。さらに、地域間・世代間交流事業の新しい試みとして、関戸公民館からの呼びかけで、関戸公民館、バルテノン多摩、関・一つむぎ館と連携した「史跡巡りウォーキング」を実施し、非常に好評であった。</p> <p>収入及び支出に関しては、新型コロナウイルス感染症による影響から徐々に回復傾向にあるため増加している。中でも、計画したほとんどの事業を実施することができたため、事業に関する経費が増加している。</p>
--

3.利用者アンケート等の実施状況・結果

<p>(時期・方法・回数)</p> <p>利用者懇談会1回 令和5年2月5日 参加団体11団体 イベント開催時に適宜イベントの内容についてのアンケート（29回・回答者数500人）を実施 投票箱（常設）</p>
<p>(結果の概要)</p> <p>利用者懇談会では、アンケート集計結果に基づいて意見交換が行われた。アンケートで複数要望があったコマ割りに関する意見については、現行の3分割から4分割にすることや、コマとコマの間にインターバルを設けることについて意見が交わされ、利用者の声を館の運営に反映させるために、運営協議会の中で継続して検討することとなった。</p>

4.施設所管課の評価

実地検査日: 令和5年5月30日

視点	評価項目	評価
協定書や管理基準等に基づく基本業務	適正に施設を維持管理できていたか	適
	適正に利用承認や事業実施できていたか	適
	災害時や事故発生時の危機管理対策を講じていたか	適
	適正に個人情報管理できていたか	適
	適正な労務管理のために就業規則や出勤簿の整備等していたか	適
	適正に経理事務や現金管理等は行われていたか その他関係法令や協定書等に基づく手続き等は適正に行われていたか	適
利用者サービスの向上	自主事業により得た収益を活用し、老朽化した備品の買い替えや備品の拡充等、利用者サービスの向上に取り組んだか	適
	子育てプレイルームについて、夕方以降の利用率が低いことから、幅広い年齢層が使用できるよう工夫したか	適
市民協働の推進	「夏の虫捕り」等、世代間交流事業を実施したか（2種）	適
	地域交流事業として、地域団体等と連携し、「かるがも館まつり」や「RUN伴たすきりレー」を実施したか	適
	同一エリア内にある三方の森コミュニティ会館の活動との連携・協力することができた	-
経費の削減や歳入増加	必要に応じて徴収した事業への参加者負担金や自動販売機の収入等の自主事業により得た収益を、管理運営経費に還元したか	適
評価の説明	市民協働の推進の項目について、新型コロナウイルス感染症の影響がある中で、感染症対策を講じながら「かるがも館まつり」を開催し、地域の賑わいの創出に貢献することができたことから、「適」とした。 新型コロナウイルス感染症対策のために十分な取り組みができなかった項目は、評価対象外とした（「-」の記述）。	
評価項目以外の改善取組	-	
改善指摘事項	なし	

※評価項目は、毎年度、市と指定管理者と協議により作成している事業計画書等に基づき、設定しています。

※評価の種類： 良…業務水準を大きく上回った 適…概ね業務水準どおり遂行できた 要改善…改善指示事項がみられた

5.総括（評価の総括及び今後の課題や方向性について）

和田・東寺方コミュニティセンター運営協議会は、開館当初から「街のリビングルーム」を館のコンセプトとして、幅広い世代が気軽に立ち寄れるような工夫を施しながら館の運営を行なっている。

新型コロナウイルス感染症の影響下でも感染症対策を徹底しながら、さまざまな工夫を凝らし計画していたほとんどの事業を実施した。

運営協議会委員のなり手不足がコミセン全体での課題となっている。運営協議会委員は減っているものの、イベント参加者からの協力員は徐々に増えており、少しずつではあるが参加者への呼びかけの効果が出てきている。今後も地域において「街のリビングルーム」として認知されるような活動に期待したい。

指定管理者 管理運営評価シート（令和4年度）

コミュニティセンター全館（9館）の総括（収支や利用状況、運営の状況等）

【概況】

令和4年度も令和3年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、感染拡大防止対策を講じながらの館の運営となった。施設利用者や事業参加者の数は増加傾向にあり、事業については、中止や規模の縮小を余儀なくされたものがあったものの、館の運営及び事業実施において、各館の運営協議会がその時の状況に応じて対応し、適正に業務が行われた。

また、公有地を有効活用するために、設置可能なコミュニティセンターにシェアサイクルの実証実験としてサイクルステーションを設置した。

【利用状況について】

「利用者数」については、全9館の合計で269,310人であり、令和3年度と比べて91,827人（+51.7%）の増加となった。

いまだ新型コロナウイルス感染症の影響下にあるものの、利用者数は増加に転じている。新型コロナウイルス感染症が蔓延した当初に比べ、感染症に対する利用者の意識も変わり、各館でも感染症予防対策を徹底しながら運営した結果、利用者の活動が増加したものと考えられる。

【収支について】

各館の収入の根幹となる「指定管理料」については、新型コロナウイルス感染症の影響により計画通りに事業を実施できなかったことから、市と各運営協議会が協議を行い、不要額を返還してもらった。

施設の貸出に伴う「使用料収入」については、全9館の合計で約10,756千円であり、令和3年度と比べて約2,125千円（+56.7%）の増額となった。こちらも新型コロナウイルス感染症の影響下においても、利用者の活動が徐々に増加したことが収入増加の要因である。

支出については、令和3年度と比べると9館すべてで増加している。館により新型コロナウイルス感染症の影響下での対応は若干異なるが、令和3年度と比べて事業を行うことができた館で事業費が増加したものと考えられる。

【課題】

全館共通の長年の課題として、運営協議会委員の高齢化及びなり手不足があげられている。

これを解消するために、各館ではコミュニティセンターの今後のあり方を考え、様々な試みを行っているところである。具体的には、館の事業等に参加した人に事業の運営に協力してもらった協力員制度を実施している館や、大学生のボランティアと協力して事業を実施している館がある。開館後約30年が経過しているコミュニティセンターもあり、自治会等の地域との関係はより根強いものになっている。今後もこの根強い関係を活かして、課題の解決に向けて引き続き取り組んでいきたい。

指定管理者 施設運営評価シート（令和4年度）

1. 指定管理者について

施設名	多摩市立総合体育館、多摩市体育施設及び多摩東公園 ※ 体育施設(19施設)：一本杉公園野球場、関戸公園野球場、諏訪南公園野球場(兼球技場)、諏訪北公園野球場、貝取南公園野球場、一本杉公園庭球場、永山南公園庭球場、諏訪北公園庭球場、貝取北公園庭球場、愛宕東公園庭球場、一ノ宮公園庭球場、連光寺公園庭球場、奈良原公園庭球場、諏訪南公園球技場(兼野球場)、貝取南公園球技場、一ノ宮公園球技場、宝野公園球技場、和田公園球技場、大谷戸公園キャンプ練習場 ※ 多摩東公園(3施設)：武道館、陸上競技場、多摩東公園庭球場			
指定管理者名	多摩市健幸スポーツパートナーズ			
施設所管課	くらしと文化部スポーツ振興課・環境部公園緑地課			
主な業務内容	市民に安全で快適なスポーツ・レクリエーション活動やふれあいの場、社会参加の場を提供することにより、市民の健康及び福祉の増進に寄与する施設としての機能を十分に発揮できるよう、各施設の適切な管理運営を行う。また、それに加えて多摩東公園の維持管理も併せて行う。			
指定期間	始期 令和2年4月1日	終期 令和7年3月31日		
利用料金制	有り			
選定方法	公募			
市の決算額(千円)	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	歳入(使用料)			
	歳出(指定管理料)	205,079	190,455	202,618

2. 指定管理者に施設運営状況

(1) 収支状況

(単位：千円)

		内訳	令和2年度	令和3年度	令和4年度
予算	収入	指定管理料	186,087	182,775	186,705
		利用料金	92,928	93,850	92,460
		その他	1,623	2,377	2,377
		収入計(a)	280,638	279,002	281,542
	支出	人件費	116,456	117,735	118,269
		維持管理に係る経費	149,491	147,251	149,857
		事業実施に係る経費	11,691	11,016	11,016
その他		3,000	3,000	2,400	
支出計(b)	280,638	279,002	281,542		
収支(a-b)			0	0	0
決算	収入	指定管理料	(注1) 205,079	(注2) 190,455	202,618
		利用料金	63,003	81,373	84,742
		その他	603	1,049	1,323
		収入計(c)	268,685	272,878	288,683
	支出	人件費	131,096	126,675	118,149
		維持管理に係る経費	126,861	134,057	165,117
		事業実施に係る経費	3,923	5,557	9,099
その他		3,000	3,000	2,400	
支出計(d)	264,880	269,289	294,765		
収支(c-d)		(注3) 3,805	(注4) 3,589	▲ 6,082	

※指定管理料は、前年度の収支状況等を踏まえ、毎年度、市と指定管理者の協議により決定しています。

(注1) 令和2年度の損失補填額22,535千円(新型コロナ影響による減収分に対するもの)を含みます。

(注2) 令和3年度の損失補填額7,679千円(新型コロナ影響による減収分に対するもの)を含みます。

(注3) 黒字額3,805千円は令和3年度に市へ返還されています。

(注4) 黒字額3,589千円は令和4年度に市へ返還されています。

(2) 利用状況

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
総合体育館（個人開放）	30,497	41,394	62,466
総合体育館（団体利用）	76,074	79,752	98,744
野球場	49,719	52,735	59,486
球技場	43,694	49,764	47,784
庭球場	121,689	161,382	164,523
キャンプ練習場	1,708	314	3,650
武道館	20,622	30,369	47,927
陸上競技場	19,762	15,996	24,742
合計	363,765	431,706	509,322

(3) 運営状況（維持管理・事業実施の状況）や収支・利用状況の増減要因分析 等

<p>令和4年度は指定管理、第3期目の3年目として、より施設の利用者のニーズに沿った、新たな事業・サービスを実施しました。</p> <p>維持管理 体育館では、主に防火シャッター、太陽光発電設備、排煙窓、非常放送設備などの修繕を行いました。いずれも安全管理上必要であるため、年度途中で予算を超える状況が見込まれましたが市と指定管理者間で協議の上で実施しました。陸上競技場は、強雨時にエレベーターホール内に雨水が進入する事案が複数回発生したため、エレベーターホール前に排水溝を新設し強雨対策を行いました。屋外スポーツ施設では、一ノ宮公園球技場・貝取南公園球技場で経年の土の流出により、敷地の埋め立てて使われた小石などが露出し利用中止期間が発生したため、集石、岩瀨砂の敷設などの緊急整備を行いました。その他に多摩東公園の維持管理は、トイレ及び季節清掃、遊具点検、草刈、低木刈込や樹木剪定及び計画的伐採やナラ枯れ対応等について、年度計画を立て、日々現地確認しながら実施内容を決定して行いました。</p> <p>事業実施状況 体育館では、レストラン事業について、令和5年度より新事業者によりリニューアルをすることとなりました。テーブル・椅子などの什器備品の入替をおこない、視覚的に刷新されたイメージを持っていただけるよう取り組みました。その他の事業では子どもを対象にしたフットサルなどの体験イベントも新規実施しました。10月には多摩市の大型スポーツイベント「快汗スポーツDAY」において、前年度までの体育館・武道館・陸上競技場・多摩東公園庭球場でのイベントの他、関戸公園野球場で市民団体にも周知にご協力を頂き、野球教室を実施しました。 武道館ではヨガ、ピラティス、高齢者向けの健康体操など全9教室を稼働率の低かった会議室を活用し事業を開始しました。新設教室の受付はHPからの受付も可能とし参加希望者の利便性を向上しております。また、武道館では多摩市の発展に長年寄与されてきたご年配の方を対象に健康体操や体力測定などのイベントを実施したほか、条例変更後に直ちに売店が設置できる状態にしました。としております。そのほか、利用者にもバドミントン、ルディックウォーキングのボール、モバイルバッテリーのレンタルも開始しております。陸上競技場では、天然芝でのヨガ教室の実施を計画しました（雨天のため武道館での開催となりました）。</p> <p>収支・利用状況 収支に関しては、重なる修繕による予想外の支出の発生等により今年度の最終収支は6,082千円マイナスとなりました。収入及び利用状況については、コロナ禍から回復傾向にあります。</p>

3. 利用者アンケート等の実施状況・結果

<p>(時期・方法・回数)</p> <p>時期：令和5年2月1日～2月28日 方法：体育館、武道館、競技場、一本杉、多摩東において記入方式で実施 回数：1回（利用者アンケート） 時期：令和5年2月10日 方法：第3スポーツホール利用者を対象に対面方式で実施 回数：1回（利用者懇談会）</p> <p>(結果の概要)</p> <p>【体育館】70代以上及び女性の回答比率が多く7割強は市内在住者です。利用頻度は1回～3回/週の方が9割弱で生活の一部に体育館利用が含まれている方が多いと捉えています。スタッフへの満足度は、大変満足もしくは満足と答えた方が約9割となっています。利用目的は個人開放が5割強と団体利用と比較すると若干多くなっています。ご意見、ご要望としては利用者のマナーに対するものが散見されます。</p> <p>【武道館】体育館に似た傾向がありますが、改修工事後の施設美観維持に関しお喜びの声が多数みられました。食事をとれる場所がないことの要望が上がっております。</p> <p>【陸上競技場】男性利用が多く、10代・20代の利用が約7割を占めております。また市外の方の利用が多いのも特徴です。スタッフへの満足度は、大変満足もしくは満足と答えた方が9割を超えております。ご要望としてはトラック1、2レーンの利用希望が散見されます。</p> <p>【屋外体育施設】テニスコートの人工芝張替えに対するお喜びの声が散見されます。また、駐車場有料化に関するご意見も見られます。</p> <p>利用者懇談会では、予約制マシンの利用時間の拡大の要望と利用者のマナーに関するものがでております。マシンの利用時間拡大は既の実施しており、マナーに関してはトレーナーによる注意喚起を行っております。</p>

4.施設所管課の評価

実地検査日:

令和5年7月6日

視点	評価項目	評価
協定書や管理基準等に基づく基本業務	適正に施設を維持管理できていたか	適
	適正に利用承認や事業実施できていたか	適
	災害時や事故発生時の危機管理対策を講じていたか	適
	適正に個人情報管理できていたか	適
	適正な労務管理のために就業規則や出勤簿の整備等していたか	適
	適正に経理事務や現金管理等は行われていたか	適
	その他関係法令や協定書等に基づく手続き等は適正に行われていたか	適
利用者サービスの向上	テニス教室などの自主事業において、子どもを対象とした教室を開催したか	適
	自主事業の教室やイベントに参加しやすくなるよう、24時間受付可能な事業専用のWEB予約システムを導入したか	適
	大規模改修工事でリニューアルした多摩東公園内のスポーツ施設で、新たな自主事業を実施できたか	良
	サイクリストが多い尾根幹線に隣接する多摩東公園について、前年度に設置したサイクルステーションで自転車整備工具の貸出を開始したか	適
	武道館利用者やサイクリストの活動をサポートするため、総合体育館と同じように、武道館で栄養補助食品等の販売を開始したか	適
市民協働の推進	障がい者スポーツ教室やイベントの運営補助等、ユニバーサルスポーツ事業の開催ができたか	適
	多摩市体育協会や協会加盟団体、多摩市シルバー人材センターと事業連携し、市内スポーツ推進に関わる協力や業務委託の発注等を行ったか	適
経費の削減や歳入増加	自主事業により生じた利益の50%を指定管理業務の財源に繰り入れたか	要改善
	市との広告掲出委託による広告料収入により歳入の確保ができたか	適

視点	評価項目	評価
評価の説明	<ul style="list-style-type: none"> ・自主事業では子どもを対象とした教室として、テニス教室だけでなく体育館での教室体験イベント、クリスマスイベントを実施したほかに通年で複数、子どもを対象とした教室を開催した。 ・WEB予約システムを導入し、教室参加希望者の利便性を向上した。 ・武道館で全9教室を新設したほか、各種レンタルサービスを開始した。 ・自転車用整備工具の選定では、実際に多摩市内のサイクルショップに赴き意見を聞き多摩東公園内で無料レンタルを開始した。 ・障がい者スポーツについては、ポッチャを開催し毎年利用者が増える傾向にある。多摩市のポッチャフレンドカップにも参加した。指定事業のポッチャ参加者からは武道館での定期開催の要望や利用団体登録をしておき、独自でも体育館などを利用しての活動を希望する声が聞かれている。 ・多摩市体育協会、協会加盟団体、多摩市シルバー人材センターとは引き続き事業連携、業務委託をしております。 	
評価項目以外の改善取組	屋外スポーツ施設の整備について、現状に合わせて実施前に市と指定管理者で協議のうえより現状に則した管理を行いました。	
改善指摘事項	自主事業による利益の指定管理事業財源への繰り入れについて、さらなる利用者数の回復、収入確保策に努め、自主事業収入の50%の繰り入れを目指すこと。	

※評価項目は、毎年度、市と指定管理者と協議により作成している事業計画書等に基づき、設定しています。

※評価の種類： 良…業務水準を大きく上回った 適…概ね業務水準どおり遂行できた 要改善…改善指示事項がみられた

5.総括（評価の総括及び今後の課題や方向性について）

<p>体育館ではレストラン事業の見直し、リニューアルオープンにあたり、関係各所との調整を重ね、前事業者の撤退、新事業者の選定を行った。新事業者は多摩市と連携し多摩市内の障がい者自立支援を行っている団体を選定したことで、障がい者の自立支援及び健全者との相互理解の一助となることが期待される。</p> <p>武道館での事業実施については、これまで一部の利用者の方に知られる施設であったところを、多数の教室事業・レンタルサービス等を展開することで、今まで利用した事がない方の利用がみられ、収入の確保、施設の周知、利用者サービスの向上など大幅に貢献した。新設した事業を施設利用者以外にも知って頂けるよう、HP・SNSの活用のほかに、ポスティングや多摩市報での周知・近隣公共施設へのチラシ配架依頼・公園内への「のぼり」の設置も行うなどPRに力を入れている。またより気軽に申し込みができるようWEBでの予約受付を開始した。</p> <p>多摩東公園内の庭球場では4月からの早朝枠を恒久的に実施し、新たな収入の確保と利用者サービスの拡大のほか、早朝枠利用を設けることで熱中症予防へも寄与した。</p> <p>大谷戸公園キャンプ練習場では宿泊者が快適に利用できるよう宿泊専用区画を設置した。</p> <p>また、多摩市体育協会、協会加盟団体、多摩市シルバー人材センター、二幸産業・NSPグループとの連携の他、スポーツ推進委員に副館長を任命することでスポーツ推進活動の潤滑な運営と地域連携に寄与した。また、今年度は施設整備のマニュアルの見直しを行い変化する運営状況に対応できるよう体制を再整理している。</p> <p>利用者の声を聴く場としてこれまでのアンケート実施の他に利用者懇談会を実施した。来年度は、更なる施設の利用者回復、収入の増大、サービス向上、施設の有効活用が課題となる。また、武道館では更に教室展開を拡充し、利用者のニーズを探りながら潜在的な施設の可能性を検討する。屋外施設においては市との協議の上管理基準をより現状にあったものとし、適正な予算配分と施設の維持管理の質を向上させていく。</p> <p>多摩東公園の樹木管理については、今後も見直し・風通しの悪い所の間引き・剪定等を行っていく。その他、花壇などを増やし色物を増やしていきたいと考えている。管理をどうしていくかの課題もあるため、ボランティアなども含めて検討していきたいところである。</p>
--

指定管理者 施設運営評価シート（令和4年度）

1. 指定管理者について

施設名		多摩市立温水プール及び多摩市総合福祉センター		
指定管理者名		二幸産業・NSPグループ		
施設所管課		くらしと文化部 スポーツ振興課 健康福祉部 福祉総務課 高齢支援課		
主な業務内容		施設の管理運営、市民の健康推進及び生涯スポーツの振興並びに福祉の増進を図るための事業施設		
指定期間		始期	終期	
		令和4年4月1日	令和9年3月31日	
利用料金制		有り		
選定方法		公募		
市の決算額（千円）	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	歳入（使用料）			
	歳出（指定管理料）	409,022	430,155	467,742

2. 指定管理者の施設運営状況

(1) 収支状況

（単位：千円）

		内訳	令和2年度	令和3年度	令和4年度
予算	収入	指定管理料	358,910	388,751	423,116
		利用料金	127,759	171,960	171,805
		行政財産負担金	6,300	6,300	6,190
		自主事業	2,977	5,827	6,000
		その他	1,457	3,902	5,110
		収入計（a）	497,403	576,740	612,221
	支出	人件費	249,943	321,377	354,645
		維持管理に係る経費	204,775	214,350	203,203
		事業実施に係る経費	42,685	41,013	54,373
		その他	0	0	0
		支出計（b）	497,403	576,740	612,221
収支（a-b）			0	0	0
決算	収入	指定管理料	(注1) 409,022	(注2) 430,155	(注3) 467,742
		利用料金	45,976	102,446	134,434
		行政財産負担金	5,789	6,129	6,759
		自主事業	1,796	5,399	6,000
		その他	525	1,613	1,823
		収入計（c）	463,108	545,742	616,758
	支出	人件費	235,931	316,418	354,633
		維持管理に係る経費	164,493	192,464	202,639
		事業実施に係る経費	49,607	36,424	59,543
		その他	154	0	0
		支出計（d）	450,185	545,306	616,815
収支（c-d）			(注4) 12,923	(注5) 436	-57

※指定管理料は、前年度の収支状況等を踏まえ、毎年度、市と指定管理者の協議により決定しています。

※令和4年度の評価時において、令和2年度と令和3年度の収支状況に誤りがあったため訂正します。

※新型コロナウイルス感染拡大防止を目的として施設の臨時休館を行ったことから、指定管理者の利用料金収入が大幅に減少したため、損失補填をしています。ただし、市と指定管理者の協定により、決算額が黒字となった場合には、損失補填額を上限として当該利益額を市に返還することとしています。

（注1）令和2年度の損失補填額49,199千円（新型コロナ影響による減収分に対するもの）を含みます。

（注2）令和3年度損失補填額36,312千円（新型コロナ影響による減収分に対するもの）を含みます。

（注3）令和4年度損失補填額34,584千円（新型コロナ影響による減収分に対するもの）を含みます。

（注4）黒字額12,923千円は令和3年度に市へ返還されています。

（注5）黒字額436千円は令和4年度に市へ返還されています。

(2) 利用状況

(人)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度
温水プール				
施設利用者数		130,707	274,194	351,224
内訳	プール	87,924	216,719	279,356
	トレーニングルーム	27,603	36,403	45,682
	ミニスポーツルーム	15,180	21,072	26,186
総合福祉センター				
施設利用者数		38,630	57,741	77,823
内訳	一般貸出	12,220	22,994	37,943
	センター事業	26,410	34,747	39,880
利用者団体件数		2,658	4,137	5,543
内訳	一般貸出	1,460	2,715	3,998
	センター事業	1,198	1,422	1,545
登録団体数		568	600	592
稼働率		29.1%	49.6%	61.4%

(3) 運営状況(維持管理・事業実施の状況)や収支・利用状況の増減要因分析 等

■利用状況について

令和4年度は、指定管理期間5年間の1年目にあたります。

新型コロナウイルスの収束が見えない中、指定管理者と多摩市で協議を行い適切に感染予防対策を講じながら事業計画のもと、業務運営、施設管理が行われました。

温水プール・トレーニングルーム・ミニスポーツホールでは、新型コロナウイルスの影響で利用時間を短縮して運営していましたが、令和4年8月から通常の利用時間に戻すことが出来ました。一方で、9月1日にプールエリア内LED照明の破損があり、破損原因が不明であったことから、同機種のLED照明機器をすべて交換して安全の確保を図るため、9月1日から5日の臨時休場、9月6日から22日の夜間休業をすることとなり利用者の皆様にご迷惑をおかけいたしました。半導体不足の影響で調達に時間を要しましたが、交換作業の後、利用者の皆様が安心して利用できる環境を整えました。

温水プール利用者は、新型コロナウイルス前の令和元年度(2019年度)比81.5%まで利用者数が回復することが出来ました。また、総合福祉センターでも利用者数も戻りつつあり、老人福祉センター事業では4年ぶりに「春の発表会」を開催するなど各種事業を実施しました。

■利用者数・開場日数

【温水プール】

利用施設	開場日数	利用者数	前年比
温水プール	289日	279,356人	128.90%
トレーニングルーム	329日	45,682人	125.49%
ミニスポーツホール	326日	26,186人	124.27%
プール全体合計		351,224人	128.09%

・プール全体では前年に対し77,030人増

・プールは清掃工場からの余熱供給停止に伴い、1月17日から2月11日まで休場

【総合福祉センター】

利用施設	開場日数	利用者数	前年比
一般貸出合計	335日	37,943人	165.01%
センター事業合計	282日	39,880人	114.77%
・老人福祉センター		(35,991人)	111.10%
・障害者福祉センター		(3,889人)	165.35%
総合福祉センター合計		77,823人	134.78%

・総合福祉センターでは前年に対し20,082人増

【全 体】

利用施設	開場日数	利用者数	前年比
温水プール	329日	351,224人	128.09%
総合福祉センター	335日	77,823人	134.78%
合 計		429,047人	129.26%

・両館では前年に対し97,112人増

■主な利用者増加策について

【温水プール】

温水プールでは、令和4年度当初、利用時間を短縮して運営していましたが、8月から通常の利用時間に戻すことで適正な市民サービスの提供と利用者の増加を図りました。また、令和4年度は新型コロナウイルスの流行株が変異して感染力が高まり、第7波、第8波を迎えましたが、検温・手指の消毒、三密防止など徹底した感染防止に努めることで安心・安全に施設利用出来る環境の維持に努めました。令和4年度のアクアブルー多摩全体の利用者数は、新型コロナウイルスに伴う影響が未だ残っており、感染症拡大前の利用者数の回復には至りませんでした。温水プールの利用制限においては、3月に政府等のマスク着用の緩和施策があり、プールの利用定員を600人から900人へ増やすなど制限の緩和を行いました。2年目となる小学校水泳授業事業では、学校関係者や生徒からも好意的な意見を頂いています。令和5年度においても受け入れ小学校数を増やすとともに、児童・生徒の安全を第一に、地域に貢献する事業展開が予定されています。

この他、令和4年度は、アクア祭や快汗スポーツDAYを3年ぶりに再開するなど少しずつイベントを実施して集客力向上に努めると共に、従業員に対し利用者への接遇の強化を指導し、利用者に気持ちよくご利用いただけるように努めた施設運営が行われました。また、施設面では、子供たちと保護者が安全に利用できるようにキッズルームをリニューアルしました。授乳室は独立した個室とし安心して使用できるように整備しました。

トレーニングルームは、令和元年度の利用者数と比較した利用率は53.46%となり、新型コロナウイルス感染拡大前の利用者数には及びませんが、前年度42.58%に比べ10.88ポイント上昇しました。令和4年度は、トレーニング機器の入れ替えなどの設備投資や顧客獲得のためのキャンペーンを行うなど、利用者増加対策に努めました。

ミニスポーツホールは、指定事業の教室定員を増やすなど、感染症対策をとりながら制限緩和を行いました。令和元年度と比較した場合、利用率86.72%となり、新型コロナウイルス感染拡大前の利用者数の回復に向け徐々に増加しています。令和5年度には、教室プログラムの見直し、さらに魅力ある教室プログラムを提供する予定です。

【総合福祉センター】

令和4年度は、感染防止対策を徹底し、入館時には、個人情報取得、検温と手指消毒を求め、マスク着用やソーシャルディスタンスを呼びかけ入館を許可しました。6月からは入館時の入館届は廃止して利用者の負担軽減に心がけました。このように、利用者の特性に配慮し、感染防止対策を徹底しながら、ホームページの更新等による利用者増加に取り組みました。しかし、新型コロナウイルス感染者数の急増による利用控えもあり、利用者数は、前年度比で165.01%と増加傾向にありますが、令和元年度と比較した場合、86.72%と回復していない状況です。

【老人福祉センター】

老人福祉センターの運営は多摩市社会福祉協議会から引き継ぎ、令和4年度で2年目となります。総合福祉センター同様、感染防止対策を徹底し、入館時には、個人情報取得、検温と手指消毒を求め、マスク着用やソーシャルディスタンスを呼びかけ入館を許可しました。6月からは入館時の入館届は廃止して利用者の負担軽減に心がけました。寿大学については、引き続き定員を減らしての実施となりましたが、多くの市民が受講しています。特に高齢者は感染による重症化率が高いと言われておりますが、感染防止対策を徹底して、各同好会とも連絡調整を図り、前年度は中止となった「春の発表会」や「映画の日」も再開することができ、利用者からは高評価をいただきました。やはり、発表の場があるということはやる気や生きがいにつながると感じました。

部屋の人数制限やパーティションの設置など多少の制限はありますが、新型コロナウイルスの影響で利用中止としていたビリヤードコーナーや囲碁将棋コーナーの利用再開など、高齢者の外出の機会の提供にも努めました。

令和6年度からの同好会の一般団体移行や施設利用について福祉総務課及び高齢支援課と連携し、3月に「総合福祉センター・老人福祉センター事業意見交換会」を開催し、今後の施設利用の在り方について利用者の皆様と意見交換を行いました。

■両館共通の取り組みについて

- ・両館のホームページをリニューアルして見やすく、わかりやすく、統一感のある施設案内になりました。
- ・公衆無線LAN（無料Wi-Fi）館内設置
公衆無線LAN（Wi-Fi）を館内合計8カ所（温水プール4台、総合福祉センター4台）に設置し、施設利用者の公衆無線利便性向上及び高齢者にもデジタル機器の使用機会を増やしていただき、デジタル格差を少しでも埋められるように努めました。

乳幼児等を連れての方が安心して外出を楽しめ気軽に立ち寄り、授乳やおむつ替え・トイレの利用、休憩が取れる施設として登録しました。東京都福祉局ホームページや子育て情報サイトで登録施設として紹介してもらうことで、多摩市の子育て支援につながるのと同時に、当施設のPRが出来、利用者増加・知名度向上に努めました。

- ・まちの環境美化の取り組み
両館を運営する二幸産業・NSPグループでは長年まちの環境美化活動に取り組んでいます。
令和4年度は、このまち環境美化活動の取り組みに対し、多摩市から評価をいただき表彰されました。
今後も引き続き街の美化、地域活動に貢献してまいります。
- ・食料等無料配布事業へ協力
ゆるたまネット（事務局：多摩市社会福祉協議会）が行う「食料等無料配布事業」に実行委員及び二幸産業・NSPグループとして参加し、日常生活に苦しむ方々に食料を配布し元気づける活動に参加し、地域の社会貢献活動に協力しました。
- ・多摩市シェアサイクル事業
両館利用者用駐輪場に多摩市が取り組む「シェアサイクル」駐輪場を設置し、市内交通対策や環境施策に協力しました。

■自主事業について

温水プールでは事業実施により予算額をクリアしましたが、総合福祉センターでは新型コロナウイルスの影響での調理実習室の使用休止や人数制限により料理系の事業が実施できていないこと、また、再開できている事業も定員を減らしての実施となったことから予算額未達となりましたが、両館を運営する二幸産業・NSPグループが協力し、自主事業全体で目標を達成し予算額をクリアしました。

■イベントについて

指定管理者が主催するイベントは、感染防止対策を徹底して次のとおり開催しました。なお、不特定多数が集まる一部のイベントは感染症防止対策が徹底できないことから中止としました。

- ・七夕飾り展示
- ・市民向け「水辺の安全講習会」
- ・障がい者作品展
- ・アクア祭
- ・「救急WEEK」イベント・救急資機材展示
- ・食料等無料配布事業（ゆるたまネット主催）参加協力
- ・第2回多摩市ポッチャフレンドカップ2チーム参加
- ・南鶴牧小学校施設見学受け入れ
- ・ハロウィンイベント
- ・「第45回南なん亭」クリスマスコンサート
- ・クリスマスイベント
- ・唐木田クリーンアップ作戦2022参加
- ・令和5年（2023年）用カレンダー提供
- ・甘酒（ノンアルコール）配布
- ・新春フェスティバル（餅つき体験会・餅配布）
- ・新春プール内イベント
- ・西落合小学校3年生校外学習受け入れ
- ・多摩永山中学校校外学習受け入れ
- ・節分イベント
- ・第33回老人福祉センター「春の発表会」・「映画の日」開催
- ・3Mに挑戦
- ・利用者懇談会の実施
- ・総合防災訓練
- ・共同防火防災協議会

■収支状況について

【収入】

令和4年度に入っても新型コロナウイルス感染症の国内感染者数は増減を繰り返し、利用料金収入は大きな影響を受けました。8月からはプール営業時間を通常営業時間に戻し、利用料収入の増を図り、プール棟では前年度比131.2%と増加しました。しかし、令和4年度年間利用料収入予算に対しては、78.2%にとどまり、十分に利用料収入が回復していない状況にあります。

この他、指定管理者と多摩市の協議において、新型コロナウイルス感染症による利用料金減額分、LED照明機器交換工事費、急激な電気使用料金・ガス使用料金の高騰について、指定管理料を増額変更しました。

【支出】

【消耗品】

- ・プール水殺菌薬剤について、マイオックスから次亜塩素酸ナトリウムに切り替えたことから、当初予算に対し、削減となりました。
- ・新型コロナウイルス対策関連消耗品（消毒セットなど）は、昨年度に引き続き購入しました。

【印刷製本費】

- ・両館の案内、写真を表裏それぞれの面に印刷して三つ折りのパンフレットを新たに制作しました。

【光熱水費】

- ・両館の光熱水費のうち電気料金単価とガス料金単価が原料費調整額の上昇により急騰し、実績額が予算額を大きく上回りました。

【修繕費】

- ・当初予算に対し、約7,737千円の超過となった主な要因は以下のとおりです。

（温水プール）

・ 可動床修繕	2,570千円
・ キッズルーム改修工事	865千円
・ 残留塩素計交換	1,705千円
・ プール内塗装工事	1,485千円

（総合福祉センター）

・ 計測機器修繕	682千円
----------	-------

【業務費】

- ・ 主に下記の業務委託等を実施しましたが、全体としては当初予算に対して約541千円の超過となりました。

（温水プール）

・ トレーニング運営業務	493千円	（超過）
・ 温水プール赤外線外壁劣化調査	1,292千円	

（総合福祉センター）

・ 清掃業務にかかる協力業者最賃の値上げ対応	201千円	（超過）
・ 総合福祉センター外壁劣化調査	2,596千円	

（老人福祉センター）

・ 春の発表会会場設営費	641千円	
--------------	-------	--

【工事費】

- ・ 当初予算に対し、約2,212千円の超過となった主な要因は以下のとおりです。

（温水プール）

・ トイレ洋式化工事関係	1,600千円
・ LED照明器具交換	3,482千円
・ プールエア配管改修工事	517千円
・ プール内タイル目地修繕工事	601千円
・ LED照明器具工事	1,452千円
・ 館内掲示ビクトグラム化工事	800千円

（総合福祉センター）

・ 出庫灯ループコイル修理	770千円
---------------	-------

【備品購入費】

・当初予算に対し、約677千円の超過となった主な要因は以下のとおりです。

(温水プール)

- ・ トレーニング機器用マット (14枚) 144千円
- ・ ポータブルデッキ 193千円
- ・ キッズルームサイドガード等 185千円
- ・ プールクリーナー 686千円
- ・ 水着専用脱水機 315千円

(老人福祉センター)

- 談話室リニューアル 350千円

【令和4年度収支決算額】

(単位：円)

	総合福祉センター	老人福祉センター	温水プール	合計
収入総合計	157,682,953	32,847,670	426,227,736	616,758,359
支出総合計	157,876,322	32,706,437	426,232,286	616,815,045
当期収支差額	-193,369	141,233	-4,550	-56,686

3.利用者アンケート等の実施状況・結果

(時期・方法・回数)

令和5年2月初めから3月末までを調査期間として、来館者に対しアンケート用紙を声掛けにより手渡しし、協力を依頼しました。

回答者に対し粗品を進呈しました。

(結果の概要)

温水プールではサンプル数268人。アクアブルー多摩の利用のしやすさについて4.16(加重平均値)、前回は4.19で前回よりやや減少。利用料料金の満足度3.90、前回は4.01でこちらも前回より微減。施設の満足度4.11でこちらも前回の4.13より微減。アクアブルー多摩の職員の満足度について4.08で前回の4.19より減少しました。アクアブルー多摩の全体としての満足度は4.27で前回の4.29となり全ての項目について前回調査時(令和3年度)より減少となりました。コロナ禍において規制が多い施設運営となったことが要因として考えられます。

総合福祉センターではサンプル数223人。職員の満足度3.72で前回の3.83より減少。施設の総合的な満足度は3.7で前回の3.94より減少となりました。コロナ禍の利用控え、利用制限などが影響していると考えられます。また、同好会の取り扱いの変更に対するご意見も多く、満足度を減少させた一因と考えています。今後も、制度にご理解をいただけるように努めてまいります。

コロナ禍で利用者の皆様には感染防止で様々な制限を受けて、両館共に加重平均値による評価では全てで前回調査を下回ってしまいましたが、アクアブルー多摩では全ての評価でA評価(4.0以上)と高い評価をいただく結果となりました。

4.施設所管課の評価

実地検査日: 令和5年7月7日

視点	評価項目	評価
協定書や管理基準等に基づく基本業務	適正に施設を維持管理できていたか	要改善
	適正に利用承認や事業実施できていたか	適
	災害時や事故発生時の危機管理対策を講じていたか	適
	適正に個人情報を管理できていたか	適
	適正な労務管理のために就業規則や出勤簿の整備等していたか	適
	適正に経理事務や現金管理等は行われていたか	適
	その他関係法令や協定書等に基づく手続き等は適正に行われていたか	適
利用者サービスの向上	意見・要望・苦情などの検討結果開示、第三者評価の実施、ホームページ再構築、受付コンシェルジュ等を通じて、利用者の声を傾聴することで利用者満足度の向上に繋がる策を実施しているか	要改善
	季節イベント、物産展、絵画展示等、多様なニーズに対応したイベント等を実施しているか	適
	フリーWi-Fiの設置や子ども向けの水泳教室を対象としたスクール支援システムの導入など利用者の利便性向上のための取組を実施しているか	適
市民協働の推進	近隣イベントへの「アクアン」無料派遣等、地域のお祭りやイベントなどに参加しすることで地域が主体的に行う健康づくりへの関与、積極的に地域団体等へ関与しているか	—
	地元医療機関との協働による各種相談会開催や、地域教育機関への水泳指導を提供、既存地域スポーツクラブとの連携等、他機関連携事業を実施しているか	適
経費の削減や歳入増加	施設ホームページをリニューアルすることでより分かりやすい情報の発信を目指し、さらにミニコミ誌や新聞折込などの広域をカバーする情報誌、デジタルサイネージやSNSを活用したPRを通じて、積極的な情報発信を行っているか	適
	幅広い世代がともに楽しめるプログラムの充実、世代別のニーズに応じた教室開発、それら参加料の多様な条件による割引料金の設定等、利用者増加のための事業展開を行っているか	適
	有償付加サービス（酸素カプセル）の利用促進、オリジナルグッズの販売、施設内壁面への広告掲出（行政財産使用料）等、収入確保策を実施しているか	適
	たま広報等の公共広告媒体の活用、省エネ・節水対策、電気供給事業者の見直し、消耗品の調達方法の工夫による価格低廉化など、経費節減策を実施しているか	適
評価の説明	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、イベント等十分な取り組みができなかった項目については、評価対象外とした（「—」の記述）。	
評価項目以外の改善取組	令和3年度指定管理更新時の選定委員会からの意見の一つに「ユニバーサルサービスの推進」があった。この取り組みのひとつとして昨年度のホームページ更新時に、視覚障がい者などでも確認しやすい配食、表示色や文字サイズが選べる等の機能追加を行っている。トップページにイラストを加えたり、色使いを工夫し、見やすく読みやすく、明るいイメージの画面構成となっている。 事業において趣味・趣向の変化にあわせて、内容を精査・検討し、新規講座を取り入れる工夫をしている。	
改善指摘事項	アクアブルー多摩のリラクゼーションプールについては水質維持のため週1回の完全換水を実施することとなっているが、休館日の無い8月は実施されていなかった。安全な施設管理のため、今後は年間を通じて換水実施を確実に実施していただきたい。 総合福祉センターにおける利用者アンケートで、利用者の「総合的な満足度」が令和3年度と比較し下降していた。施設全体での制限や規則がある中で利用者の気持ちに寄り添い対応していただいているところではあるが、より親切・丁寧な対応を心掛けていただきたい。	

※評価項目は、毎年度、市と指定管理者と協議により作成している事業計画書等に基づき、設定しています。

※評価の種類： 良…業務水準を大きく上回った 適…概ね業務水準どおり遂行できた 要改善…改善指示事項がみられた

5.総括（評価の総括及び今後の課題や方向性について）

令和4年度においても、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、温水プールは年度当初利用時間を短縮している。総合福祉センター、老人福祉センターにおいてもイベント・講座の一部中止や定員を減らしての講座開催となっている。

施設の利用においては、感染対策は引き続き実施しながら、利用制限を適宜緩和してきたことにより、令和3年度比で利用者数・稼働率とも大きく回復した。しかしながら、コロナ禍前までの回復にはまだ至っていない。令和5年度は感染対策を継続しつつ、集客に向けたイベント実施や各種事業の再開が課題となる。また、利用者・稼働率のさらなる増加を目指すにあたっては、適切な施設管理や衛生管理、予算管理の実施が引き続き必須となる。今後も対象者に寄り添った丁寧な応対に心掛けていただくよう期待する。

指定管理者 施設運営評価シート（令和4年度）

1. 指定管理者について

施設名	永山駅・永山駅北・北諏訪小南・多摩センター駅東・多摩センター駅西各駐輪場			
指定管理者名	日本コンピュータ・ダイナミクス株式会社			
施設所管課	都市整備部 道路交通課			
主な業務内容	駐輪場の管理運営業務			
指定期間	始期	終期		
	令和3年4月1日	令和8年3月31日		
利用料金制	有り			
選定方法	公募			
市の決算額（千円）	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	歳入（使用料）	0	2,576	945
	歳出（指定管理料）	0	0	0

2. 指定管理者に施設運営状況

(1) 収支状況

(単位：千円)

		内訳	令和2年度	令和3年度	令和4年度
予算	収入	指定管理料	0	0	0
		利用料金	73,950	67,600	62,300
		その他	0	0	0
		収入計 (a)	73,950	67,600	62,300
	支出	人件費	32,000	30,254	31,500
		維持管理に係る経費	35,330	34,106	24,985
		支出計 (b)	67,330	64,360	56,485
収支 (a-b)			6,620	3,240	5,815
決算	収入	指定管理料	0	0	0
		利用料金	61,046	62,450	65,377
		その他	0	0	0
		収入計 (c)	61,046	62,450	65,377
	支出	人件費	30,875	31,321	31,092
		維持管理に係る経費	32,894	25,976	32,394
		支出計 (d)	63,769	57,297	63,486
収支 (c-d)			-2,723	5,153	1,891

※指定管理料は、前年度の収支状況等を踏まえ、毎年度、市と指定管理者の協議により決定しています。

※令和4年度の評価時において、令和3年度の収支状況に誤りがあったため訂正します。詳細は巻末の参考資料をご覧ください。

(2) 利用状況

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
自転車定期利用契約総数	6714	6191	5831
自転車一時利用総回数	109535	130956	149208
バイク定期利用者契約総数	1959	1795	1709
バイク一時利用者総回数	92653	98524	100734

(3) 運営状況（維持管理・事業実施の状況）や収支・利用状況の増減要因分析 等

市営駐輪場については、利用料金収入のみで指定管理者が管理運営を行っている。
 利用状況については、自転車・バイクともに定期利用契約数が年々減少する一方、一時利用数が年々増加している状況である。そうした変化を捉える形で、令和4年1月に駐輪ラックの配置変更による一時利用エリアの拡大、令和4年度からは一時利用エリア満車時に定期利用エリアを一時利用エリアとして開放する等ニーズに合わせた柔軟な運用を行うことで、より多くの一時利用者を受け入れ、収入については令和3年度を上回る収入となった。
 また、支出については、電子マネーやQRコード決済の普及拡大による手数料の増加や電気料金の値上げなどの影響を受けたものの、消耗品の一括購入による購入費の削減、紙媒体の電子化による印刷費等の削減、節電や節水による光熱水費の削減及び作業の内製化による経費の削減といった取り組みを引き続き行うことで、経費の増加を可能な限り抑制に努めた。

3. 利用者アンケート等の実施状況・結果

(時期・方法・回数)
令和4年12月15日～令和5年2月15日にアンケートを実施。 昨年度までは駐輪場内の管理人室前に用紙を設置・回収する方法とWEBでのアンケートを実施していたが、さらに令和4年度では定期契約者にメールで案内する方法を加え実施した。 その結果、令和3年度の35件に比べると220件増の255件の回答を得ることができた。
(結果の概要)
回答数：255件 利用目的：通勤72.9%、その他27.1% 利用形態：定期利用87.5%、一時利用12.5% 管理員の対応・態度：満足49.4%、やや満足34.1%、その他16.5% 場内の清潔さ：満足54.9%、やや満足32.2%、その他12.9% 「満足」と「やや満足」を合わせた満足度は、「管理員の対応」が前年度から3.5ポイント向上して83.5%、「場内の清潔さ」が前年度から10.0ポイント向上して87.1%となっており、これは絶え間ないサービス向上策を継続実施した結果、利用者満足度が高い状況にあるものと評価している。 自由意見の中では、管理員の挨拶や声かけを高く評価する意見が多くあった。 そのほか、指摘のあった項目（レイアウト、マナー、料金等）については、市と指定管理者で共有し、可能な範囲で対応を検討している。

4. 施設所管課の評価

実地検査日： 令和5年7月6日

視点	評価項目	評価
協定書や管理基準等に基づく基本業務	適正に施設を維持管理できていたか	適
	適正に利用承認や事業実施できていたか	適
	災害時や事故発生時の危機管理対策を講じていたか	適
	適正に個人情報管理できていたか	適
	適正な労務管理のために就業規則や出勤簿の整備等していたか	適
	適正に経理事務や現金管理等は行われていたか	適
利用者サービスの向上	その他関係法令や協定書等に基づく手続き等は適正に行われていたか	適
	交通安全の啓発のため、継続して「自転車安全点検キャンペーン」を実施したか	良
	施設内の事故防止に向けて、掲示案内を見直し、案内表示の分かりやすさを向上させたか	適
	市内を運行する公共交通機関の時刻表を掲示し、ダイヤ改正の際には適切に更新したか	適
	利用者サービスとしてだけでなく、傘差し運転を防止する安全運転啓発活動の一環として雨具の無料配布を継続実施したか	適
市民協働の推進	サポートセンターによる対応に加えて、新たにチャットボットによるサポートサービスを実施したか	適
	高齢者や子供連れの方に優先的に利用いただいている思いやりゾーンを継続するとともに、利用状況を把握し、スペース拡張の必要性の検討を行ったか	適
経費の削減や歳入増加	紙資源の減量に向けて、紙資料の電子化に取り組んだか	適
評価の説明	利用者サービスの向上の「自転車安全点検キャンペーン」については、昨年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い点検パンフレットの配布のみであったが、令和4年度は各駐輪場内で車両点検をするキャンペーンを実施した。当該点検については、外部委託で行っていたものを令和4年度は自転車安全整備士資格を持っている指定管理者の社員が行うことで、外部委託費用を削減することができた。また、実施時間を駐輪場利用者が多い夕刻に行なうことで、過去最高の95名の利用者があった。こうした手法や実施時間の見直しは経費削減や事業効果の増進に大きく寄与したものと評価した。 そのほか、各評価項目に対して業務水準どおり遂行できていると評価した。	
評価項目以外の改善取組	人感音声スピーカーを設置し、場内走行について注意喚起することでマナー向上や事故予防に努めていた。	
改善指摘事項	特になし。	

※評価項目は、毎年度、市と指定管理者と協議により作成している事業計画書等に基づき、設定しています。
 ※評価の種類： 良…業務水準を大きく上回った 適…概ね業務水準どおり遂行できた 要改善…改善指示事項がみられた

5. 総括（評価の総括及び今後の課題や方向性について）

事業計画書に基づく業務内容及び実施状況の適正な執行を確認した。
 一時利用エリア満車時に定期利用エリアを一時利用エリアとして開放し、より多くの一時利用者を受け入れ、令和3年度と比較し大幅に一時利用者数を増加させることができた。駐輪場事情を熟知する指定管理者ならではの利用状況を捉えた取り組みを高く評価する。
 今後も、民間企業ならではのノウハウを生かした利用者目線での管理運営を行い、安心安全でより利用しやすい駐輪場運営を期待する。

指定管理者 施設運営評価シート（令和 4 年度）

1. 指定管理者について

施設名	多摩市立八ヶ岳少年自然の家			
指定管理者名	一般社団法人 富士見パノラマリゾート			
施設所管課	教育部教育振興課			
主な業務内容	多摩市立八ヶ岳少年自然の家における施設等の利用の許可及び維持管理並びに小・中学校の移動教室等の実施			
指定期間	始期	終期		
	平成30年4月1日	令和10年3月31日		
利用料金制	有り			
選定方法	公募			
市の決算額（千円）	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	歳入（使用料）	0	0	0
	歳出（指定管理料）	66,200	66,200	73,903

2. 指定管理者に施設運営状況

(1) 収支状況

(単位：千円)

		内訳	令和2年度	令和3年度	令和4年度
予算	収入	指定管理料	66,200	66,200	66,200
		利用料金	9,982	6,820	8,038
		食事料	23,025	18,050	21,217
		その他	3,784	3,485	3,560
		収入計 (a)	102,991	94,555	99,015
	支出	人件費	41,950	41,425	45,475
		維持管理に係る経費	41,328	22,683	24,761
		事業実施に係る経費	12,650	23,377	26,092
		その他	7,063	7,070	2,687
		支出計 (b)	102,991	94,555	99,015
収支 (a-b)			0	0	0
決算	収入	指定管理料	66,200	66,200	73,903
		利用料金	1,727	4,312	7,229
		食事料	1,986	12,322	18,563
		その他	554	4,823	4,169
		収入計 (c)	70,467	87,657	103,864
	支出	人件費	37,914	43,107	48,187
		維持管理に係る経費	22,608	12,923	16,516
		事業実施に係る経費	1,487	24,854	31,755
		その他	6,175	7,062	8,185
		支出計 (d)	68,184	87,946	104,643
収支 (c-d)			2,283	-289	-779

※指定管理料は、前年度の収支状況等を踏まえ、毎年度、市と指定管理者の協議により決定しています。

(2) 利用状況

		令和2年度	令和3年度	令和4年度
施設利用者数	団体数	133団体	271団体	397団体
	宿泊人数（延べ）	1,095人	6,830人	9,967人
	利用人数（延べ）	2,013人	11,602人	16,888人
貸部屋数（稼働率）		182（6%）	950（26%）	1,515（42%）
事業実施数		0回	0回	0回
事業参加者数		0人	0人	0人

(3) 運営状況（維持管理・事業実施の状況）や収支・利用状況の増減要因分析 等

■ 維持管理の状況

1. 保守点検・修繕等について

法令に基づき施設の維持管理に必要な各種保守点検等を行ったほか、基本協定書及び指定管理基準のリスク分担に則った修繕工事を実施した。

2. 安全管理・環境保全について

安全管理・環境保全に関して以下のとおり対応した。

- ・敷地内の危険木や枝の撤去、草刈りによる足元の視界確保など随時整備を行い、野外での活動が常に安全に実施できるように努めた。
- ・また、雷雨や積雪などの気象情報をその都度取得して早めの情報提供と注意喚起に努めた。
- ・蜂捕獲機を設置し蜂刺されを予防した。
- ・移動教室の林業体験の際にヘルメットを貸し出し、安全対策を徹底した。
- ・春秋の側溝清掃点検と降雪時の速やかな道路除雪・解氷を実施した。
- ・多摩市が国と協定書を取り交わし、小学校6年生の林業体験で使用している国有林において環境整備上必要な間伐を行い環境保全に努めた。
- ・毎日時間を定め敷地内の見回りを実施。凍結・落雪・蜂の巣等危険個所の発見・除去に努めた。
- ・業務におけるヒヤリ・ハット経験によるリスクの共有化を継続的にを行い、リスク回避に努めた。
- ・台風被害等による倒木を順次処理し、野外活動に支障が出ないように安全対策を図った。
- ・外部検査機関に依頼し食品衛生管理を徹底することで、利用者に安心・安全な食事を提供できるよう努めた。

3. 新型コロナウイルス感染症対策について

- ・指定管理者作成の「多摩市立八ヶ岳少年自然の家」ホームページに新型コロナウイルス感染症の注意喚起等の重要な情報を掲載した。
- ・施設各所に手指消毒用アルコールを、洗面所等にはハンドソープを設置し、手洗いの仕方のポスターを掲示して手指消毒の徹底を呼び掛けた。
- ・施設各所のアルコールによる定期的な消毒を行い常時消毒に努めた。
- ・サーマルカメラの設置による利用者・職員の検温、マスク着用の徹底を行った。
- ・共用部分の使用制限、食堂では一人ひとり距離を置く座席配置と利用者間にアクリル板の設置、各部屋への空気清浄器の設置など、3密を避ける対策を行った。
- ・長野県が定めた新型コロナウイルス感染症対策施設を認定する「信州安心なお店」に登録をした。
- ・職員に対しては、出勤時に体温と健康状態を記入する「健康管理チェック表」と、退勤時に感染防止に対するの注意事項を守れたかを確認する「新型コロナウイルス感染症予防チェックシート」を活用し、全職員が自身の体調管理と感染予防への意識向上を図れるよう対策を図った。

4. 予算執行と経費等の管理について

予算執行と経費等は適正に管理されている。また、現金の入出金管理は、現金出納簿やつり銭現金出納帳等を備えて行っている。

■ 事業実施の状況

1. 指定事業について

市立小中学校の移動教室等は、夏期26校、冬季18校の計44校が施設を利用して宿泊した。

「森林教室」では、パネルやパワーポイント等の資料を用いて、森林を始めとした自然が人々の暮らしの支えとしてどのような役割を担っているのか、その保護保全のためにどのような貢献が出来るのか一人ひとりが考えるきっかけを提供した。

「林業体験」では、ノコギリでの伐倒体験を行い、知識だけではなく、実践を通して、林業と自然に関しての理解を深める機会を提供した。

2. 主催事業について

主催事業については、「子どもサマーキャンプ」等について年5回実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を予防するため、令和3年度同様全て中止とした。

■ 収支・利用状況

1. 収支・利用状況について

令和4年度決算額は、令和3年度決算額に対して収入・支出ともに利用者数の回復に伴い増加した。

しかし、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、予定していた利用者数に至らなかったことから、収入の決算額は予算額を下回る結果となった。

決算額が赤字となった要因は、利用者が見込みより少なかったことによる収入減や、人件費及び食材料費の支出が多く全体の収支はマイナスとなった。人件費については退職者の手当や臨時職員の雇用などが要因で、今後は平準化していく見込みである。食材料費については物価高騰が主な要因であるが、メニューの変更や食材の一括購入など食事の質を落とさないような経費削減に取り組んでいる。

また、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策として、消毒用品等の消耗品購入や3密回避を徹底するため夏や冬でも通常より広い場所で冷暖房と換気を併用しながら入退式を行ったり、食事の際も食堂に隣接する体育室を冷暖房を使用しながら併用して利用者同士の離隔をとることで、冷暖房によるガスや灯油の使用量が増加したことが一因と考えられる。

令和4年度の利用状況は、令和3年度と比較して利用団体及び利用者数ともに一定程度の回復を実現し、市外小学校の利用も2校実施することが出来た。

3.利用者アンケート等の実施状況・結果

(時期・方法・回数)
時期：4月から翌年3月 方法：一般利用者に対し実施。アンケート用紙に記入する。 回答数：125件
(結果の概要)
<p>「今後も利用し続けたい」が98%以上を占め、設備、スタッフ対応などの満足度も高水準であることから、利用者に高く評価されている。</p> <p>食事については「満足」が73%となっており、令和3年度から8%上昇した。一方で「少ししょっぱかった」「量が少し多め」「子どもに食べやすいメニューがいい」などの意見が寄せられていたことから、栄養バランスだけでなく地元農家の野菜や果物を使用した自然の家ならではのメニューを提供し、今後も子どもから大人まで幅広い年代の方にもおいしく食べていただけるような食事を提供できるよう努めていく。</p> <p>その他の自由意見としては、「快適な環境で良い息抜きが出来ました」「自然食でバランスよく美味かった」などのほか、感染対策や施設の清潔感、スタッフの対応についてお礼の言葉が多くあった。利用者からの指摘事項は全職員で共有し、迅速に対応することで利用者の満足度向上に結び付いていると考える。</p>

4.施設所管課の評価

実地検査日: 令和5年6月22日

視点	評価項目	評価
協定書や管理基準等に基づく基本業務	適正に施設を維持管理できていたか	適
	適正に利用承認や事業実施できていたか	適
	災害時や事故発生時の危機管理対策を講じていたか	適
	適正に個人情報管理できていたか	適
	適正な労務管理のために就業規則や出勤簿の整備等していたか	適
	適正に経理事務や現金管理等は行われていたか	適
	その他関係法令や協定書等に基づく手続き等は適正に行われていたか	適
利用者サービスの向上	利用者アンケートの質問項目等を見直し、回答率の向上を図ったか。	適
	職員がチェーンソー取扱従事者の資格を取得し、林業体験における安全対策の強化を図ったか。	適
	職員がリスクマネジメントディレクターの資格を習得するため、安全管理アドバイザーによる講習を実施し、事故防止対策の強化を図ったか。	適
	食品衛生法等の改正に伴い導入された新たな衛生管理手法に対応するため、以下のとおり、衛生管理の強化を図ったか。 ・食品衛生に関する講習実施等の実施による職員の意識の向上 ・外部機関による点検を実施したか	適
	新型コロナウイルス感染症に関連した施設の営業情報や利用の注意点を分かりやすく掲載し、利用者の利便性向上を図ったか。	適
	新型コロナウイルス感染症の影響で運用開始ができていなかった新設したクラフトコーナーについて、運用を開始できたか。 ※新型コロナウイルス感染症の状況を考慮しながら開始の判断を行うこと	適
	多摩市立小・中学校との調整により、活動プログラムのメニュー新設について、検討を開始したか。	適
施設全体でのWi-Fi利用が可能となるように、環境を整備したか。	適	
市民協働の推進	富士見町観光協会などとの連携により地元産食材を利用したメニューの開発及び提供を行ったか。	適
経費の削減や歳入増加	屋外照明等について、太陽光発電設備を設置したか。	適
	燃料費の削減に向けて、ボイラーを手動操作でこまめにON・OFFを切り替え、稼働時間を短縮させたか。	適
	・使用量を計測するデマンド計を活かし、こまめにON・OFFすることで、無駄な電気料金を削減できたか。 ・各種設備の使用時間をずらし電力使用量を分散させることにより、次年度の契約電力料金の値上がりを防止できたか。	適
	灯油について、従前から継続して一括大口購入して、購入単価の削減を図ったか。	適
	多摩市や富士見町及び観光協会等と連携し、継続的に多摩市や富士見町近辺の学校やスポーツ団体などに営業活動を行い、利用者の増加を図ったか。	適

<p style="text-align: center;">評価の説明</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「協定書や管理基準等に基づく基本業務」は、評価項目全てにおいて適正に行われていることを確認した。なお食事提供時の事故防止策として整理した「移動教室の食事提供メニュー確認作業表フロー」に従い適切に食事提供されていることを確認した。 ・「利用者サービスの向上」「市民協働の推進」は、いずれも新型コロナウイルス感染症対策を図りながら、適正に行われていることを確認した。 ・「経費の削減や歳入増加」は、適正に行われていることを確認した。 また、布巾乾燥や施設の壁面塗装など職員で対応可能な作業は専門業者に委託せずに職員が行うことで収支の改善に積極的に取り組んでいることを確認した。 さらに、物価の高騰についてはメニューの変更や食材の一括購入など食事の質を落とさないような経費削減に取り組んでいる事を確認した。
<p style="text-align: center;">評価項目以外の改善取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページをリニューアルをして利便性の向上を図るとともに、四季ごとにデザインを変更するなど工夫した。 ・長野県の定めた新型コロナウイルス感染症対策チェックリストに沿って認定される「信州安心なお店」の登録を行った。 ・全館Wi-Fi環境の整備を行った。 ・地元産の高原野菜や果物、味噌やアイスクリームなどを積極的に取り入れ、郷土色溢れる味覚の提供に努めた。 ・自動販売機の撤退を受け、ロビーに小型冷蔵庫を設置し飲料を販売することでサービス維持に努めた。 ・サラダバーやバーベキューの海鮮セットなど、メニューを新たに増やし、家族グループなどの利用者増加に努めた。 ・富士見パノラマリゾート内部で連携し宿泊者限定の Gondola 割引券を発行し相互の利用者増加に努めた。
<p style="text-align: center;">改善指摘事項</p>	<p>改善指摘事項無し</p>

※評価項目は、毎年度、市と指定管理者と協議により作成している事業計画書等に基づき、設定しています。

※評価の種類： 良…業務水準を大きく上回った 適…概ね業務水準どおり遂行できた 要改善…改善指示事項がみられた

5.総括（評価の総括及び今後の課題や方向性について）

<p>令和4年度は、令和9年度までの指定管理期間（10年間）の5年目であり、宿泊者（延べ）は9,967人と、コロナ禍前の利用者数の9割程度まで回復した。これは、指定管理者が経験や実績をもとに、市教育委員会との調整を図りながら、良好な施設管理及び事業運営に努め、新型コロナウイルス感染症対策を含めた利用者サービスの向上を実現するため日々改善や努力を図った結果であると評価できる。</p> <p>市立小中学校の移動教室は、感染対策を徹底することで夏期に26校、冬期に18校と予定していた移動教室等を全て実施できたことは高く評価できる。また、燃料光熱費の単価が上昇する中、デマンド計を活用し館内の使用していない設備の電源をこまめに落とすなど、エネルギー使用量の削減に努めている。さらに、灯油については、単価の安い時に一括購入するなど、経費削減の工夫や省エネルギー化による持続可能で地球にやさしい取り組みを行っていること等も評価できる。</p> <p>なお、令和4年度は利用者が見込みより少なかったことによる収入減や、人件費及び食材料費の支出が多く全体の収支はマイナスとなった。人件費については、サービスの質を落とさないよう退職予定者と丁寧な引継ぎができる期間をとった人員の配置や、コロナ禍における受け入れに際しての感染予防対応等による臨時職員の雇用などが要因で、今後は平準化していく見込みである。食材料費については物価高騰が主な要因であるが、メニューの変更や食材の一括購入など食事の質を落とさないような経費削減に取り組んでいる事も評価できる。</p> <p>施設・設備等の管理は、定期的に点検を行い、必要に応じた修繕等の対応により適切に維持管理されている。引き続き、令和9年度までの指定管理期間の中で施設の長寿命化を図るため計画的かつ効率的な施設維持管理に努めていただきたい。</p> <p>今後も利用者の安全確保を最優先に取り組んでいただくとともに、八王子市の利用に向けた準備を進めていただき、指定管理者として積極的に創意工夫を図り、利用者数及び収益を増やすと共に、施設運営経費の節減に努め、八ヶ岳の良好な自然環境の中で、市民をはじめとする利用者の自然体験の機会提供を安定的かつ積極的に進めていただきたい。</p>

指定管理者 施設運営評価シート（令和4年度）

1. 指定管理者について

施設名	永山複合施設駐車場			
指定管理者名	新都市センター開発株式会社			
施設所管課	教育部 永山公民館			
主な業務内容	駐車場の管理運営			
指定期間	始期	終期		
	平成31年4月1日	令和6年3月31日		
利用料金制	無し			
選定方法	特命			
市の決算額（千円）	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	歳入（使用料）	5,257	8,547	8,910
	歳出（指定管理料）	8,848	8,848	8,848

2. 指定管理者に施設運営状況

(1) 収支状況

（単位：千円）

		内訳	令和2年度	令和3年度	令和4年度
予算	収入	指定管理料	8,848	8,848	8,848
		利用料金	-	-	-
		その他	0	0	0
		収入計 (a)	8,848	8,848	8,848
	支出	人件費	7,306	7,318	7,318
		維持管理に係る経費	0	0	0
		事業実施に係る経費	0	0	0
		保険料	50	50	50
		設備保守点検費	465	465	465
		消耗品費	382	382	382
		その他	645	633	633
		支出計 (b)	8,848	8,848	8,848
	収支 (a-b)		0	0	0
決算	収入	指定管理料	8,848	8,848	8,848
		利用料金	-	-	-
		その他	0	0	0
		収入計 (c)	8,848	8,848	8,848
	支出	人件費	7,776	7,644	7,095
		維持管理に係る経費	0	0	0
		事業実施に係る経費	0	0	0
		保険料	39	39	39
		設備保守点検費	511	511	465
		消耗品費	0	388	26
		その他	0	0	598
		支出計 (d)	8,326	8,582	8,223
	収支 (c-d)		522	266	625

※指定管理料は、前年度の収支状況等を踏まえ、毎年度、市と指定管理者の協議により決定しています。

※決算について、令和2年度及び3年度は税込み計上

(2) 利用状況

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
施設利用台数	46,737	63,083	67,387
有料台数	13,313	19,910	21,119

(3) 運営状況(維持管理・事業実施の状況)や収支・利用状況の増減要因分析 等

<p>駐車場の開場・閉場、場内点検、駐車場管制システム・駐車券発行機・精算機の保守、使用料・駐車券の回収及び集計、使用料の入金、帳票類の記録・管理、場内監視、事故等の対応処理等の管理運営を行う。さらに、新型コロナウイルス感染症対策のため、発券機の定期的な消毒作業も行った。</p> <p>また、場内の美観維持及び安全性の向上を目的として場内の白線ライン塗装及び泡ヘッド目印紐交換を実施した。そのことにより、視認性が高まり場内の安全確保に役立ったと思われる。また、永山公民館及び永山図書館と連携しながら、駐車場内・エレベーターホール等の掲示物(新型コロナウイルス感染拡大防止のための利用上の注意等のお知らせ)についても、内容変更の度に貼替を実施した。新型コロナウイルスの影響により臨時的な対応をとった際にも、ベルブ永山一体となり、速やかに正しい情報の発信に積極的に取り組んだ。</p> <p>駐車場利用台数は67,387台であり、前年と比べ6.82%増加した。市の歳入となる使用料収入についても、前年と比べ4.24%増の8,910千円となった。入庫台数については、6月、7月、8月を除く全ての月において、使用料収入については、7月、8月、3月を除く全ての月において前年を上回った。要因として考えられることは、新型コロナウイルス感染症の対策が軽減されたこと、また前年に比べ公民館主催事業の実施数も増加したことで長時間利用者が増えたことが挙げられる。なお、市の歳出となる指定管理料8,848千円に対し、市の歳入となる使用料収入は8,910千円であり、歳出超過は解消されている。</p> <p>次年度においては、新型コロナウイルス感染症対策の変更に伴い、公共施設の利用者数及び各事業における来館者の増加が想定されることから、更なる使用料収入の増加を見込んでいるところである。</p>

3.利用者アンケート等の実施状況・結果

<p>(時期・方法・回数)</p> <p>時期：令和4年11月19日(土)20日(日)21日(月)の3日間(19日、20日に各40枚、21日に20枚、計100枚配布)</p> <p>方法：駐車場係員が利用者に手渡してアンケート用紙を配布。</p>
<p>(結果の概要)</p> <p>配布枚数100枚 回答枚数91枚</p> <p>①利用者年代 10代0件、20代3件、30代7件、40代14件、50代30件、60代19件、70代16件、80代3件、90代以上0件、無回答1件(複数回答有)</p> <p>②利用施設 公民館27件、図書館43件、消費生活センター0件、マイナンバーカードセンター5件、喫茶れすと4件、郵便局1件、ワークプラザ0件、その他19件、無回答1件(複数回答有)</p> <p>③利便性 満足48件、普通38件、不満3件、その他・無記入2件</p> <p>④係員の対応 満足48件、普通40件、不満0件、その他・無記入3件</p> <p>⑤駐車時間 30分未満17件、30分以上1時間未満42件、1時間以上2時間未満15件、2時間以上14件、無記入3件、その他0件</p> <p>⑥利用頻度 ほとんど毎日4件、週1回程度24件、週2~3回程度14件、月1~2回程度41件、初めて利用8件、その他0件</p> <p>⑦駐車場案内 分かりやすい41件、普通44件、分かりにくい5件、無記入1件</p> <p>③利便性、④係員の対応、⑦駐車場案内の結果から、利用者は概ね満足を得ていると評価する。令和2年度にアンケート項目の見直しを行い(①利用者年代の項目を追加。②利用施設をより細かく設定。⑤駐車時間の選択肢をより細かく設定)、利用状況をより把握しやすくなった。アンケートで寄せられた「エレベーター横の階段が汚れている」という声については、ビル管理者と協力し清掃を強化することで対応している。また、「駐車場係員と関わる事が無い」という声については、巡回の頻度・時間を多くする対応を予定している。</p>

4.施設所管課の評価

実地検査日: 令和5年6月28日

視点	評価項目	評価
協定書や管理基準等に基づく基本業務	適正に施設を維持管理できていたか	適
	適正に利用承認や事業実施できていたか	適
	災害時や事故発生時の危機管理対策を講じていたか	適
	適正に個人情報管理できていたか	適
	適正な労務管理のために就業規則や出勤簿の整備等していたか	適
	適正に経理事務や現金管理等は行われていたか	適
	その他関係法令や協定書等に基づく手続き等は適正に行われていたか	適
利用者サービスの向上	混雑時は出入口にて待機し、発券及び精算の補助等混雑緩和の対策を実施しているか(従前からの継続取組)	適
	満車による交通渋滞発生時には、待ち車両に対し『グリナード永山第一駐車場』へ振替駐車を行うとともに、料金や減免等をベルブ永山駐車場と同じ取扱いにしたか(従前からの継続取組)	適
	通常清掃では取り切れない場内の油分等の汚れについて、機材を用いた清掃を実施したか(清掃箇所及び方法は、場内の状態により毎年検討する)	適
	障がい者車両が入庫する際の専用駐車スペースへの誘導や、巡回・モニター監視により必要に応じて補助等の適切な対応を行ったか(従前からの継続取組)	適
市民協働の推進		
経費の削減や歳入増加	消耗品の調達にあたって、一括購入による購入費削減等を検討し、実施したか(従前からの継続取組)	良

評価の説明	個人情報や現金の管理については、従来通り決められたルールのもと適正に管理されている。満車の状況が発生した際にもグリナード永山第一駐車場への振替駐車を行うことで、交通渋滞の発生を緩和した。機材を用いた特別清掃に加えて、白線ライン塗装及び泡ヘッド目印紐交換を実施したことにより、安全性が向上した。消耗品の調達について、ロール紙の一括購入を行うことで、通常購入額より4千円削減することができたため「良」と評価する。
評価項目以外の改善取組	永山公民館及び永山図書館と連携しながら、駐車場内・エレベーターホール等の掲示物（新型コロナウイルス感染拡大防止のための利用上の注意等のお知らせ）についても、内容変更の度に貼替を実施。新型コロナウイルスの影響により臨時的な対応をとった際にも、ベルブ永山一体となり、速やかに正しい情報の発信に積極的に取り組んだ。
改善指摘事項	特になし

※評価項目は、毎年度、市と指定管理者と協議により作成している事業計画書等に基づき、設定しています。

※評価の種類： 良…業務水準を大きく上回った 適…概ね業務水準どおり遂行できた 要改善…改善指示事項がみられた

5.総括（評価の総括及び今後の課題や方向性について）

<p>令和4年度駐車場管理については多摩市営永山複合施設駐車場指定管理者の管理に関する年度協定書及び多摩市営永山複合施設駐車場指定管理者指定基準に基づき、令和4年度事業計画にある業務について適正に遂行されたものと評価する。</p> <p>指定管理者は、多摩ニュータウン内の商業施設に係る駐車場の管理運営も行っている。そのスケールメリットを生かし、満車時には近隣自社管理駐車場を案内するなど、駐車場の利用者が安心して利用できるよう管理運営を行っている。認証機や精算機のトラブル時にも、蓄積された知識やノウハウを生かし、迅速に対応した。特に夏季においては、安全確認のための定期巡回を強化し、車内に取り残される子どもがいないか等の事故防止に積極的に取り組んでいる。引き続き、さらなるサービスの向上を図り、利用者が安全に利用できるよう努めていただきたい。</p> <p>令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響も減少し、公民館等公共施設及び駐車場利用者が増加した。新規利用者に今後も継続して利用していただくため、場内美化に取り組みながら、アンケート等で伺える利用者の声を参考に改善を重ねていただきたい。また、教育部の移転以降、満車となる日が増えることも想定されるため、場内の確認及び出入口付近での入場待ちの車列の確認を行い、適宜、振替駐車の実施等、対応をお願いしたい。</p> <p>次年度を取組課題として、出入口付近の白線塗装や場内の白線ライン洗浄を検討している。駐車場の利用状況を見ながら実施をお願いしたい。また、今後は紙幣の変更に伴う部品交換等の発生が見込まれるので、動向について注視していただきたい。</p> <p>なお、築30年を迎える令和9.10年度には大規模改修工事を控えているため、駐車場の運用についても合わせて検討していきたい。</p>
--

施設名	指定管理者名	指定年月日	主な改善事項、新たな取り組み事項 【指定管理者の自己PR】 指定管理者として特に力を注いだ事業（セールスポイント）、新たな取り組みや改善点、運営上の特筆すべき事項等を記入	左欄の記載事項の実施による成果・効果 改善や新たな取り組みにより、事業運営にどのような成果や効果があったか、（まだ、成果が出ていない場合、今後どうなることを目指しているか）を記入	前年度の事業運営との比較 今後の事業運営における課題 改善や新たな取り組みより、事業運営がどう変化したと感じるか、また、現在、事業運営上、課題となっていること、また、解決方法があれば記入
多摩市立複合文化施設及び多摩中央公園内駐車場	パルテノン多摩共同事業体	令和3年12月14日	<p>①運営体制の変化</p> <p>令和元年度までの多摩市文化振興財団単独での運営から、多摩市文化振興財団と民間パートナー3社で構成する「パルテノン多摩共同事業体」による運営を開始している。パルテノン多摩は、令和3年度に大規模改修工事が完了し、再開館に向けた準備を進め令和4年3月27日にプレオープンを迎えた。令和4年度は4月から会議室・練習室等の諸室の貸出を開始し、7月1日にはリニューアルグランドオープンを迎え、大・小ホールを含む全諸室の貸館業務を開始した。パルテノン多摩がリニューアルオープンを迎え、貸館業務・文化事業の実施・施設の維持管理と言った多摩市文化振興財団及び民間パートナーのそれぞれの役割に応じた専門性を活かした施設運営に取り組んだ。その他、各構成団体が運営する近隣他館にパルテノン多摩のパンフレットを設置するなど、各社のネットワークを生かした取り組みも実施した。</p>	<p>①運営体制の変化</p> <p>新たに参画した民間パートナーのノウハウを活かし、貸館業務などサービス部門について、マルチペイメントの導入として、施設予約・チケット販売等においてクレジット決済、インターネット予約・決済、コンビニでのチケット引取り等のサービスを導入した。また、オンラインを活用した利用者登録サービスの導入を行うなど、財団だけでは導入できなかった新たなサービスの提供や顧客サービスの向上などを行った。（詳細は②参照）</p> <p>施設の維持管理について、改修工事後の施設運営の中で、施設の不具合や改修工事による初期不良が発生していないかなど、他館での経験や専門的な知識に基づく施設の維持管理を行い、市へ報告するなど対応を行った。</p>	<p>①運営体制の変化</p> <p>令和3年度に進めた再開館準備の中で、開館後の業務を想定し、各課の業務分担や業務内容についての調整を踏まえ、リニューアルオープンを迎え施設運営に取り組んだ。しかし、本格的に施設運営が始まると、当初想定していなかった業務や、担当する課が明確に判断することが難しい業務が生じた。そのため、各課が協力し合い、スムーズに業務が遂行される。</p> <p>広報業務について、令和4年度はリニューアルグランドオープンにあたって、事業広報に特化していたが、令和5年度以降の通常運営年における広報の在り方等、整理しきれていない部分が多いことが課題である。そのため、どの課が主導するか、広報の内容、情報発信するツール、情報発信の時期など広報業務に関する状況整理を行い、全体的な計画を策定していく。計画の策定にあたって、関係課が集まるチームを組成し、全体の計画から内容等を協議し、取り組んでいく。</p>

施設名	指定管理者名	指定年月日	主な改善事項、新たな取り組み事項 【指定管理者の自己PR】 指定管理者として特に力を注いだ事業（セールスポイント）、新たな取り組みや改善点、運営上の特筆すべき事項等を記入	左欄の記載事項の実施による成果・効果 改善や新たな取り組みにより、事業運営にどのような成果や効果があったか、（まだ、成果が出ていない場合、今後どうなることを目指しているか）を記入	前年度の事業運営との比較 今後の事業運営における課題 改善や新たな取り組みより、事業運営がどう変化したと感じるか、また、現在、事業運営上、課題となっていること、また、解決方法があれば記入
多摩市立複合文化施設及び多摩中央公園内駐車場	パルテノン多摩共同事業体	令和3年12月14日	<p>②利用者利便性の向上</p> <p>遠方等複数回の来場が困難な方や、新たな利用者に向けた利便性向上の取り組みとして、利用者登録の手続きや利用者からの相談会をオンライン上で対応できるようにした。</p> <p>また、請求書や許可書などの書類送付をメールでの対応も可能とするなど、利用者のニーズに合わせた各種手続きが行えるように改善した。このような取り組みをホームページで周知し、電話やメールでの問い合わせ対応の際にはオンライン上で利用者登録が出来る旨の案内を行った。なお、構成企業である民間パートナーの他館の運営実績をもとにサービスを開始することが出来た。</p> <p>また、幅広い市民にご利用いただくことを目的に、以下ユニバーサルサービスを拡充した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合案内に耳マークを設置、そのほか、音声認識アプリ導入、筆談ボード、コミュニケーション支援ボードを導入し、耳の不自由な方に対応可能な総合案内に変化 ・総合案内に設置しているタブレットに外国語翻訳機能を搭載、老眼鏡の設置 ・パルテノン多摩ホームページにアクセシビリティ対応 ユニバーサルデザイン情報を掲載 	<p>②利用者利便性の向上</p> <p>令和4年度の利用者登録件数1,110件のうち、市内登録者603件、市外登録者507件となり、市内利用者のみならず、多くの市外利用者にも登録してもらうことができた。これは利用者登録をオンライン上で対応できるようにするなど、利用の手続きの利便性を高めたことがこのような結果につながったと考えられる。利用者アンケートでは、「オンライン利用登録やウェブ決済、メールでの問い合わせなどデジタル化されとても便利だった」と言ったお声をいただいた。</p> <p>また、体の不自由な方が来館された際の利用者登録・問い合わせなどの対応については、ユニバーサルサービスを拡充したことにより、施設のスタッフが臨機応変に対応することができた。利用者からは「色々なサービスがあっていいですね。便利です」というようなお声をいただいている。</p>	<p>②利用者利便性の向上</p> <p>指定管理者として利便性向上のための取り組みは行ったが、令和4年度は利用者アンケートのサンプル数が少なかったため、今後は具体的な利用者ニーズを十分に把握していくことが課題である。そのため、アンケート強化月間を設定する。強化月間中は協力依頼など積極的に声掛けをし、回答者へのプレゼントと言った付加価値を提供し、アンケートの手法を工夫することで回答件数を増やす。回答内容から利用者ニーズの洗い出しを行い、更なる利便性向上の取り組みを実施していく。</p>

施設名	指定管理者名	指定年月日	主な改善事項、新たな取り組み事項 【指定管理者の自己PR】 指定管理者として特に力を注いだ事業（セールスポイント）、新たな取り組みや改善点、運営上の特筆すべき事項等を記入	左欄の記載事項の実施による成果・効果 改善や新たな取り組みにより、事業運営にどのような成果や効果があったか、（まだ、成果が出ていない場合、今後どうなることを目指しているか）を記入	前年度の事業運営との比較 今後の事業運営における課題 改善や新たな取り組みより、事業運営がどう変化したと感じるか、また、現在、事業運営上、課題となっていること、また、解決方法があれば記入
多摩市立複合文化施設及び多摩中央公園内駐車場	パートナー多摩共同事業体	令和3年12月14日	<p>③貸館利用促進の取り組み</p> <p>令和4年度は4月から会議室・練習室等の諸室の貸出を開始し、7月1日にはリニューアルグランドオープンを迎え、大・小ホールを含む全諸室の貸館業務を開始した。開始にあたり、まずは主な収入源となる大・小ホールの貸館利用促進を中心に実施した。そのほか、新たな諸室のPRを兼ねた貸館利用促進策を展開した。</p> <p>具体的な貸館利用促進策は、大・小ホールを中心としたプロモーター向けの内覧会を実施し、構成企業である民間パートナーが管理運営している他館の運営実績のノウハウを活かし、プロモーター向けの施設パンフレットを作成するなど工夫をし、説明・対応など行った。新たに設けられた3諸室（クリエイティブラボ・クラフトラボ・キッチンラボ）やオープンスタジオについては、貸館利用申し込みにつながるようにモニター利用制度による周知を行った。</p> <p>また、多摩商工会議所の会報誌に利用誘致のバナー広告を出稿するなど、これまで行っていなかった方法を取り入れながら、貸館利用促進を図った。</p>	<p>③貸館利用促進の取り組み</p> <p>令和4年度の貸館利用者については248,252人であった。プロモーター向けの内覧会を実施することで10社の来館があり、そこから令和5年度・令和6年度で合わせて25件の利用予約につなげることが出来た。また、3諸室のモニター利用については、46団体がモニター利用制度を活用し、そこから37団体の利用者登録及び31件の貸館利用申し込みにつながった。なお、オープンスタジオのモニター利用についても、5団体（社員総会、多摩産商品展示会など）の貸館利用申し込みにつながった。</p> <p>大小ホールの過去利用者へのDM及び電話での営業活動後、21件中、3件団体の利用申し込みにつながった。</p>	<p>③貸館利用促進の取り組み</p> <p>令和4年度の貸館収入は92,281,250円であった。一方、令和5年度の貸館収入目標は135,000,000円としている。令和4年度の実績を鑑みると目標到達が現状では厳しく、貸館収入の増収が課題である。そのために、利用率の低い平日の大・小ホールの利用増加を目的とした、プロモーター向け営業（DM、内覧会の開催）を実施していく。令和4年度はモニター利用制度の実施により、新たに設けられた3諸室やオープンスタジオについては、貸館利用申し込みにつながったものの、全体として比較的稼働率が低い状況が続いていることから、過去の利用者に対してDM案内を実施していく。</p> <p>また、休館前に利用していたが、リニューアルオープン後に未だ利用していない団体が約2,100団体あるため、利用登録件数を更に増やしていくことが課題である。そのため、まずは未登録の過去利用者に対して、利用したことがある貸出諸室の空き情報や施設情報、施設、利便性向上や大規模改修工事でリニューアルしたポイントなどの情報をDMにて発送することなどに取り組んでいく。</p>

施設名	指定管理者名	指定年月日	主な改善事項、新たな取り組み事項 【指定管理者の自己PR】 指定管理者として特に力を注いだ事業（セールスポイント）、新たな取り組みや改善点、運営上の特筆すべき事項等を記入	左欄の記載事項の実施による成果・効果 改善や新たな取り組みにより、事業運営にどのような成果や効果があったか、（まだ、成果が出ていない場合、今後どうなることを目指しているか）を記入	前年度の事業運営との比較 今後の事業運営における課題 改善や新たな取り組みより、事業運営がどう変化したと感じるか、また、現在、事業運営上、課題となっていること、また、解決方法があれば記入
多摩市立複合文化施設及び多摩中央公園内駐車場	パルテノン多摩共同事業体	令和3年12月14日	<p>＜新たな取組みまたは、特色ある取組み等＞</p> <p>④リニューアルオープン記念事業の実施 令和4年7月1日から3日までの公演をリニューアルオープン企画「柿落とし」と銘打ち、クラシック音楽演奏会、朗読劇、伝統芸能公演など幅広いジャンルの公演を開催した。</p> <p>柿落とし公演以降、令和5年2月までの期間を「リニューアルオープン企画」として、多彩な公演を企画制作・主催した。</p> <p>また、プレオープン後、主催公演の情報等を盛り込んだ「パルテノン多摩 NEWS」を数回発行し、多摩市全戸と多摩センター周辺地域へポスティングを行った。また、「リニューアルオープン企画のご案内」として、各公演情報の特設サイトや WEB ニュースへ掲載や、SNS を活用することにより、情報が広く行き渡るように取り組んだ。</p> <p>⑤ミュージアムにおける「市民学芸員」との協働 リニューアルしたミュージアムにおいて、市民が主体的に活動し、地域資源を繋げていく「地域まるごと博物館」構想を実現させるため、令和3年度から育成している「市民学芸員」について、第2期である令和4年度についても、公募により選定した2期生への養成講座を令和4年11月から令和5年2月にかけて計6回実施した。</p>	<p>＜新たな取組みまたは、特色ある取組み等＞</p> <p>④リニューアルオープン記念公演の実施 柿落とし公演においては、リニューアルオープンを祝う華やかな祝賀的な内容と、市民を含む多くの方々に喜んでいただける公演を目指した。そこでオーケストラ、伝統芸能、朗読劇、ファミリーコンサートなど様々なジャンルの公演を実施し、3日間の柿落としと銘打った公演では延べ2,855人の来場者があった。</p> <p>主催公演の利用者向けに実施した事業アンケートでは、回答者の内95%が「大変満足」「満足」と感じ、リニューアルしたパルテノン多摩の印象が「よかった」以上の方が87%と好評を得ており、満足度の高い公演を実施することができたと捉えている。</p> <p>⑤ミュージアムにおける市民学芸員との協働 令和4年度に実施した養成講座を経て、新たに14名の市民学芸員が増え、計33名となった。</p> <p>令和4年度に実施した、「街角アート鑑賞ツアー」や「めかいづくりワークショップ」「キミのかいたイラストがトレカになるかも？多摩発見トレーディングカード・TAMA プレカ」などの企画は、市民学芸員の提案から実現につながったものである。</p> <p>また、市民学芸員による展示として、パルテノン多摩4階の回廊展示や、丸善多摩センター店で連携展示を行うなど、ミュージアム事業の多方面にて活動を行った。</p>	<p>＜新たな取組みまたは、特色ある取組み等＞</p> <p>④リニューアルオープン記念公演の実施 主催公演で来館された多くの鑑賞者は、アンケートの結果の通り一定の評価を得ているが、公演ごとに見れば、集客に苦戦した公演もあった。</p> <p>パルテノン多摩という施設及びそこで行われている公演について多くの人に知ってもらい、来館・鑑賞していただくための広報・宣伝活動が課題である。</p> <p>事業アンケートの結果をより深く分析して、公演鑑賞者の来館のきっかけを探り、情報が届いていない層についてのアプローチを検討するほか、来館のきっかけとしての回答が多かった有効な手法については引き続き継続していくことで、リピーターを増やしつつ、まだ来館していない層を取り込んでいく。</p> <p>⑤ミュージアムにおける市民学芸員との協働 次年度以降も引き続き市民学芸員養成講座を実施していく予定であり、新たな市民学芸員を採用することで適正な人員の配置を行っていく。また、市民学芸員となった人々がミュージアムを中心とした活動に、モチベーションを維持し、主体性をもって、より活発に活動してもらえる仕掛けや工夫が必要となるため、育成だけではなく、活動発表の場などを確保することが課題である。</p>

施設名	指定管理者名	指定年月日	主な改善事項、新たな取り組み事項 【指定管理者の自己PR】 指定管理者として特に力を注いだ事業（セールスポイント）、新たな取り組みや改善点、運営上の特筆すべき事項等を記入	左欄の記載事項の実施による成果・効果 改善や新たな取り組みにより、事業運営にどのような成果や効果があったか、（まだ、成果が出ていない場合、今後どうなることを目指しているか）を記入	前年度の事業運営との比較 今後の事業運営における課題 改善や新たな取り組みより、事業運営がどう変化したと感じるか、また、現在、事業運営上、課題となっていること、また、解決方法があれば記入
多摩市立複合文化施設及び多摩中央公園内駐車場	パルテノン多摩共同事業体	令和3年12月14日	<p>⑥近隣公共施設等との連携</p> <p>多摩中央公園・多摩センター連携協議会に副館長が委員として参画し、情報共有や連携などを行っている。</p> <p>そのほか、施設内のテナントとして4階で活動している子どもひろば OLIVE との連携事業として、きらきらひろばで実施した自動演奏楽器による「オルゴールと手回しオルガンミニコンサート」を令和4年10月、11月に実施した。</p> <p>多摩センター地区連絡協議会との連携では、5月に行われた「多摩センター子どもまつり」や、10月に行われた「ハロウィン in 多摩センター」では、パルテノン多摩の敷地内（大階段前）にストリートピアノを設置し、子どもたちが自由に弾けるように協力を行った。また、センターランドツリーの点灯式に当たっては、従来はパルテノン大通りの十字路で行っていたが、今年度初めての試みとして、パルテノン多摩大階段を客席として大階段前にステージを組み、点灯式及びイルミネーションショーを実施した。</p>	<p>⑥近隣公共施設等との連携</p> <p>多摩中央公園・多摩センター連携協議会との連携においては、多摩中央公園等でのイベント時における備品の貸出や設備の貸し出しなど、可能な範囲で協力を実施した。</p> <p>4階こどもひろば OLIVE との連携事業として、きらきらひろばで実施した自動演奏楽器「オルゴールと手回しオルガンミニコンサート」では、2公演実施し、合計127人の方々が参加した。特に子どもには実際にオルゴールを手で回し、美しい曲を奏でる体験もできる内容とした。また、令和5年2月には主催事業「PocoPoco Festa 2023」を開催し、同様に手回しオルゴールの実演等を実施し512人が参加している。</p> <p>そのほか、多摩センター地区連絡協議会と連携したストリートピアノでは多くのお子さんに弾いてもらうことができた。また、クリスマスイルミネーションの点灯式では、多くの方にご覧いただくことができ、パルテノンの大通り十字路とパルテノン多摩との回遊が生まれるきっかけとなった。</p>	<p>市民学芸員の定例会議の中で、様々な意見・意向を捉えながら、それらの実現への道筋を立てていくことも課題であるため、具体的なアドバイスをしながら活動に取り組んでいく。</p> <p>⑥近隣公共施設等との連携</p> <p>多摩中央公園・多摩センター連携協議会との連携については、今年度については備品の貸出等にとどまったが、今後、イベント時などは積極的に連携していくことが求められる。よって、協議会の中で積極的に情報交換を行い、相互協力できる提案を行っていく。</p> <p>また、多摩センター地区連絡協議会でのイベントにあたっては、パルテノン多摩で実施する事業とパルテノン多摩大通りのイベント内容が相互に影響することがあったが、事前情報の確認が十分にできていなかったこともあり、連携の効果を発揮できなかったことが部分もある。そのため、今後のイベントの実施に際しては事前調整・協議の機会やその在り方を確認し、相互にいい形で連携していく必要があり、そのことについて、多摩センター地区連絡協議会に投げかけを行っていくことが課題である。</p> <p>そのほか、令和5年度には多摩市立中央図書館が開館することから、事業面や施設運営面で図書館との連携を実施していく事も求められる。テーマに沿った事業連携や図書館のオープンに際してのPRをパルテノン多摩で行うなど様々な面での連携を行っていく。</p>

施設名	指定管理者名	指定年月日	主な改善事項、新たな取り組み事項 【指定管理者の自己PR】 指定管理者として特に力を注いだ事業（セールスポイント）、新たな取り組みや改善点、運営上の特筆すべき事項等を記入	左欄の記載事項の実施による成果・効果 改善や新たな取り組みにより、事業運営にどのような成果や効果があったか、（まだ、成果が出ていない場合、今後どうなることを目指しているか）を記入	前年度の事業運営との比較 今後の事業運営における課題 改善や新たな取り組みより、事業運営がどう変化したと感じるか、また、現在、事業運営上、課題となっていること、また、解決方法があれば記入
多摩市立複合文化施設及び多摩中央公園内駐車場	パルテノン多摩共同事業体	令和3年12月14日	<p>⑦クラウドファンディングによる航空斜め写真業務の資金確保と博物館事業への理解促進</p> <p>開館25周年記念事業として実施した「航空斜め写真」の撮影を、約10年ぶりに実施するため、文化庁「博物館機能強化推進事業」の協力館としてクラウドファンディングを活用し、「航空斜め写真を撮影して街の姿を未来に残そう！」と銘打ち初挑戦し支援を募った。</p> <p>支援の募集期間は令和4年12月20日～令和5年1月31日の1カ月半。当初目標額を250万円とした。クラウドファンディングの支援者へのリターンとして、航空斜め写真絵はがきやフォトブック、航空斜め写真を読み解く講座への招待などを用意した。</p>	<p>⑦クラウドファンディングによる航空斜め写真業務の資金確保と博物館事業への理解促進</p> <p>目標額達成のため、支援の募集期間中には、当館所蔵の過去の航空斜め写真を、新着情報やSNSにより紹介し、未来に現在の多摩の姿を残すことの重要性も訴えることが出来た。また、市長をはじめとする多くの関係者から応援メッセージをいただきながらPR活動を展開し、多摩ニュータウンに住まわれる方や故郷とされる方々を中心にした支援の輪が広がっていった。</p> <p>協賛の声や事業への支援も順調に進み、予想を超えるスピードで目標額の250万円に到達した。ファーストゴール達成後も、セカンドゴール、サードゴールを設け、最終的に256人の支援者によって支援総額は、当初目標を大きく超える385万8千円とすることができた。</p> <p>さらに期間中はツイッターのフォロワー数も急増し、当館の活動を多くの方々に知っていただく良い機会につながられた。</p>	<p>⑦クラウドファンディングによる航空斜め写真業務の資金確保と博物館事業への理解促進</p> <p>クラウドファンディングはメッセージの伝え方に留意すれば、博物館の資料や活動に触れ、博物館を理解する格好の機会にすることができた。結果として、地域のみならず共有財産を守る「資料保全」にもつながるものと考えられる。</p> <p>令和5年度は実際に航空機等による撮影を実施し、支援された方々へのリターンも含めた対応を丁寧に行い、発送完了予定月である令和5年11月までに完了できるように作業を進める。</p> <p>なお、撮影された航空斜め写真を活用することで、学校による地域史の調査や、多摩ニュータウン開発の変化の調査研究が可能となる。支援者へのリターンだけではなく、子どもたちの学習のほか、地域などでもさまざまな形で活用されるように働きかけを行うことにより、街の姿を再発見できる機会につながっていく。</p>
市民活動・交流センター及び多摩ふるさと資料館	多摩コミュニティパートナーズ	令和3年7月1日	<p>開館したばかりの施設のため、まずは多くの方に施設のことを知っていただくことに注力しました。イベントの開催により施設に足を運んでいただくきっかけをつくるとともに、団体利用者だけでなく、カフェや自主事業において個人でも利用できる事業を展開しました。</p>	<p>利用者団体登録数は目標の200団体を大幅に上回る325団体となりました。さらにイベントの開催では幼稚園や学校にチラシの配布のご協力いただき、目標を大幅に上回る方々に来場いただくことができました。</p>	<p>前年度利用がない中で懸念されていた隙間の空き時間と夜間の利用については、現在も課題となっております。体育館やレッスン室、音楽活動室は、団体へのアプローチや自主事業個人開放利用により夜間利用が増加しております。今後、創作活動室やレクルー</p>

施設名	指定管理者名	指定年月日	主な改善事項、新たな取り組み事項 【指定管理者の自己PR】 指定管理者として特に力を注いだ事業（セールスポイント）、新たな取り組みや改善点、運営上の特筆すべき事項等を記入	左欄の記載事項の実施による成果・効果 改善や新たな取り組みにより、事業運営にどのような成果や効果があったか、（まだ、成果が出ていない場合、今後どうなることを目指しているか）を記入	前年度の事業運営との比較 今後の事業運営における課題 改善や新たな取り組みより、事業運営がどう変化したと感じるか、また、現在、事業運営上、課題となっていること、また、解決方法があれば記入
市民活動・交流センター及び多摩ふるさと資料館	多摩コミュニティパートナーズ	令和3年7月1日	また、利用者懇談会や利用者アンケート、ご意見BOXの設置等、利用者の意見や要望に傾聴し、試行錯誤しながら、より快適に利用できる環境を整備しました。	当施設は利用者の利便性を考慮し、1時間単位での利用であることから、空き枠が増えてしまう状況となっており、利用者数は目標 121,000 名に対して 118,864 名、利用率は目標 54% に対して 47.2% と達成することはできませんでしたが、その中でも自主事業での個人利用推進に力を入れ、自主事業の参加者数は 4,692 名、利用枠数は 1,067 枠と大きく貢献しました。 また利用者からの意見に対してひとつひとつ真摯に向き合い対応した結果、利用者アンケートでは「満足」「やや満足」と回答された方が全体の 95% と大変高い満足度を得られました。	ム、会議室の利用を促進できるよう、検討してまいります。 また利用者数及び利用率の目標を達成できるよう、施策を講じます。
関戸・一ノ宮コミュニティセンター	関戸・一ノ宮コミュニティセンター運営協議会	令和2年4月1日	感染防止に留意しつつ事業を再開 ・こどもまつり ・秋の文化祭 ほか	・「こどもまつり」を3年ぶりに開催、一ノ宮児童館との共催、来場 357 名で好評を得た。 ・つむぎ館まつりに代わり、「秋の文化祭」として展示と芸能発表会を実施 来場 259 名 当館利用者、サークル活動の発表の場として大いに賑わった。	・前年と比較してより多くの事業を再開できた。 児童館、包括支援センター、公民館、他館等との連携による事業が開催できた。 ・運営委員の高齢化、なり手不足が継続課題。より広範囲の外部連携および人材発掘に努める。

施設名	指定管理者名	指定年月日	主な改善事項、新たな取り組み事項 【指定管理者の自己PR】 指定管理者として特に力を注いだ事業（セールスポイント）、新たな取り組みや改善点、運営上の特筆すべき事項等を記入	左欄の記載事項の実施による成果・効果 改善や新たな取り組みにより、事業運営にどのような成果や効果があったか、（まだ、成果が出ていない場合、今後どうなることを目指しているか）を記入	前年度の事業運営との比較 今後の事業運営における課題 改善や新たな取り組みより、事業運営がどう変化したと感じるか、また、現在、事業運営上、課題となっていること、また、解決方法があれば記入
コミュニティセンター 桜ヶ丘	コミュニティセンター 桜ヶ丘 運営協議会	令和2年4月1日	<p>○数年間開催できなかった事業の再開を最優先とし、段階的な行動規制緩和に合わせて新しい形での円滑な事業再開を目指した。</p> <p>○室内活動を自粛せざるをえない中で、屋外での事業を活発に行ない、参加の場を提供することで利用者をコミュニティセンターにつなぎとめる努力をした。</p> <p>○今後も感染状況によっては集会が不可能になることを考え、遠隔での催し物の開催を可能にできる環境の整備として ZOOM やモバイル Wi-fi の利用の検討を行った。</p> <p>○利用者懇談会の開催</p> <p>○恵泉女学園大学との協同による平和展の開催</p>	<p>○今年開催できた大きな事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大使を招いての国際交流アイランド DAY ・ファミリークリスマス ・新年会 <p>いずれの場合も、コロナの感染防止を考え、これまで夜の開催だったものを昼間の開催に変更したり、アルコール制限や食事を個別提供にするなどの工夫により新しい形での開催となった。</p> <p>○「歩こう会」、「自然の会」による屋外活動の見学会や観察会はおおむね好評で参加者も多く、実施が減っていた屋内事業を十分補うことができた。</p> <p>○大規模改修に対するアンケートからはくみ取れなかった意見や熱意が伝わり、利用者の要望を聞く機会として利用者懇談会を活かすことができたと感じている</p>	<p>○令和3年度に比べ、コロナの感染対策を踏まえた形で事業がスムーズに開催できるようになった。</p> <p>○今後の課題 協議会主催による事業の充実に続き、今後は施設利用者の増加を促進するような方策を考えていきたい（施設の整備や提供資料の充実など）。</p> <p>特に若い層の施設利用、事業への参加が少ないことから、児童館とも協力して若者の需要に合わせた企画や施設の充実に図りたい。（勉強スペースの充実など）</p> <p>○改修に関する住民説明会などを通じ、今後も利用者の意見や要望を取り入れて改修に臨みたい。</p>
コミュニティセンター 乞田・貝取	コミュニティセンター 乞田・貝取 運営協議会	令和2年4月1日	<p>○コロナ感染の下火に伴い事業の再開を目指し、従来の事業規模にとらわれることなく実現可能な方法と内容での実施に努めた。</p> <p>○コロナ禍による3年間の事業休止の状態からの再始動に向けて、運営委員間の一層のコミュニケーション強化を目的とした活動を事業の一環として実施に努めた。（委員研修、そば作りレシピに基づいた共同作業、防災訓練を通じた地域課題の意見交換の場の設定等）</p>	<p>○コロナ禍前までの事業に加えて、世代を超えて楽しめる「演奏構成を工夫したコンサート」や、新企画事業の「ものづくり体験教室」、気軽な来館を促す「読んで楽しい写真展」など新規事業にも意欲的に臨むことができた。</p> <p>○コロナ禍前までの事業と新事業等を通して、館の利用者数は昨年度の1万人余りから、1万3千人と増加。また、主催行事への参加者数も延べ400人から2,000人を超えるほどとなった。</p>	<p>○事業の実施回数は昨年度の7事業から20事業へ増加。一方で、運営委員の高齢化による事業への参加者数が限定的となる傾向が見られ、新たな枠組みでの取り組みの必要性を感じている。</p> <p>○最大の懸念事項は運営委員の高齢化による事業推進者数の減少に伴う事業縮小と委員の成り手不足が挙げられる。対策の一つとして、限られたマンパワーでも事業推進ができる体制と委員全員が一層楽しめる行事運営を目指す。</p>

施設名	指定管理者名	指定年月日	主な改善事項、新たな取り組み事項 【指定管理者の自己PR】 指定管理者として特に力を注いだ事業（セールスポイント）、新たな取り組みや改善点、運営上の特筆すべき事項等を記入	左欄の記載事項の実施による成果・効果 改善や新たな取り組みにより、事業運営にどのような成果や効果があったか、（まだ、成果が出ていない場合、今後どうなることを目指しているか）を記入	前年度の事業運営との比較 今後の事業運営における課題 改善や新たな取り組みより、事業運営がどう変化したと感じるか、また、現在、事業運営上、課題となっていること、また、解決方法があれば記入
コミュニティセンター 鶴牧・落合・南野	コミュニティセンター 鶴牧・落合・南野 運営協議会	令和2年4月1日	<ol style="list-style-type: none"> ① この年度前半は大規模改修工事の終了を迎えるため多くの作業、運用ルールの整備等検討事項に集中的に取り組みました。 ② 9月3日「開館30周年記念・リニューアルオープンデー」の開催の計画を進めました。 ③ 改修工事、コロナ禍により中断していた事業を ④ 再開するにあたり内容の見直しや前向きな変更を検討しました。 ⑤ 改修完了後開催の「利用者懇談会」（3月12日）の参加者はおよそ60名でした。 	<ol style="list-style-type: none"> ① 改修計画では、新設置のコミュニティルーム「会議室2」、フリースペース「この場ルーム」、展示ホールの2ウェイ運用、カラオケ機器のレンタル運用そして駐車場の一般利用と、検討事項は適切な構築を図ることができました。 ② 記念式典はコロナ禍の中ということもありシンプルな内容とし、その後の内覧会で地域の皆さんにゆっくりご覧いただくことができました。 ③ 開館に向けて、再開した事業、新スペースは利用を含めた案内などを広報紙で発信しました。事務局内でも打ち合わせを重ね混乱が生じることなく運営できました。 「利用者懇談会」では初めてトムハウスを利用するという方々が多くみられ、リニューアルの影響を実感しました。しかし、中にはどのような運営になっているのか、「運営協議会とは」などご存知ないことが表面化しました。30年の区切りでもあり、これからは積極的にお知らせすることも必要と、一つには広報紙表面に「運営協議会は多摩市指定管理者制度のもと地域住民で構成されたボランティア団体です」と記すことにしました。 	<p>リニューアルオープン後9ヶ月が経過しました。利用状況は微増ですが、やはりコロナ禍の影響が大きいと考えられます。</p> <p>3年間中止が続いた「高齢者食事懇談会」を例に挙げますと、参加者は半減しています。今後1年の利用状況、事業参加状況のデータを検証する必要があります。</p> <p>運営協議会も高齢化しています。会の継続、存続に不安を抱えています。</p> <p>施設管理を行いながら行政とも相談をして、よい方向性を見出すことが最大の課題です。</p>

施設名	指定管理者名	指定年月日	主な改善事項、新たな取り組み事項 【指定管理者の自己PR】 指定管理者として特に力を注いだ事業（セールスポイント）、新たな取り組みや改善点、運営上の特筆すべき事項等を記入	左欄の記載事項の実施による成果・効果 改善や新たな取り組みにより、事業運営にどのような成果や効果があったか、（まだ、成果が出ていない場合、今後どうなることを目指しているか）を記入	前年度の事業運営との比較 今後の事業運営における課題 改善や新たな取り組みより、事業運営がどう変化したと感じるか、また、現在、事業運営上、課題となっていること、また、解決方法があれば記入
コミュニティセンター 貝取	コミュニティセンター 運営協議会 貝取	令和2年4月1日	○今期は感染対策をしながらのイベント開催にも慣れ、企画したほとんどの事業を開催した。（春のロビーコンサートは企画段階で提供先が決まらず中止） 1. 文化祭はコロナ前に比べれば出展者は少なかったものの、4団体8個人の作品展、ロビーでの人形劇や演奏、ピロティ販売などで多くの方が来館。3年ぶり開催のこぶし館まつりは館内、広場と人であふれ、大賑わいの1日となった。 2. ロビーにおけるコンサートもミニロビー、冬のロビーコンサートなど多くの方が来館した。 3. 自主財源確保として企画しているピロティでのパン販売、館内でお菓子販売、喫茶コーナーのドリップコーヒーも来館者に喜ばれている。	○長く続いている「人と人との接触を避ける」運営から、少しずつコミュニケーションの場を取り戻すいろいろな企画の提供で、来館者も増え、利用者アンケートでは「近くで楽しめる企画」と好評を得る。地域の施設や活動団体などとも接触を取り（とよよん、青少協、若者会議、八角堂など）人の集まる場所として居心地の良い空間を作っていきたい。	○運営委員の数については、依然として高齢化による減少はなかなか改善しないが、イベント協力員の数は少しずつ増えている。イベントに参加することからこぶし館の事業に興味を持ってもらい、運営委員の加入に繋がっていければと思う。 ○運営側も企画を楽しみながら、運協、事務局一体となって館運営に取り組みたい。
コミュニティセンター 聖ヶ丘	コミュニティセンター 運営協議会 聖ヶ丘	令和2年4月1日	○施設の開館期間や貸室の人数制限、マスク着用や利用する際の消毒などの運用について、ポスター・看板等による周知のほか、ひじり館の広報紙やホームページなどで丁寧な周知を行った。 ○入館時のマスク着用、手指消毒、アクリル板を設置している所で黙食での飲食する事を徹底した。 ○利用者が備品類の消毒を行えるよう、引き続き消毒液、キッチンペーパー、ビニール手袋の消毒セットと、ゴミを持ち帰るためのビニール袋を用意した。	新型コロナウイルス感染対策により、貸室の定員制限を行ったが、利用者からは、貸室の使い勝手についての苦情も特になく、感染の現状を受け止めてくれた。 運協役員を筆頭に利用者、スタッフが一緒に、新型コロナ感染対策を緩みなく継続したことにより、新規感染の発生を予防できた。	昨年度に引き続き、総会は書面議決で行うことになったが、計画した一部の事業を除き、計画した事業を実施することになった。 今年度は、新型コロナ感染対策への実績と経験を重ねたことにより、計画している事業の中で、感染対策に十分気を付けながら実施方法を工夫して、出来るものは進めた。 今後も引き続き、公共施設として安全安心を第一義的に考え、現在取っている新型コロナ感染症対策は継続していく必要があると考える。 利用者が気持ちよく使ってもらうためには、ある一定のルールを守ってもらう事と、これからも、世界的に想定し得ない自然界の

施設名	指定管理者名	指定年月日	主な改善事項、新たな取り組み事項 【指定管理者の自己PR】 指定管理者として特に力を注いだ事業（セールスポイント）、新たな取り組みや改善点、運営上の特筆すべき事項等を記入	左欄の記載事項の実施による成果・効果 改善や新たな取り組みにより、事業運営にどのような成果や効果があったか、（まだ、成果が出ていない場合、今後どうなることを目指しているか）を記入	前年度の事業運営との比較 今後の事業運営における課題 改善や新たな取り組みより、事業運営がどう変化したと感じるか、また、現在、事業運営上、課題となっていること、また、解決方法があれば記入
コミュニティーセンター 聖ヶ丘	コミュニティーセンター 運営協議会 聖ヶ丘	令和2年4月1日	○共用部の椅子・テーブル等についても、スタッフが1日に数回、引き続き消毒を実施した。 ○貸室を利用する際には、事前に窓・ドアを開けておき、利用中にも換気に努めるよう、引き続き、利用者をお願いした。 ○昨年度に引き続き、テーブルあたりの脚数削減、対面テーブルにアクリル板を設置、全貸室にサーキュレーター設置、二酸化炭素濃度測定器をB2ホール・和室・会議室2・3に設置。		事象や社会情勢の変動及び想定外のシステム障害等が起こり得ることを踏まえ、臨機応変に対応して事業を継続できるよう、運用ルールを備えて置く必要があると考える。
コミュニティーセンター 愛宕	コミュニティーセンター 運営協議会 愛宕	令和2年4月1日	○令和4年度は新型コロナの影響を受けつつも、徐々に新型コロナ以前の状態に戻すことを模索した。 ○運営委員の高齢化に対応するために近隣の大学生の力を借りようと考え、中央大学を訪問。中央大学ボランティアセンターと協議を重ね、「中大生と遊ぼう！謎解きラリーin かえで館」を実施。かえで館を舞台に、たくさんの子供たちが親子で謎解きに挑戦した。 ○「かえで館まつり」では、2年ぶりに中庭への出店を再開。ホールでの演技や演奏、会議室での作品展示と共に多くの来館者で賑わった。中大生も加わり、新しい運営の形が出来始めた。 ○高齢者のコミュニケーション向上のため、「スマホ連続講座」に加えて今年度か	○「中大生と遊ぼう！謎解きラリーin かえで館」では、親子連れなど延べ106人が参加。子供をターゲットにした新しい企画で心配したが、結果は大成功だった。 ○「かえで館まつり」では、中庭の出店で飲食を解禁したが、驚くほど多くの来館者が楽しそうに談笑していた。長く続く引き籠もりの解消にも役立ったと感じる。また、中大生による出演団体や来館者へのインタビューもあり、「かえで館まつり」の新しい形が出来つつある。ホールでの演技・演奏は14団体、会議室での作品展示には8団体、中庭への出店は4団体が参加。 ○「スマホ・パソコン何でも相談」を6月から開始したが、毎回続けて相談に訪れる方も多く、改めてスマホやパソコンの操作に困っている高齢者が多いことを認識した。	○かえで館では、これまで大人（高齢者）向けの行事を中心に据えてきたが、中大生のアイデアによる「中大生と遊ぼう！謎解きラリーin かえで館」の成功により、今後の行事のターゲットとして子供（親子連れ）も意識するようになった。中大とのコラボは継続予定。 ○運協委員の高齢化が進んでおり、「かえで館まつり」の舞台の設営、運営の両面で支障が出ている。中大生は頼りになるが、やはり若い運営委員の加入が必要。まずは運営委員の活動を知ってもらうため、広報紙「かえでニュース」で各部会の活動紹介の連載を始めた。（令和5年4月号から連載開始） ○「スマホ連続講座」、「スマホ・パソコン何でも相談」を継続し、高齢者のニーズに

施設名	指定管理者名	指定年月日	主な改善事項、新たな取り組み事項 【指定管理者の自己PR】 指定管理者として特に力を注いだ事業（セールスポイント）、新たな取り組みや改善点、運営上の特筆すべき事項等を記入	左欄の記載事項の実施による成果・効果 改善や新たな取り組みにより、事業運営にどのような成果や効果があったか、（まだ、成果が出ていない場合、今後どうなることを目指しているか）を記入	前年度の事業運営との比較 今後の事業運営における課題 改善や新たな取り組みより、事業運営がどう変化したと感じるか、また、現在、事業運営上、課題となっていること、また、解決方法があれば記入
			ら「スマホ・パソコン何でも相談」を毎月1回開催。延べ80人が相談に訪れ大好評だった。		応える。
コミュニティセンター 唐木田	コミュニティセンター 唐木田 運営協議会	令和2年4月1日	<ul style="list-style-type: none"> ○令和4年度はwithコロナの中で基本的感染症対策や人数制限は残しつつも、「からきだ菖蒲館まつり」を筆頭に多くの事業が再開された。 ○10月3日に新たに和caféがオープンした。 ○地域連絡会の3年ぶりの開催、利用者懇談会の2年ぶりの開催及び全登録団体へのアンケート実施を実施した。 ○10周年事業として発刊した「多摩の歴史さんぽ」が市内大型書店で月間売上部数上位が続き、さらなる増刷へ繋がった。（合計3,000部） 	<ul style="list-style-type: none"> ○with コロナの制限が残る中での参加人数についてはコロナ禍前の水準までの回復は難しいが、事業の多くは再開できた。 ○和caféの休業中はロビーの利用が学習者中心となっていたが、和caféの新オープンによりロビーにカフェ利用が増え、幅広い年齢層で様々な目的で利用される活気ある菖蒲館となっており、地域コミュニティの拠点としての役割を果たしている。 ○コロナ禍では難しかった唐木田クリーンアップ作戦やセブンイレブン助成事業の「花いっぱい運動でつくる“絆”」、4館合同の「まつり」、地域連絡会など地域連携・世代間交流の事業が再開できた。また再開された利用者懇談会や、アンケートの結果、過去最高の利用率に利用者の満足度が表れている。 ○「多摩の歴史さんぽ」を含め事業の収益により、和café充実のための設備投資やパソコンの買い替えを行うことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○事業の再開に伴い、これまでの事業をより充実するように見直し、更に新しいものにも積極的に取り組んでいきたい。 ○事業活動の担い手である運営委員について、特定の活動の「協力員」は増加しているものの、「運営委員」の新規加入は殆どなく、高齢化が進んでいる。現状の事業活動を維持しながらさらに充実・発展していくために運営委員の募集の新たなアプローチ方法の検討、また次世代のリーダー層の育成を図っていく。 ○利用率の増加や利用者アンケートの結果に、満足することなく、より親切・丁寧な対応でこれまで以上に快適に利用して頂けるよう努める。

施設名	指定管理者名	指定年月日	主な改善事項、新たな取り組み事項 【指定管理者の自己PR】 指定管理者として特に力を注いだ事業（セールスポイント）、新たな取り組みや改善点、運営上の特筆すべき事項等を記入	左欄の記載事項の実施による成果・効果 改善や新たな取り組みにより、事業運営にどのような成果や効果があったか、（まだ、成果が出ていない場合、今後どうなることを目指しているか）を記入	前年度の事業運営との比較 今後の事業運営における課題 改善や新たな取り組みより、事業運営がどう変化したと感じるか、また、現在、事業運営上、課題となっていること、また、解決方法があれば記入
コミュニティセンター 和田・東寺方	コミュニティセンター 和田・東寺方 運営協議会	令和2年4月1日	1. 新規事業の立ち上げ 新規事業については、新型コロナウイルス感染の先行き不透明のため、安心して参加出来る事業を中心に実施。 2. かるがも館の認知度を高める取り組み ・かるがも館まつり開催 ・「たま広報」の利用 ・ホームページの運用 3. コミュニティルームの利用率 利用率は前年度比 14.1%増の 45.8%（当館過去最高）、利用者はコロナ前の 1.7 万人から 2.3 万人に増加。 4. 新型コロナウイルス感染防止対策 感染状況に対応した対策を実施。	1. 新規事業の立ち上げ 新しい取り組みとしては、関戸公民館他 2 団体との共催事業「史跡巡りウォーキング」を実施した。また、将棋サロン、将棋教室を新たに立ち上げ、いずれの事業も好評で、新規利用者の来館につながった。 2. かるがも館の認知度を高める取り組み ・規模を縮小したかるがも館まつりは 843 名参加 ・「たま広報」掲載による他の地域からの利用増 ・ホームページの運用によるタイムリーな広報と YouTube の配信により認知度向上 3. コミュニティルームの利用率向上 かるがも館まつりの再開と音楽室の個人利用開始、カラオケの利用促進への取り組みなどによる。 4. 新型コロナウイルス感染防止対策 感染状況に応じた対策を作成・実施。利用者から対応策が適切との評価を得ている。	○事業について 今年度の事業はほぼ計画通りに実施できたが、質・量ともにさらなる努力が必要である。委員が楽しんで参画して事業の活性化を図っていききたい。 ○運営協議会委員・協力員の増加 委員の高齢化等による減少は否めないが、協力員は増加している。様々な媒体や機会を捉え、委員の増加につなげていきたい。 ○かるがも館まつり かるがも館まつりを実施することは地域住民が集う最大の機会であり、運協自体の活性化に欠かせない事業であるため、今後も実施したい。 ○コミュニティルームの利用率向上 利用者の利便性を図り、利用率の向上を目指す。 ○新型コロナウイルス感染防止対策 今後も状況に応じた対応策を実施
多摩市立総合体育館、多摩市体育施設及び多摩東公園	多摩市健康スポーツパートナーズ	令和2年4月1日	事業者の入れ替えを行い、抜本的にレストランのリニューアルを行いました。	新事業者の選定によりサービスの向上・提案が期待されます。また、テーブル・椅子などの什器備品の入替も行っており、利用者から目に見える形での大きな変化を感じて頂けるのではないかと考えられます。また、レストラン利用を目的に来館される方も予想され、施設の周知にも寄与すると捉えています。	公共施設のレストラン事業は、その多くが利用者（収入）の確保が課題です。体育館事業とのタイアップや周知活動の強化などで対策をしていきます。

施設名	指定管理者名	指定年月日	主な改善事項、新たな取り組み事項 【指定管理者の自己PR】 指定管理者として特に力を注いだ事業（セールスポイント）、新たな取り組みや改善点、運営上の特筆すべき事項等を記入	左欄の記載事項の実施による成果・効果 改善や新たな取り組みにより、事業運営にどのような成果や効果があったか、（まだ、成果が出ていない場合、今後どうなることを目指しているか）を記入	前年度の事業運営との比較 今後の事業運営における課題 改善や新たな取り組みより、事業運営がどう変化したと感じるか、また、現在、事業運営上、課題となっていること、また、解決方法があれば記入
多摩市立総合体育館、多摩市体育施設及び多摩東公園	多摩市健幸スポーツパートナーズ	令和2年4月1日	<p>武道館ではヨガ、ピラティス、高齢者向けの健康体操など全9教室を稼働率の低かった会議室を活用し事業を開始しました。</p> <p>各種運営マニュアルの見直しを行いました。</p> <p>燃料費の高騰を踏まえ水光熱費の抑制をおこないました。</p> <p>多摩東公園庭球場で早朝枠を4月から恒久的に実施しました。</p> <p>教室事業のWEB申込を開始しました。</p>	<p>収入の確保、施設の周知、利用者サービスの向上、施設の稼働率の向上に大きく貢献したと考えております。新設した事業を施設利用者以外にも知って頂けるよう、HP・SNSの活用のほかに、ポスティングや多摩市報での周知・近隣公共施設へのチラシ配架依頼・公園内への「のぼり」の設置も行いました。</p> <p>変化する運営状況に対応できるようになりました。また、マニュアル作成の際は皆で意見を出し合いながら行ったため、実効性のあるものとなり十分な共通認識も持っております。</p> <p>空調を必要以上に抑制をすると、快適な利用環境の提供を損ねたり、場合によっては利用者の安全を担保できなくなるのでバランスを見ながら、その使用を設備員・受付員・職員などで細かく抑制しました。また、照明に関しても必要のない場所、時間には消灯するなど使用量の抑制に全職員で取り組みました。</p> <p>昨年度は6月からの試行的実施でしたが、今年度は4月からの実施としたことで更なる利用枠増設による収入の増加、利用者サービスの向上、早朝利用枠の設置による熱中症予防へ寄与しました。</p> <p>窓口での申込以外にWEBでの申し込みを可能とすることで、利用者サービスの向上だけでなく気軽に申込できることで参加促進につながっています。</p>	<p>課題はありませんが、今後会議室以外の畳面などを利用して新たな教室展開を図る際は、一般利用者に十分配慮しながら展開していきます。</p> <p>主だった課題はなし。</p> <p>外気を取り入れ換気をしながらの空調利用となったので、使用量（料）を抑制しようとして取り組んでいる中でのジレンマも感じました。しかし、今年度に職員が意識をもって水光熱費の抑制に努めなければ、使用量（料）はもっと高騰していたものと考えられます。</p> <p>前年度、早朝利用枠の利用開始をした6月以前の4、5月もそのニーズは高く、土日祝日はほぼ利用予約が入っています。主だった課題もなく継続していくのが望ましいと考えます。</p> <p>主だった課題はなし。</p>

施設名	指定管理者名	指定年月日	主な改善事項、新たな取り組み事項 【指定管理者の自己PR】 指定管理者として特に力を注いだ事業（セールスポイント）、新たな取り組みや改善点、運営上の特筆すべき事項等を記入	左欄の記載事項の実施による成果・効果	前年度の事業運営との比較 今後の事業運営における課題 改善や新たな取り組みより、事業運営がどう変化したと感じるか、また、現在、事業運営上、課題となっていること、また、解決方法があれば記入
多摩市立総合体育館、多摩市体育施設及び多摩東公園	多摩市健幸スポーツパートナーズ	令和2年4月1日	<p>多摩市の大型スポーツイベント「快汗スポーツDAY」において野球教室を新設しました。</p> <p>通年開催している、障がい者スポーツ「ボッチャ」のミニ大会を年2回、開催しました。</p> <p>こどもを対象とした新たな事業の実施をしました。</p>	<p>改善や新たな取り組みにより、事業運営にどのような成果や効果があったか、（まだ、成果が出ていない場合、今後どうなることを目指しているか）を記入</p> <p>体育館・武道館・陸上競技場・多摩東公園庭球場でのイベントの他、関戸公園野球場で多摩市少年野球連盟にも周知にご協力を頂き、野球教室を実施しました。教室後は連盟もチーム員の募集チラシを参加者に配布しており、相互協力ができたと感じております。</p> <p>日頃の練習成果を発揮できることに加え、大会開催に向け取り組むことで参加者のモチベーションアップにつながり結果、参加者数の増加となっています。また、参加者への商品に多摩市の特産品をお渡しすることで地産地消にも寄与しました。ミニ大会の開催回数を増やすことで通年開催の事業に参加されている方も、目標が増え目的意識の向上にもつながっていると捉えています。</p> <p>通年行われている、こどもを対象とした事業やクリスマスイベントの他に、体験教室を実施しました。来年度に実施を予定している、K-POPも体験していただき教室の周知と参加促進となりました。</p>	<p>前年度の事業運営との比較 今後の事業運営における課題</p> <p>改善や新たな取り組みより、事業運営がどう変化したと感じるか、また、現在、事業運営上、課題となっていること、また、解決方法があれば記入</p> <p>主だった課題はなし。</p> <p>通年開催の「ボッチャ」に参加されている方々が独自にチームを作り、多摩市のボッチャフレンドカップに参加し好成績を収めております。施設側から提供される機会を利用するだけでなく、自らチームを作り能動的に活動する機会を提供できていると感じています。武道館でのボッチャ事業新設のご要望も頂いており、大変盛況です。</p> <p>主だった課題はなし。</p>

施設名	指定管理者名	指定年月日	主な改善事項、新たな取り組み事項 【指定管理者の自己PR】 指定管理者として特に力を注いだ事業（セールスポイント）、新たな取り組みや改善点、運営上の特筆すべき事項等を記入	左欄の記載事項の実施による成果・効果 改善や新たな取り組みにより、事業運営にどのような成果や効果があったか、（まだ、成果が出ていない場合、今後どうなることを目指しているか）を記入	前年度の事業運営との比較 今後の事業運営における課題 改善や新たな取り組みより、事業運営がどう変化したと感じるか、また、現在、事業運営上、課題となっていること、また、解決方法があれば記入
多摩市立総合体育館、多摩市体育施設及び多摩東公園	多摩市健幸スポーツパートナーズ	令和2年4月1日	<p>武道館での売店事業の実施準備（条例変更を待っている状態）を行いました。</p> <p>武道館でレンタルサービスを始めました。</p> <p>多摩市の発展に長年寄与されてきたご年配の方を対象に健康体操や体力測定などのイベントを実施しました。</p>	<p>利用者サービスの向上、収入源の創出のため本年度に売店を運営開始する予定でした。多摩市との協議中に条例変更が必要になることが判明し、すぐに実施はできませんでしたが、条例が変更され次第、直ちに実施できるよう準備をしております。</p> <p>バドミントン、ノルディックウォーキングのポール、モバイルバッテリーのレンタルも開始し公園利用者、施設利用者のサービス向上及び収入確保に繋がりました。また、サイクリストに対する自転車修理備品の無料貸し出しも行っております。修理用品の選定の際は実際に多摩市のサイクルショップを訪れ意見を伺いました。</p> <p>感謝の意を示せたほか、参加者ご自身の体力を知って頂く機会になったと捉えています。また、武道館を知らない、知っているけど利用したことのない方への周知に繋がったと考えています。</p>	<p>主だった課題はなし。</p> <p>主だった課題はなし。</p> <p>主だった課題はなし。</p>

施設名	指定管理者名	指定年月日	主な改善事項、新たな取り組み事項 【指定管理者の自己PR】 指定管理者として特に力を注いだ事業（セールスポイント）、新たな取り組みや改善点、運営上の特筆すべき事項等を記入	左欄の記載事項の実施による成果・効果 改善や新たな取り組みにより、事業運営にどのような成果や効果があったか、（まだ、成果が出ていない場合、今後どうなることを目指しているか）を記入	前年度の事業運営との比較 今後の事業運営における課題 改善や新たな取り組みより、事業運営がどう変化したと感じるか、また、現在、事業運営上、課題となっていること、また、解決方法があれば記入
多摩市立総合体育館、多摩市体育施設及び多摩東公園	多摩市健幸スポーツパートナーズ	令和2年4月1日	<p>屋外体育施設の整備について、より現状に則したものになるよう、事前に多摩市に協議し実施しました。</p> <p>陸上競技場でヨガ教室を実施しました。</p> <p>多摩東公園の中央広場にテーブルとベンチを増設しました。</p>	<p>整備予算をより有効に現状に則した形で執行できたと捉えております。また、グラウンドコンディションの向上にも寄与しております。</p> <p>天然芝で青空の下、ヨガを体験頂けるよう企画しました。当日は雨天のため武道館での開催となりましたが、陸上競技場の新たな展開を実施できています。また、普段競技場を利用しない方に施設を知っていただくきっかけになりました。</p> <p>中央広場にテーブルとベンチを設置することでこれまで、公園を通り過ぎていた方々が公園を利用するようになりました。また、家族連れが団らんや休憩をする場になっており公園の利用促進にもつながっております。</p>	<p>今回の協議は一部の施設が対象となりましたが、整備方法についてはより効果的となるように全体的な見直しが必要と考えます。</p> <p>屋外施設なので、実施時期が限られる。回数を増やす場合は、夏季冬季は武道館で開催するなど検討する必要がある。また、雨天の場合は武道館を確保しておくイベントを中止にせずに済む。</p> <p>主だった課題はなし。</p>

施設名	指定管理者名	指定年月日	主な改善事項、新たな取り組み事項 【指定管理者の自己PR】 指定管理者として特に力を注いだ事業（セールスポイント）、新たな取り組みや改善点、運営上の特筆すべき事項等を記入	左欄の記載事項の実施による成果・効果 改善や新たな取り組みにより、事業運営にどのような成果や効果があったか、（まだ、成果が出ていない場合、今後どうなることを目指しているか）を記入	前年度の事業運営との比較 今後の事業運営における課題 改善や新たな取り組みより、事業運営がどう変化したと感じるか、また、現在、事業運営上、課題となっていること、また、解決方法があれば記入
多摩市立総合体育館、多摩市体育施設及び多摩東公園	多摩市健幸スポーツパートナーズ	令和2年4月1日	<p>多摩東公園の尾根幹線道路側駐車場にサイクルスタンドを増設しました。</p> <p>SNSでの情報発信にinstagramを追加しました。</p> <p>利用者懇談会を実施しました。</p>	<p>サイクリストが多く通過する尾根幹線道路側にサイクルスタンドを設置することで、通過する場所から、休憩する場所が変わると考えられます。</p> <p>前年度まで運用していたfacebook, twitterの加えてinstagramの運用を開始。画像や動画など、より視覚に訴えることができたと捉えています。またinstagramの利用中心世代（若年層）への施設周知、利用促進に繋がっていると考えます。</p> <p>アンケート調査の他に利用者懇談会を実施し、利用者の具体的なご要望・ご意見を伺うことができました。また、管理者側の考えをお伝えする機会にもなったと捉えています。懇談会では対象となったトレーニングルームの責任者も同席させ、その場で解決策があるものは、参加者に提示し即効性、実効性のある懇談会となりました。</p>	<p>より休憩を取りやすくして頂くため飲料の自動販売機設置が望まれます。また、それに合わせてサイクルスタンドの周知も必要です。</p> <p>主だった課題はなし。</p> <p>主だった課題はなし。</p>

施設名	指定管理者名	指定年月日	主な改善事項、新たな取り組み事項 【指定管理者の自己PR】 指定管理者として特に力を注いだ事業（セールスポイント）、新たな取り組みや改善点、運営上の特筆すべき事項等を記入	左欄の記載事項の実施による成果・効果 改善や新たな取り組みにより、事業運営にどのような成果や効果があったか、（まだ、成果が出ていない場合、今後どうなることを目指しているか）を記入	前年度の事業運営との比較 今後の事業運営における課題 改善や新たな取り組みより、事業運営がどう変化したと感じるか、また、現在、事業運営上、課題となっていること、また、解決方法があれば記入
多摩市立温水プール及び多摩市総合福祉センター	ニ幸産業・NSPグループ	令和4年4月1日	<p>温水プール駐輪場の一部にサイクルラックを設置中です。</p> <p>「第3回多摩市ポッチャフレンドカップ」大会へ参加しました。指定管理者職員、2チームで参加しました。</p>	<p>市の交通施策に協力して、総合福祉センター、温水プール両館の駐輪場の一部を利用したシェアサイクルの設置を行いました。多くの方が利用することができております。</p> <p>前年の大会時の交流から、令和4年度実施の老人福祉センター世代間交流事業の「ポッチャ」の講師をお願いすることができた。第3回の大会では、対戦チームの栄誉を称えあい、交流することができた。</p>	<p>必要ありと認め、設置を継続します。</p> <p>生涯スポーツとしての「ポッチャ」に継続的に参加することにより地域団体との交流ができた。2023ポッチャTAMAカップにも参加し、障がい者チームとも交流できた。</p>

施設名	指定管理者名	指定年月日	主な改善事項、新たな取り組み事項 【指定管理者の自己PR】 指定管理者として特に力を注いだ事業（セールスポイント）、新たな取り組みや改善点、運営上の特筆すべき事項等を記入	左欄の記載事項の実施による成果・効果 改善や新たな取り組みにより、事業運営にどのような成果や効果があったか、（まだ、成果が出ていない場合、今後どうなることを目指しているか）を記入	前年度の事業運営との比較 今後の事業運営における課題 改善や新たな取り組みより、事業運営がどう変化したと感じるか、また、現在、事業運営上、課題となっていること、また、解決方法があれば記入
多摩市立温水プール及び多摩市総合福祉センター	ニ幸産業・NSPグループ	令和4年4月1日	<p>令和3年度から、多摩市教育委員会と連携し、市内小学校の水泳授業の受け入れを継続中です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南鶴牧小学校（令和3年度から） ・大松台小学校（令和4年度から） ・東落合小学校（令和4年度から） ・西落合小学校（令和4年度から） <p>総合福祉センター、温水プール両館において、無料公衆無線LANを設置しました。</p>	<p>学校設置プールと違い、天候に左右されず授業をすることができることや、児童の泳力別指導ができることにより、児童の泳力向上につながっています。</p> <p>スマートフォンやタブレット端末、パソコンなどのデジタルデバイスを使用する施設利用者の利便性向上及び、高齢者のデジタルデバイス解消のための環境整備ができた。</p> <p>また、館内のソフトバンクアンテナ、配線機器を交換し、いち早く5Gへの対応をしました。</p>	<p>新たに帝京大学小学校の水泳事業を受け入れ、児童の泳力向上、健康づくりに協力していきます。</p> <p>専門指導員による指導、監視体制の中、学校教諭の負担軽減を考えると有効な事業だと考えています。</p> <p>引き続き事故防止に努め、事業に協力していきます。</p> <p>両施設の共有部分で使用できる環境として今後も継続していきます。</p>

施設名	指定管理者名	指定年月日	主な改善事項、新たな取り組み事項 【指定管理者の自己PR】 指定管理者として特に力を注いだ事業（セールスポイント）、新たな取り組みや改善点、運営上の特筆すべき事項等を記入	左欄の記載事項の実施による成果・効果 改善や新たな取り組みにより、事業運営にどのような成果や効果があったか、（まだ、成果が出ていない場合、今後どうなることを目指しているか）を記入	前年度の事業運営との比較 今後の事業運営における課題 改善や新たな取り組みより、事業運営がどう変化したと感じるか、また、現在、事業運営上、課題となっていること、また、解決方法があれば記入
多摩市立温水プール及び多摩市総合福祉センター	ニ幸産業・NSPグループ	令和4年4月1日	総合福祉センター、温水プール両館において、「赤ちゃん・ふらっと事業」の登録をしました。	乳幼児等を連れての方が安心して外出を楽しめ、気軽に立ち寄り、授乳やおむつ替え、トイレ利用、休憩が取れる施設として登録し、東京都福祉局ホームページや子育て情報サイトで登録施設として検索できるサービスです。 多摩市の子育て支援につながるサービスであるとともに、当施設のPRにもなるものです。	市の子育て支援施策にも協力していきたい。
駐輪場	日本コンピューター ダイナミクス株式会社	令和3年4月1日	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車安全点検キャンペーンの実施（永山駅、多摩センター駅東、多摩センター駅西） ・前払い機能の拡充（多摩センター駅東、多摩センター駅西） ・人感スピーカー設置 	左欄を行うことで、 <ul style="list-style-type: none"> ・車両故障等に対する意識の向上と事故予防に繋がることが出来ました。 ・駐輪場を効率的かつトラブルなくご利用頂ける環境と整えることが出来ました。 	新型コロナウイルス感染症拡大の中、前年度同様の運営を継続することにより、利用者数の維持、向上に努めました。 <ul style="list-style-type: none"> ・利用者への効率的な案内をすることにより、前年度と比較し売上 107.9%達成出来ました。 ・今後の課題としては、車両の多様化にあった定期エリア車室幅見直しや二段ラックの運用についてです。

施設名	指定管理者名	指定年月日	主な改善事項、新たな取り組み事項 【指定管理者の自己PR】 指定管理者として特に力を注いだ事業（セールスポイント）、新たな取り組みや改善点、運営上の特筆すべき事項等を記入	左欄の記載事項の実施による成果・効果 改善や新たな取り組みにより、事業運営にどのような成果や効果があったか、（まだ、成果が出ていない場合、今後どうなることを目指しているか）を記入	前年度の事業運営との比較 今後の事業運営における課題 改善や新たな取り組みより、事業運営がどう変化したと感じるか、また、現在、事業運営上、課題となっていること、また、解決方法があれば記入
多摩市立八ヶ岳少年自然の家	一般社団法人 富士見パノラマリゾート	平成30年4月1日	1. 売店コーナーの充実 利用者サービスの一環としてお土産品目の充実とバリエーションを増やした。	①取扱業者の都合による飲料の自動販売機を撤去されたことにより、職員が自ら飲料を仕入れ販売を行った。利用者は問題なく購入利用いただいた。自販機と違い多種多様な品目とサイズの物を販売提供できた。 ②地元農家から季節折々の朝採れ高原野菜を仕入れ、退所される家族又は団体の方々に販売した。時期の物であり、種類は限定されてしまうので、利用者が求めている野菜でないと販売が進まない。鮮度が良いので品定めが出来の方は一度に多く購入があった。家族グループでは1人が購入すると、相乗効果で他の方も購入した。 ③八ヶ岳に来た思い出にと山野草を仕入れ、販売した。購入者はいたが思いのほか購入が進まなかった。 ④近隣の製造元である味噌工場より、好評の品物を厳選して仕入れ、地元地域のアピールを行った。フリードライのインスタント味噌汁は手軽で販売好評でした。製造元のパンフレットや紹介のチラシを置き、観光スポットの紹介も出来た。 ⑤施設周辺では星空がとてもきれいに見ることができ、移動教室にもプログラムに取り入れている。それに合わせ宇宙食を販売した。社教団体などの子供たちにはとても好評でした。 ⑥農業実践大学校で製造しているアイスクリームを仕入れ販売した。併せて市販品も出来るだけ安価で販売した。農業実践大学校のアイスクリームは市内社教団体の代表の方から要望があり、取り入れましたが思いのほか好評であった。 ⑦地元で採れた朝採れの夏いちご・ブルーベリーの生実を職員自ら計ってパック販売した。保冷庫で冷やして販売した事によりとても好評でした。 ⑧夜家族やグループで楽しく過ごして頂くよう花火の販売も行った。山間部でもあり打ち上げや音の出る花火は禁止としているため、手で持つ静かに楽しめる	①自販機の代替えである効果はあったが、自販機のように24時間購入できないことが、課題である。 ②販売場所を玄関及び事務所前の導線に設置したが、時間帯により入所、外出、退所などで動線が詰まり、販売場所の再検討が必要、高原野菜や山野草などは、利用者が動く時間に合わせ職員が商品の説明や鮮度の良い高原野菜である事をお伝えしながらの販売交流を行った。 朝採れの為短期間での販売で課題がある。 ③山野草は小さなポットで直接販売であるため購入者が持ち帰りしやすいよう袋又は容器を今後検討する。 ⑦ 生食品でもあり、保存が難しいが状況を見ながら食事メニューへの食材に切り替えをしたのが良かった。取組としては単年度だけではなく継続実施を行い利用者への定着につなげる。

施設名	指定管理者名	指定年月日	主な改善事項、新たな取り組み事項 【指定管理者の自己PR】 指定管理者として特に力を注いだ事業（セールスポイント）、新たな取り組みや改善点、運営上の特筆すべき事項等を記入	左欄の記載事項の実施による成果・効果 改善や新たな取り組みにより、事業運営にどのような成果や効果があったか、（まだ、成果が出ていない場合、今後どうなることを目指しているか）を記入	前年度の事業運営との比較 今後の事業運営における課題 改善や新たな取り組みより、事業運営がどう変化したと感じるか、また、現在、事業運営上、課題となっていること、また、解決方法があれば記入
多摩市立八ヶ岳少年自然の家	一般社団法人 富士見パノラマリゾート	平成30年4月1日	<p>2. 食事内容のバリエーションアップの取組</p> <p>3. こどもの遊びの充実取組</p>	<p>商品のみ販売した。3世帯での利用家族には好評であった。</p> <p>①売店販売している商品のアピールや促進の意味も込め地元産の生夏いちごや生ブルーベリーを朝・夕食のデザートに加えて、楽しくおいしく地元にふれていただいた。</p> <p>②一般家族及び団体をターゲットとした集客・リピート策として季節折々の高原野菜をテーブルごと【サラダバー】として提供しとても好評であった。</p> <p>③野外調理ではバーベキュー用としてお肉が苦手な方の為に、海鮮セットを仕入れ施設独自の盛り込みを作り、事前注文を受けた利用者に提供した。大勢の家族グループにはとても好評であった。</p> <p>①未就学児から低学年を中心に楽しく過ごせるコーナーを新設した。 ぬり絵・折り紙コーナーをロビーの一角に設け、雨天時でも室内で楽しめる様に、ぬり絵は何種類かの図柄を施設で用意し、色鉛筆を貸出す、折り紙は施設で用意した折り紙セットを購入いただき、それぞれクラフトコーナーで遊ぶ。 一般家族の利用時にポップなどで提示して利用を促し、沢山の子供たちに利用してもらった。お部屋ではなくクラフトコーナー内だけの利用のお願いをして貸し出しました。</p>	<p>①次年度に向けリピーター増策も含め、単年度の取組とせず、引き続き品目を若干変えながら継続していく。</p> <p>①ある程度一定の利用があったので、今後も引き続き取り組んでいきたい。</p>

施設名	指定管理者名	指定年月日	主な改善事項、新たな取り組み事項 【指定管理者の自己PR】 指定管理者として特に力を注いだ事業（セールスポイント）、新たな取り組みや改善点、運営上の特筆すべき事項等を記入	左欄の記載事項の実施による成果・効果 改善や新たな取り組みにより、事業運営にどのような成果や効果があったか、（まだ、成果が出ていない場合、今後どうなることを目指しているか）を記入	前年度の事業運営との比較 今後の事業運営における課題 改善や新たな取り組みより、事業運営がどう変化したと感じるか、また、現在、事業運営上、課題となっていること、また、解決方法があれば記入
多摩市立八ヶ岳少年自然の家	一般社団法人 富士見パノラマリゾート	平成30年4月1日	4. 畳表替えによる部屋環境改善の取組 5. 連携の取組	①大部屋【いおう・よこ・あか・あみだ・からまつ】5室の畳の表替えを実施した。 目立ってこの5部屋の畳の傷みが激しく部屋環境改善で実施しました。 ①富士見パノラマリゾートとの連携で【夏期・冬期】少年自然の家宿泊者限定の特別割引券の発行を行った。 夏期はゴンドラ往復券の特別割引冬期はゴンドラ大人料金の特別割引をそれぞれ行い多くの宿泊者の利用があった。	①引き続きこまめに館内の状況を確認し利用者に提供する部屋環境の改善を進めていく。 ①今後も引き続き本社との連携で行う事により少年自然の家・リゾート相互が利用促進に繋がるよう努める。
永山複合施設駐車場	新都市センター開発株式会社	平成31年4月1日	年末年始の休業日に、駐車場内の白線ラインを全て塗装し泡ヘッドの目印紐を交換。 また、場内清掃の強化（上部の埃除去）や発券機及び精算機等の消毒作業を実施。	駐車場内の白線ラインを塗装した事で、利用者の利便性や安全性に役立ち、泡ヘッド目印交換も接触事故等の抑止効果に繋がったと思われます。 また、場内清掃や消毒作業を強化した事で、お客様が安心して利用出来る駐車場と思われます。	駐車台数は6.8%、使用料収入も4.2%増加している。 また、断続的な満車が多々発生し振替証明カードも8枚発行している。前年度の課題は達成出来ており、今年度は出入口付近の白線塗装や場内の白線ライン洗浄を検討しています。

參考資料

令和4年度公表時の数字に誤りがあったため、訂正したものです。

指定管理者 施設運営評価シート（令和3年度）

1. 指定管理者について

施設名	多摩市立温水プール及び多摩市総合福祉センター			
指定管理者名	二幸産業・NSPグループ			
施設所管課	くらしと文化部 スポーツ振興課、健康福祉部 福祉総務課 高齢支援課			
主な業務内容	施設の管理運営、市民の健康推進及び生涯スポーツの振興並びに福祉の増進を図るための事業施設			
指定期間	始期	令和3年4月1日	令和4年3月31日	
	終期			
利用料金制	有り			
選定方法	特命			
市の決算額（千円）	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	歳入（使用料）			
	歳出（指定管理料）	372,168	419,223-409,022	430,155

2. 指定管理者の施設運営状況

(1) 収支状況

(単位：千円)

		内訳	令和元年度	令和2年度	令和3年度
予 算	収 入	指定管理料	370,420	409,022 358,910	431,105 388,751
		利用料金	178,231	127,759	171,960
		行政財産負担金	6,500	5,300 6,300	5,900 6,300
		自主事業	5,000	2,977	5,827
		その他	2,803	2,457 1,457	4,302 3,902
		収入計 (a)	562,954	547,515 497,403	619,094 576,740
	支 出	人件費	300,922	235,931 249,943	321,377
		維持管理に係る経費	214,586	204,775	214,350
		事業実施に係る経費	47,446	42,685	41,013
		その他	0	0	0
支出計 (b)		562,954	483,391 497,403	576,740	
		収支 (a-b)	0	0	42,354 0
決 算	収 入	指定管理料	372,168	(注1) 419,223 409,022	(注3) 430,155
		利用料金	166,249	45,976	102,446
		行政財産負担金	7,378	5,789	5,977 6,129
		自主事業	5,000	1,796	5,399
		その他	1,596	525	1,765 1,613
		収入計 (c)	552,391	473,309 463,108	545,742
	支 出	人件費	296,023	235,931	316,418
		維持管理に係る経費	216,525	164,493	192,464
		事業実施に係る経費	43,257	49,607	36,424
		その他	0	154	0
支出計 (d)		555,805	450,185	545,306	
		収支 (c-d)	-3,414	(注2) 23,124 12,923	(注4) 436

※指定管理料は、前年度の収支状況等を踏まえ、毎年度、市と指定管理者の協議により決定しています。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、施設の臨時休館を行ったことから、指定管理者の利用料金収入が大幅に減少したため、毎年度、損失補填をしています。市と指定管理者の協定により、決算額が黒字となった場合には、損失補填額を上限として当該利益額を市に返還することとしています。ただし、令和元年度分は2月～3月分の2か月間分のみの損失補填のため、返還を不要としています。

(注1) 令和元年度の新型コロナウイルスによる減収分に対する損失補填額8,235千円及び令和2年度の損失補填額49,199千円を含みます。

(注2) 黒字額12,923千円は令和3年度に市へ返還されています。

(注3) 令和3年度の新型コロナウイルスによる減収分に対する損失補填額36,312千円を含みます。

(注4) 黒字額436千円は令和4年度に市へ返還される予定です。

(2) 利用状況

		令和元年度	令和2年度	令和3年度
温水プール				
施設利用者数		458,428	130,707	274,194
内訳	プール	342,755	87,924	216,719
	トレーニングルーム	85,478	27,603	36,403
	ミニスポーツルーム	30,195	15,180	21,072
総合福祉センター				
施設利用者数		110,601	38,630	57,741
内訳	一般貸出	34,194	12,220	22,994
	センター事業	76,407	26,410	34,747
利用者団体件数		4,996	2,658	4,137
内訳	一般貸出	2,977	1,460	2,715
	センター事業	2,019	1,198	1,422
登録団体数		555	568	600
稼働率		60.5%	29.1%	49.6%

(3) 運営状況（維持管理・事業実施の状況）や収支・利用状況の増減要因分析 等

■利用状況について

令和3年度は、指定管理者4期目として老人福祉センター業務を新たに加え、コロナ禍における1年間の随意契約として新たな事業計画のもと業務運営を行いました。令和3年度になっても新型コロナウイルス感染は収まらず、第3回目の緊急事態宣言が発出され、令和3年4月28日から5月31日まで、新型コロナウイルス感染防止対策により温水プール・トレーニングルーム・ミニスポーツホールを臨時休場とし、窓口のみ時間を短縮して運営を行いました。

総合福祉センターでは定員制限や夜間の時間短縮を行いました。老人福祉センターでは入浴定員を減らして対応いたしました。寿大学は通常通り5月から開講いたしました。

■利用者数・開場日数

【温水プール】

利用施設	開場日数	利用者数	前年比
温水プール	264日	216,719人	246.48%
トレーニングルーム	283日	36,403人	131.88%
ミニスポーツホール	283日	21,072人	131.81%
プール全体合計		274,194人	209.78%

- ・プール全体では前年に対し143,487人増
- ・前年はプール大規模修繕により10月1日から3月31日まで休場

【総合福祉センター】

利用施設	開場日数	利用者数	前年比
一般貸出合計	335日	22,994人	188.17%
センター事業合計	281日	34,747人	131.57%
・老人福祉センター		(32,395人)	130.05%
・障害者福祉センター		(2,352人)	156.70%
総合福祉センター合計		57,741人	149.47%

- ・総合福祉センターでは前年に対し19,111人増

【全 体】

利用施設	開場日数	利用者数	前年比
温水プール	283日	274,194人	209.78%
総合福祉センター	335日	57,741人	149.47%
合 計		331,935人	196.02%

- ・両館では前年に対し162,598人増

■主な利用者増加策について

【温水プール】

4月28日～5月31日の間、新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言により、施設を休館しました。令和3年度のアクアブルー多摩全体の利用者数は、274,194人（前年度比で143,487人増）となりました。

令和3年度の温水プールの利用人数は令和2年度87,924人から216,719人となり、128,795人増加しました。プールの利用定員を500人から600人へ増やすなど、感染対策をとりながら、制限の緩和を行ったことにより、入場制限による入場待ち時間が減少し、感染対策と利便性の向上についてバランスを図ることができました。新規事業として、6月・7月・9月・10月に市内南鶴牧小学校の水泳授業受け入れを行いました。生徒の泳力向上に貢献することができ、引き続き、令和4年度においても受け入れ学校数を増やし、授業展開をしています。

また、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が1年延期され、8月にアイスランド共和国パラリンピック競泳チームの事前キャンプの練習会場としてアクアブルー多摩が使用されました。大会前の厳しいコロナ対策の中ではありませんでしたが、可能な限りの交流ができ、友好関係を築くことができました。今後、少しずつでもイベントの再開や、利用者への接遇の強化を行い、利用者の増加を目指します。

【トレーニングルーム】

令和3年度のトレーニングルームは、令和2年度27,603人から36,403人となり、8,800人増加しました。トレーニングルームの利用定員を40人から50人へ増やすなど、感染対策をとりながら制限緩和を行いました。

一方で、令和元年度と比較した場合、利用率比42.6%となり、新型コロナ感染拡大前の利用者数の回復に至るに及ばない結果となりました。

【ミニスポーツホール】

令和3年度のミニスポーツホールは、令和2年度15,180人から21,072人となり、5,892人増加しました。指定事業の教室定員を増やすなど、感染症対策をとりながら制限緩和を行いました。

令和元年度と比較した場合、利用率比69.8%となり、新型コロナ感染拡大前の利用者数の回復に至るに及ばない結果となりました。そ

【総合福祉センター】

4月1日から夜間の利用時間短縮、定員制限、調理実習室の利用休止などの措置をとりながら営業を行いました。利用休止となっていた調理実習室については、感染防止対策を提案し12月より利用再開することができました。入館時には、個人情報取得、検温と手指消毒を求め、マスク着用やソーシャルディスタンスを呼びかけ入館を許可しました。このような状況で、利用者の利便性と感染防止対策のバランスを図ることに苦慮する場面も多く、積極的な利用者増加策を行うことが出来ませんでした。

【老人福祉センター】

本年度から老人福祉センターの運営を多摩市社会福祉協議会への委託から指定管理者制度に変更しました。「映画の日」や「春の発表会」もコロナ感染防止により中止としました。また、寿大学については、定員を大きく減らしての実施となりました。休止していた音楽活動室・談話室・休憩室については、パーティションの設置や席のレイアウト変更など感染防止対策を提案し、12月より再開することができました。ビリヤードコーナーの使用休止など、感染状況に応じて緩急をつけて運営しました。令和6年度からの同好会の一般団体移行について高齢支援課、福祉総務課が指定管理者と連携を取って調整を行いました。

■自主事業からの繰入金について

自主事業は、プールで5,000千円、福祉センターで827千円の予算としました。プールは予算どおり5,000千円を繰り入れる一方で、福祉センターでは調理実習室の使用休止や人数制限により料理系の事業が実施できていないこと、また、再開できている事業も定員を減らしての実施となったことの結果、399千円の計上となりました。

■イベントについて

指定管理者が主催するイベントは、新型コロナ感染防止対策の観点から、オリンピック・パラリンピック関連事業、南鶴牧小学校「まち探検」受け入れ、新春フェスティバル、利用者懇談会他のイベントを除き、全て中止としました。

■収支状況について

令和3年度に入っても新型コロナ感染者数は増減を繰り返し、利用料金収入に大きな影響を受けました。プール棟では利用料金は年間予算171,803千円に対し、決算102,298千円で△695,045千円（△40.46%）と下回りました。年間を通じて新型コロナウィルス感染症の影響による利用者減少が継続したことや利用者数の多い8月は新型コロナウィルス感染症の拡大でお盆を中心に、外出自粛を求められたことが大きく影響しました。

・温水プール

温水プールの指定管理料は、施設運営を維持するため、新型コロナウィルス感染症の影響による利用料金収入の減収を補ったこと等により、予算211,494千円にたいして決算215,724千円で4,230千円増額しました。

・福祉センター

「支出をのがれた費用」が「新たに発生した費用」を上回ったため3,016千円の減額補填となりました。

・老人福祉センター

コロナの影響で実施できなかった「春の発表会」と「映画の日」の予算合計891千円を減額しました。

これらの結果、温水プールでは85千円、総合福祉センターでは65千円の多摩市への返還、老人福祉センターでは286千円の次期繰り越しとなり令和3年度が終了いたしました。

【人件費】

- ・温水プールでは休業期間の雇用対策助成金の申請などで予算に対し3,695千円削減。
- ・総合福祉センターでは営業時間短縮など予算に対し1,265千円削減。

【消耗品】

- ・8月に温水プールの殺菌装置故障により殺菌方法を変更。予算に対し2,383千円削減。
- ・入場者、入庫車が減少したため利用券購入費が合計で1,559千円削減。
- ・コロナ関連消耗品 温水プール550千円、総合福祉センター298千円

【光熱水費】

- ・温水プールでは新型コロナウイルス感染症対策のため施設を休館したため、予算に対しガス料金を除き減少となりました。上下水道料金は前年度の流波プールの大規模修繕によって、漏水が大幅に減少したことから減少しました。
- ・福祉センターでは新型コロナウイルス感染症対策により休館、営業時間短縮などで予算に対しガス料金を除き減少となりました。
- ・両館のガス料金が予算超過となった理由は、高温水供給停止期間が前年と比べ長いことと、12月から原料費調整額の上昇が続いている

【修繕費】

(温水プール)

- ・可動床修繕費で予算に対し838千円超過。
主な内訳 可動床修理464千円、可動床タイル交換488千円
- ・修繕部品費で予算に対し709千円超過。
- ・その他費で予算に対し5,473千円の超過。
主な内訳 高所壁面清掃1,297千円、 プール各所防水、塗装修繕1,210千円、渚部分防滑層改修989千円、着水プール滑り止め改修824千円
従業員出入りロドア取替406千円

(総合福祉センター)

- ・空調関係費が予算に対し863千円超過。
主な内訳 防災センター空調機交換979千円
- ・消防設備費が予算に対し1,258千円超過
主な内訳 排煙オペレーター改修697千円、消火器交換、廃棄293千円、スプリンクラーチャッキ弁交換202千円、誘導灯バッテリー交換

【広報宣伝費】

- ・広告協賛費が予算に対し242千円超過。 主な内訳 多摩市の便利な本77千円、ミニバス時刻表55千円、駅前案内図広告165千円

【業務費】

(温水プール)

- ・トレーニング運営業務で休館により予算に対し430千円削減。
- ・施設設備業務について契約差金により1,392千円超過。
- (総合福祉センター)
- ・清掃業務で協力業者最低賃金の値上げなどにより957千円超過。
- ・その他費で予算0円に対し754千円超過。 主な内訳 6階浴室消毒作業688千円

(老人福祉センター)

- ・春の発表会が開催中止となったため791千円削減。
- ・映画の日を感染防止対策で取り止めたため100千円削減。
- ・上記2件合計891千円は令和3年度老人福祉センターの返還金として多摩市へ返却。

【使用料及び賃借料】

(温水プール)

- ・入退場システムリース料について契約差金により2,068千円削減。
- ・インバーター交換により起流ポンプインバーターリース料増額。予算に対し764千円超過。
- ・トレーニング機器リース終了し予算に対し1,724千円削減。
- ・プールLEDリース終了により予算に対し3,294千円削減。
- ・非常用発電機始動用蓄電池予算未計上。528千円超過。

(総合福祉センター)

- ・コピー使用料が予算に対し205千円超過。

【工事費】

(温水プール)

- ・予算に対し450千円削減。
主な内訳 プールエリア女子トイレ洋式化工事990千円、採暖室パネルヒーター交換350千円

(総合福祉センター)

- ・予算336千円のところ未使用。

【備品購入費】

(温水プール)

- ・予算に対し60千円の超過。
主な内訳 ポータブルデッキ193千円

(総合福祉センター)

- ・予算に対し25千円削減。

3.利用者アンケート等の実施状況・結果

(時期・方法・回数) 令和4年2月1日から令和4年3月31日までを調査期間として、来館者に対しアンケート用紙を声掛けにより手渡し協力を要請しました。回答者に対し粗品を進呈しました。
(結果の概要) 温水プールでは有効回答数374。アクアブルー多摩の利用のしやすさについて4.19(加重平均値)前回は4.04で前回より上昇。利用料料金の満足度4.01前回は3.75で前回より上昇。施設の満足度4.13で前回は3.96で前回より上昇。アクアブルーの職員について4.19前回は4.13で前回より上昇。アクアブルー多摩の全体としての満足度は4.29前回は4.19となり全ての項目について前回調査時(令和元年度)より上昇となりました。 総合福祉センターでは職員の満足度3.83前回は3.79で前回より上昇。施設の総合的な満足度は3.94前回は3.91で前回より上昇となりました。 コロナ禍で利用者の皆様には感染防止で様々な制限を受けていながらも、両館共に加重平均値による評価では何れも前回調査を上回り、特にアクアブルー多摩では全ての評価がA評価(4.0以上)となりました。

4.施設所管課の評価

実地検査日: 令和4年7月6日

視点	評価項目	評価
協定書や管理基準等に基づく基本業務	適正に施設を維持管理できていたか	適
	適正に利用承認や事業実施できていたか	適
	災害時や事故発生時の危機管理対策を講じていたか	適
	適正に個人情報を管理できていたか	適
	適正な労務管理のために就業規則や出勤簿の整備等していたか	適
	適正に経理事務や現金管理等は行われていたか	適
	その他関係法令や協定書等に基づく手続き等は適正に行われていたか	適
利用者サービスの向上	利用者満足度向上策を実施したか。利用しやすい施設に向けた改善策を実施し	適
	屋内大型プールを生かしたイベント、その他イベント等を実施したか。	適
市民協働の推進	近隣イベント等への協力、他機関との連携による事業実施したか。	要改善
	地域人財力の向上につながる策として、ボランティア活動の推進、リタイア人財の雇用、ユニバーサルサービス研修の開放などを実施したか。	要改善
経費の削減や歳入増加	利用者ニーズを踏まえた事業展開、有償付加サービスの利用促進を実施した	適
	利用者拡大に向けた積極的な情報発信、たま広報等の公共広告媒体の活用等の経費削減を実施したか。	適
評価の説明	要改善と評価した項目は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、イベント等の開催を中止した影響による。	
評価項目以外の改善取組	令和3年度指定管理更新時の選定委員会からの意見の一つに「ユニバーサルサービスの推進」があった。この取組の一つとしてホームページ更新時に、視覚障害者などでも確認しやすい配色、表示色や文字サイズが選べる等の機能追加を行った。	
改善指摘事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ジャグジープールにおいて、基準値を超えるレジオネラ菌が検出された。既に実施された改善措置を確実に継続して利用者が安全に施設利用できる環境の保持に努める必要がある。 ・新型コロナウイルス感染症にかかる損失について市への報告に誤りがあった。今後は正確な事務処理を行うための対策が必要である。 	

※評価項目は、毎年度、市と指定管理者と協議により作成している事業計画書等に基づき、設定しています。

※評価の種類： 良…業務水準を大きく上回った 適…概ね業務水準どおり遂行できた 要改善…改善指示事項がみられた

5.総括(評価の総括及び今後の課題や方向性について)

令和3年度は、夜間営業の短縮、定員制限、温水プールの一時休業、イベント・講座の一部中止など新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きく受けた。

一方で、市民活動の場を確保するという方針に沿って、感染対策を実施しながら利用制限を適宜緩和してきた。この取組により、令和2年度比で利用者数・稼働率とも大きく回復した。しかしながらコロナ禍以前までの回復には至っていない。令和4年度は感染対策を継続しつつ利用者数、稼働率の増加に向けて、新たな利用者層の開拓、利用者ニーズを踏まえた講座・自主事業の実施、イベント実施や地域の各種団体との連携が課題となる。

また、利用者・稼働率のさらなる増加を目指すにあたっては、適切な施設管理や衛生管理、予算管理の実施が必須となる。

令和4年度公表時の数字に誤りがあったため、訂正したものです。

指定管理者 施設運営評価シート（令和3年度）

1. 指定管理者について

施設名	永山駅・永山駅北・北諏訪小南・多摩センター駅東・多摩センター駅西各駐輪場			
指定管理者名	日本コンピュータ・ダイナミクス株式会社			
施設所管課	都市整備部 道路交通課			
主な業務内容	駐輪場の管理運営業務			
指定期間	始期	終期		
	令和3年4月1日	令和8年3月31日		
利用料金制	有り			
選定方法	公募			
市の決算額（千円）	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	歳入（使用料）	3,725	0	2,576
	歳出（指定管理料）	0	0	0

2. 指定管理者に施設運営状況

(1) 収支状況

(単位：千円)

		内訳	令和元年度	令和2年度	令和3年度
予 算	収 入	指定管理料	0	0	0
		利用料金	71,780	73,950	62,300 67,600
		その他	0	0	
		収入計 (a)	71,780	73,950	62,300 67,600
	支 出	人件費	31,000	32,000	31,500 30,254
		維持管理に係る経費	33,750	35,330	24,985 34,106
		支出計 (b)	64,750	67,330	56,485 64,360
収支 (a-b)			7,030	6,620	5,815 3,240
決 算	収 入	指定管理料	0	0	0
		利用料金	71,922	61,046	62,450
		その他	0	0	0
		収入計 (c)	71,922	61,046	62,450
	支 出	人件費	30,519	30,875	31,321
		維持管理に係る経費	33,952	32,894	25,976
		支出計 (d)	64,471	63,769	57,297
収支 (c-d)			7,451	-2,723	5,153

※指定管理料は、前年度の収支状況等を踏まえ、毎年度、市と指定管理者の協議により決定しています。

(2) 利用状況

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
自転車定期利用契約総数	8599	6714	6191
自転車一時利用総回数	125602	109535	130956
バイク定期利用者契約総数	2423	1959	1795
バイク一時利用者総回数	120287	92653	98524

(3) 運営状況(維持管理・事業実施の状況)や収支・利用状況の増減要因分析 等

市営駐輪場については、利用料金収入のみで指定管理者が管理運営を行っている。
 利用料金収入については、コロナ禍による定期利用者の減少といった点で大きな打撃を受けたが、指定管理者がノウハウを活用した傾向分析を行い、駐輪場内の配置換えを行うことで一時利用スペースを増加させた結果、一時利用が促進され、年間収入としては令和2年度比1,404千円増となった。
 支出については、駐輪ラックのリース期間が満了したことによる支出の減少が大きくあったものの、そのほかにも、消耗品の一括購入による購入費の削減、紙媒体の電子化による印刷費等の削減、節電や節水による光熱水費の削減及び外注していた作業の内製化による経費の削減といった取り組みを行い、人件費が増えた状況においても年間支出としては令和2年度比▲6,472千円減となった。

3.利用者アンケート等の実施状況・結果

(時期・方法・回数)
令和3年12月10日～令和4年1月31日にアンケートを実施。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の拡大により、人との接触を減らす目的で、WEBでのアンケート方式に限定して実施したが、回答数が得られなかったため、令和3年度はWEB方式に加えて駐輪場内の管理人室前にアンケート用紙を設置・回収する方法により実施した。 その結果、直接アンケート用紙を配布していた時期と比べると回答数は得られなかったものの、令和2年度の30件に比べると5件増の35件の回答を得ることができた。
(結果の概要)
回答数：35件 利用目的：通勤85.7%、その他14.3% 利用形態：定期利用54.3%、一時利用45.7% 管理員の対応・態度：満足51.4%、やや満足28.6%、その他20.0% 場内の清潔さ：満足45.7%、やや満足31.4%、その他22.9% 満足度については、令和2年度アンケート時と選択肢が異なるため比較は難しいが上昇していると考えられる(管理員の対応・態度：とても良い43.3%、良い20.0%、その他36.6%、場内の清潔さ：とても良い30.0%、良い40.0%、その他30.0%)。これは絶え間ないサービス向上策を継続実施した結果、利用者満足度が高い状況にあるものと評価している。 自由意見の中では、場内レイアウト変更を実施した時期とアンケート期間が重なっているため、駐輪スペースへの希望や評価する意見が多くあった。そのほか、指摘のあった項目(レイアウト、マナー、料金等)については、市と指定管理者で共有し、可能な範囲で対応を検討している。

4.施設所管課の評価

実地検査日: 令和4年7月12日

視点	評価項目	評価
協定書や管理基準等に基づく基本業務	適正に施設を維持管理できていたか	適
	適正に利用承認や事業実施できていたか	適
	災害時や事故発生時の危機管理対策を講じていたか	良
	適正に個人情報を管理できていたか	適
	適正な労務管理のために就業規則や出勤簿の整備等していたか	適
	適正に経理事務や現金管理等は行われていたか	適
	その他関係法令や協定書等に基づく手続き等は適正に行われていたか	適
利用者サービスの向上	交通安全の啓発のため、継続して「自転車安全点検キャンペーン」を実施したか	適
	施設内の事故防止に向けて、掲示案内を見直し、案内表示の分かりやすさを向上させ市内を運行する公共交通機関の時刻表を掲示し、ダイヤ改正の際には適切に更新した	適
	利用者サービスとしてだけでなく、傘差し運転を防止する安全運転啓発活動の一環として雨具の無料配布を継続実施したか	適
	サポートセンターによる対応に加えて、新たにチャットボットによるサポートサービスを実施したか	適
	高齢者や子供連れの方に優先的に利用いただいている思いやりゾーンを継続するとともに、利用状況を把握し、スペース拡張の必要性の検討を行ったか	良
市民協働の推進		
経費の削減や歳入増加	紙資源の減量に向けて、紙資料の電子化に取り組んだか	適
評価の説明	基本業務の危機管理対策について、駐輪場内の区分用色分け塗装や出入口の注意掲示、危険喚起用塗装、滑り止め施工のほか、防犯カメラシステムの更新及び人感センサーライトの新規設置など、安全面の向上及び防犯対策の強化に努めていたことから、業務水準を大きく上回ったと評価した。 また、利用者サービスの向上については、場内レイアウト変更を行うとともに、一時利用の電磁ラック満車時の場内空きスペースの有効活用方法を継続することで、利便性の向上だけでなく、利用者の増加に努めていたことから、業務水準を大きく上回ったと評価した。 そのほか、各評価項目に対して業務水準どおり遂行できていると評価した。	
評価項目以外の改善取組	コロナ禍における利便性向上のため、一時利用の決済方法として、精算機を用いないQRコード決済システムの導入を行い、感染症拡大防止対策や情勢に応じた対応ができていた。	
改善指摘事項	特になし。	

※評価項目は、毎年度、市と指定管理者と協議により作成している事業計画書等に基づき、設定しています。

※評価の種類： 良…業務水準を大きく上回った 適…概ね業務水準どおり遂行できた 要改善…改善指示事項がみられた

5.総括（評価の総括及び今後の課題や方向性について）

事業計画書に基づく業務内容及び実施状況の適正な執行を確認した。

コロナ禍による外出制限、テレワークの導入やリモート授業の広がりによる通勤通学時の自転車利用率が減少している中、駐輪場内の定期利用スペースを減らし、一時利用スペースを増やす取り組みを行った結果、令和2年度と比較し、大幅に一時利用スペースの利用者を増加させることができた。

駐輪場事情を熟知する指定管理者ならではの利用状況を捉えた取り組みを高く評価する。

今後も、引き続き感染症対策を徹底するとともに、民間企業ならではのノウハウを生かした利用者目線での管理運営を行い、安心安全でより利用しやすい駐輪場運営を期待する。

令和4年度 正誤表

施設名：多摩市立総合体育館、多摩市体育施設及び多摩東公園

		誤				正			
2.指定管理者の施設運営状況	(2) 利用状況 (人数)					(2) 利用状況 (人数)			
			令和2年度	令和3年度	令和4年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度
	総合体育館 (個人開放)	30,497	41,394	62,466		30,497	41,394	62,466	
	総合体育館 (団体利用)	76,074	79,752	98,744		76,074	79,752	98,744	
	野球場	49,719	52,735	59,486		49,719	52,735	59,486	
	球技場	43,694	49,764	47,784		43,694	49,764	47,784	
	庭球場	121,689	161,382	164,523		121,689	161,382	164,523	
	キャンプ練習場	1,608	1,103	3,770		1,708	314	3,650	
	武道館	20,622	30,369	47,927		20,622	30,369	47,927	
	陸上競技場	19,762	15,996	24,742		19,762	15,996	24,742	
	合計	363,665	432,495	509,442		363,765	431,706	509,322	

施設名：多摩市立温水プール及び多摩市総合福祉センター

		誤				正				
2.指定管理者の施設運営状況	(1) 収支状況					(1) 収支状況				
		(単位: 千円)				(単位: 千円)				
	子算	収入	指定管理料	358,910	388,751	423,116	指定管理料	358,910	388,751	423,116
			利用料金	127,759	171,960	172,005	利用料金	127,759	171,960	171,805
			行政財産負担金	6,300	6,300	6,190	行政財産負担金	6,300	6,300	6,190
			自主事業	2,977	5,827	6,000	自主事業	2,977	5,827	6,000
			その他	1,457	3,902	4,910	その他	1,457	3,902	5,110
			収入計 (a)	497,403	576,740	612,221	収入計 (a)	497,403	576,740	612,221
	子算	支出	人件費	249,943	321,377	354,645	人件費	249,943	321,377	354,645
			維持管理に係る経費	204,775	214,350	203,203	維持管理に係る経費	204,775	214,350	203,203
			事業実施に係る経費	42,685	41,013	54,373	事業実施に係る経費	42,685	41,013	54,373
			その他	0	0	0	その他	0	0	0
支出計 (b)			497,403	576,740	612,221	支出計 (b)	497,403	576,740	612,221	
収支 (a-b)			0	0	0	収支 (a-b)	0	0	0	
決算	収入	指定管理料	(注1) 409,022	(注2) 430,155	(注3) 467,742	指定管理料	(注1) 409,022	(注2) 430,155	(注3) 467,742	
		利用料金	45,976	102,446	134,434	利用料金	45,976	102,446	134,434	
		行政財産負担金	5,789	6,129	6,759	行政財産負担金	5,789	6,129	6,759	
		自主事業	1,796	5,399	6,000	自主事業	1,796	5,399	6,000	
		その他	525	1,613	1,909	その他	525	1,613	1,823	
		収入計 (c)	463,108	545,742	616,844	収入計 (c)	463,108	545,742	616,758	
決算	支出	人件費	235,931	316,418	354,633	人件費	235,931	316,418	354,633	
		維持管理に係る経費	164,493	192,464	202,639	維持管理に係る経費	164,493	192,464	202,639	
		事業実施に係る経費	49,607	36,424	59,543	事業実施に係る経費	49,607	36,424	59,543	
		その他	154	0	0	その他	154	0	0	
		支出計 (d)	450,185	545,306	616,815	支出計 (d)	450,185	545,306	616,815	
		収支 (c-d)	(注4) 12,923	(注5) 436	29	収支 (c-d)	(注4) 12,923	(注5) 436	-57	
(注6) 黒字額29千円は令和5年度に市へ返還される予定です。					削除					
(3) 運営状況や収支・利用状況の増減要因分析等					(3) 運営状況や収支・利用状況の増減要因分析等					
【令和4年度収支決算額】 (単位: 円)					【令和4年度収支決算額】 (単位: 円)					
	総合福祉センター	老人福祉センター	温水プール	合計		総合福祉センター	老人福祉センター	温水プール	合計	
収入総合計	157,682,953	32,934,070	426,227,736	616,844,759	収入総合計	157,682,953	32,847,670	426,227,736	616,758,359	
支出総合計	157,876,322	32,706,437	426,232,286	616,815,045	支出総合計	157,876,322	32,706,437	426,232,286	616,815,045	
当期収支差額	-193,369	227,633	-4,550	29,714	当期収支差額	-193,369	141,233	-4,550	-56,686	